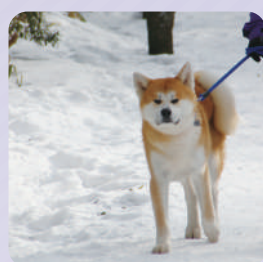


2021年度 年報

第32号



原三信

救急指定
医療法人 **原三信病院**

日本医療機能評価機構認定病院

創立142年

基本理念

『病人のための病院』

基本方針

1. 質の高い医療の追求
2. 居心地の良い環境の提供
3. 心のこもったサービスの実践

原三信病院年報 第32号

2021年度（2021年4月～2022年3月）

▶ 目次 ◀

1. 理事長あいさつ	1
院長あいさつ	2

2. 病院概要	3
---------------	---

3. 診療統計	
1. 患者統計	8
2. 診療科別患者統計	11
3. 病棟別入院患者統計	13
4. 紹介・逆紹介統計	15
5. 科別手術室統計	18
6. 健康管理センター統計	18
7. 救急統計	19
8. 患者構成	24
9. 診療実績	29
10. 診療技術部統計	34

4. 学術発表	
1. 論文・著書	39
2. 学会	41
3. 講演・司会・座長	45

5. 一年の流れ	51
----------------	----

6. 組織紹介	
1. 組織図	53
2. 職員配置	54
3. 管理職名簿	55

7. 医学総会	58
---------------	----

8. 院内活動	
1. 診療部	62
2. 看護部	94
3. 診療技術部	99
4. 事務部	100
5. 企画情報室	102

9. 委員会活動報告	103
------------------	-----

10. 院外研修生受入状況	116
---------------------	-----

11. 香椎原病院	117
-----------------	-----

編集後記	118
------------	-----

1 理事長あいさつ

2021年度は、COVID-19のワクチン接種も始まり、コロナ禍も落ちついてくると思われましたが、次々に新しい変異株が出現してきて、特にデルタ株は全国的に大きな流行をもたらしました。それが少し落ちついたと思ったら、その後は感染力の強いオミクロン株の流行がじわじわと続いています。レムデシビルなどの治療薬も出てきて、ある程度重症化を抑えられるようにはなってきましたが、まだコロナ禍が収束したとまではいえない状況です。そこに2022年2月24日にロシアがウクライナへ侵攻するという突発事態が起きました。世界情勢はますます混沌としてきています。

そのような中、病院での仕事は、今までの通常診療に加えて、コロナ関連の診療も同時にやっていくということが当たり前になってきました。COVID-19については、当初のような恐怖感は少なくなりましたが、感染すると仕事が出来なくなるなど種々の制約があり、完全な装備で診療に当たらなくてはならず、相変わらず大変な日々が続いています。

さて、2021年度の年報がまとまりましたので、送付させていただきます。社会は明るいとはいえない状況が続いていますが、こういう時こそ「真摯さ、誠実さ」が重要だと肝に銘じ、日々の診療に当たっています。日頃からご厚誼を戴いている関係各位には、心から感謝するとともに、これからもご指導、ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます。

医療法人 原三信病院
理事長 平 祐二



医療法人 原三信病院
理事長

平 祐二

日本循環器科学会専門医
日本内科学会認定医
医学博士

略 歴

昭和27年 福岡県に生まれる
昭和46年 福岡県立修猷館高校卒業
昭和53年 九州大学医学部卒業
昭和53年 九州大学循環器内科へ入局
昭和60年 九州大学医学部助手
昭和61年 カナダ・マニトバ大学へ心臓生理学研究のため留学
平成 2 年 医療法人三信会原病院副院長へ就任
平成 5 年 医療法人原三信病院院長へ就任
平成12年 医療法人原三信病院理事長へ就任

院長あいさつ

2021年度も COVID-19の勢いは衰えることなく、新規感染者の増加、減少を繰り返し、いわゆる第6波においては、重症化率が低下したとはいえ、新規感染者数は、福岡県でも1日で数千人に及びかつて経験した事のない事態となり、当院も年間を通して、その対応に追われ続けることになりました。2020年度末には陽性者の受け入れ病床も8床でしたが、その後の県の要請に応じ、最終的には本館5階を専用病床とし南館のすべての病床（24床）をその対応に充てることになりました。

しかし、前年と大きく異なった点もあります。それは、ワクチン接種が進み、治療法も一定の確立を認め、さらに十分な試薬の確保が困難ということはあるにせよ院内でPCR検査など種々の検査が実施可能になったことです。このような医療環境の変化の中で、私たちスタッフも様々な経験を積み、より充実した対応を取ることが出来るようになりました。今後1日も早く、この感染症が終息することを願うばかりですが、そこに至るまでは、今までの経験を活かしその治療、予防に責任をしっかりと果たしていきたいと思えます。

一方、この新たな感染症が与えたもう一つの大きな懸念として検診受診者数の減少や一般診療における受診抑制などにより様々な疾患の発見の遅れという問題が指摘されています。特に早期発見が重要となるがんにおいては、その懸念は一層大きなものとなります。その様な状況の中で、当院が長年取り組んできましたがん診療が評価され、2021年度に、“地域がん診療連携拠点病院”の認定を受けるに至ったことは、地域医療におけるその使命をさらに強く感じている所です。

今後も先生方、スタッフの皆様との連携をさらに強くし、その役割をしっかりと果たしていきたいと思えます。

最後にこの1年の皆様のご厚情に心より感謝申し上げますと共に、今後のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

医療法人 原三信病院
院 長 原 直彦



医療法人 原三信病院
院長

原 直彦

日本人間ドック学会認定医
人間ドック健診専門医・指導医
人間ドック情報管理指導士
(人間ドックアドバイザー)
日本医師会認定産業医
医学博士

略 歴

昭和31年 福岡県に生まれる
昭和50年 福岡県立修猷館高校卒業
昭和59年 福岡大学医学部卒業
昭和59年 九州大学呼吸器科へ入局
昭和63年 医療法人原三信病院勤務
平成10年 医療法人原三信病院 内科主任部長へ就任
平成11年 医療法人原三信病院 副院長
(内科主任部長兼任)へ就任
令和元年 医療法人原三信病院 院長
(健康管理センター長兼任)へ就任

2 病院概要

病床数 309床（急性期病床）／50床（地域包括ケア病床）

実習施設 看護学生実習病院

施設認定 救急指定・開放型病院・臨床研修病院・日本医療機能評価機構（3rdG: V.1.1）

地域がん診療連携拠点病院認定・日本人間ドック学会機能評価認定

- 【学会認定】
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
 - ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 - ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
 - ・日本消化器内視鏡学会指導施設
 - ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
 - ・非血縁者間骨髄採取認定施設
 - ・非血縁者間骨髄移植認定施設
 - ・日本臨床細胞学会認定施設
 - ・日本消化器病学会認定施設
 - ・日本腎臓学会研修施設
 - ・日本カプセル内視鏡学会指導施設
 - ・日本脈管学会認定研修関連施設
 - ・日本高血圧学会認定施設
 - ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
 - ・日本消化器外科学会専門医修練施設
 - ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
 - ・日本産科婦人科学会専門研修連携施設
 - ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
 - ・日本内科学会教育関連病院
 - ・日本整形外科学会専門医研修施設
 - ・日本透析医学会教育関連施設
 - ・日本乳癌学会認定施設
 - ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - ・日本呼吸器学会認定施設
 - ・非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
 - ・非血縁者間造血幹細胞移植認定施設
 - ・マンモグラフィ検診画像認定施設
 - ・日本内分泌、甲状腺外科学会専門医認定施設
 - ・日本血液学会認定血液研修施設
 - ・日本病院総合診療医学会認定施設
 - ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設
 - ・健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設
 - ・日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
 - ・日本ハイパーサーミア学会認定施設
 - ・日本消化管学会胃腸科指導施設
 - ・日本放射線腫瘍学会認定施設
 - ・日本医学放射線学会画像診断管理認証施設

教育制度 海外研修制度（韓国：東岡病院）

厚生施設 看護師寮、職員保養施設（糸島市志摩岐志）

分院 医療法人 原三信病院 香椎原病院

院長 寺田 憲司 内科・リハビリテーション科・循環器内科

病床 250床

（医療保険適用病床 122床・回復期リハビリテーション病床 45床・介護医療院 58床・地域包括ケア病床 25床）

【沿革】

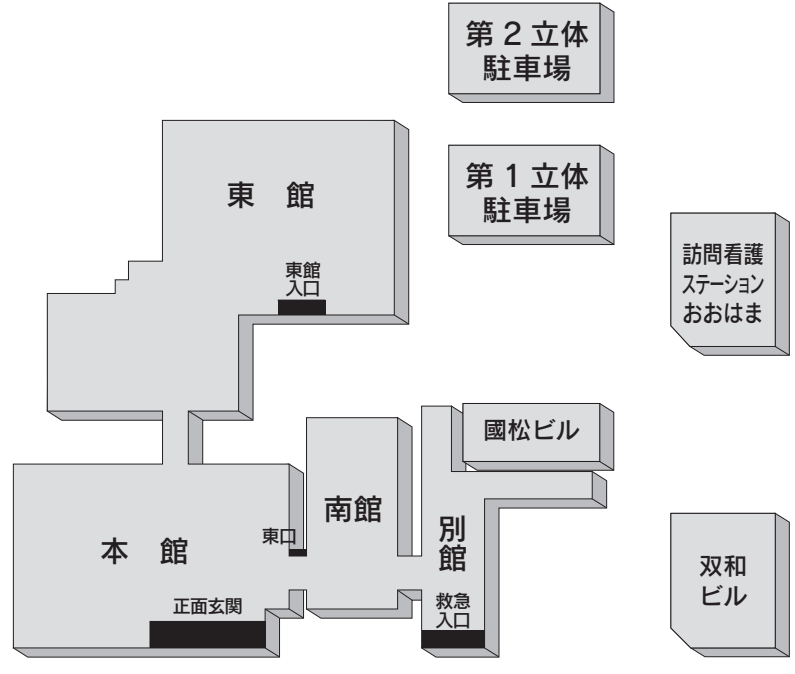
- 沿革
- 慶長5年 筑前 52万石の黒田長政公より黒田藩御殿医として召し抱えられる（1600年）（以来、代々三信を襲名）
 - 貞享3年 六代原三信が長崎出島オランダ館に留学（1685年）オランダ医師、アルブルト・コロウヌより蘭方外科医免状を受ける
 - 明治12年 十二代原三信、福岡県より外科医術開業免状を受け、現在地に開業
 - 明治35年 十三代原三信、九州初の私立病院を設立（病床数 30）
 - 明治36年 愛宕下に分院設立
 - 昭和30年 医療法人三信会原病院設立（病床数 69）
 - 昭和41年 総合病院許可（病床数 166）
 - 昭和44年 人工腎臓室新設、病棟増床（病床数 300）
 - 昭和54年 創立百周年（病床数 426）
 - 昭和61年 結石破碎センター開設
オランダ国立ライデン大学より原三信理事長（十五代）へ、
ブルーハーフェ・メダル贈呈
六代原三信蘭方医三百年記念奨学会設立

- 平成元年 無菌室新設、病床増床（病床数 441）
- 平成 2 年 海外研修開始（アメリカ、ドイツ）
- 平成 3 年 循環器病棟開設（病床数 500）
- 平成 4 年 手術室増設
- 平成 5 年 病院名を三信会原病院から原三信病院へ変更、院長交代
- 平成 6 年 海外研修開始（韓国）
- 平成 7 年 訪問看護ステーション「おおはま」開設
第 1 回原三信病院医学総会開催
- 平成 8 年 医療法人 明錬会 香椎原病院と合併
- 平成 9 年 海外研修開始（ニュージーランド）
- 平成 10 年 日帰り手術開始（デイサージェリーセンター開設）
(1998 年) 不妊センター開設・脳神経外科開設
原三信病院附属呉服町診療所開設
- 平成 11 年 救急指定取得
- 平成 12 年 香椎原病院療養型病床群完成（病床数 200）
- 平成 13 年 開放型病院認可
内視鏡センター開設
検査室ワンフロア化
皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・神経科閉鎖
- 平成 14 年 総合診療科開設
心臓血管造影センター増設
睡眠呼吸障害センター開設
ME 機器・医材管理室開設
電子カルテシステム運用開始
- 平成 15 年 日本医療機能評価機構認定（一般病院 B）
前立腺がん治療（HIFU）開始
病棟再編成（病床数 372）
- 平成 16 年 画像診断システム運用開始・コールセンター開設
品質管理室設置
香椎原病院回復期リハビリテーション病棟開設（病床数 250）
- 平成 17 年 館内禁煙実施
脳神経内科開設
- 平成 18 年 外来化学療法室設置
シャトルバス運行開始（原三信病院～香椎原病院）
原三信泌尿器クリニック開設
- 平成 19 年 病棟再編成（病床数 359）
敷地内禁煙開始・生活習慣病外来開設
病院機能評価 ver.5.0 受審
物忘れ外来・神経泌尿器外来開設
- 平成 20 年 日本医療機能評価機構更新認定（ver.5.0）
(2008 年) 一般病棟入院基本料 7 対 1 看護配置基準取得
密封小線源治療開始
健康管理センターホテルドック開始
- 平成 21 年 創立百三十周年
院内 P H S 電話使用開始
腎移植外来開始
P D 外来・腎不全外来開始

- 平成 22 年 リンパ浮腫外来新設
看護部組織及び病棟クラーク所属変更
時短正職員制度開始
医療安全管理室設置
- 平成 23 年 第 9 回日本ヘルニア学会学術集会（福岡サンパレス・福岡国際会議場）
クールビズ導入・外来新患受付時間変更
- 平成 24 年 フットケア外来開設
ハイパーサーミア（温熱療法）外来開設
歯科土曜外来開始
土曜リハビリ開始
原三信病院～博多港間 送迎バス試験運行開始
- 平成 25 年 日本医療機能評価機構更新認定（ver.6.0）
病院敷地内禁煙開始
感染管理推進室設置
診療支援課設置
原三信病院～博多港間 送迎バス正式運行開始
人間ドック健診施設機能評価認定
歯科電子カルテシステム運用開始
- 平成 26 年 企画情報室 診療情報管理係新設
セカンドオピニオン外来開始
外来患者支援システム運用開始
新東館、泌尿器センターオープン
がん相談支援センター設置
- 平成 27 年 医療連携課運用開始
臨床研究事務局運用開始
腎臓病センター運用開始
- 平成 28 年 東館（新棟）オープン
呉服町腎クリニック巡回バス運用開始
- 平成 29 年 健康管理センター、内視鏡センター、デイスার্ジェリーセンターリニューアルオープン
病院基本理念等変更
- 平成 30 年 日本医療機能評価機構更新認定：(3rdG: V.1.1)
(2018 年) 人間ドック健診施設機能評価更新（ver.3.0）
タイムレコーダー運用開始
緩和ケア外来（精神・身体）開始
呉服町腎クリニック透析用ベッド数変更（52 床→40 床）
- 令和元年 創立百四十周年
院長交替
地域包括ケア病棟開設（本館 4 階病棟 50 床）
- 令和 2 年 福岡県指定がん診療拠点病院認定
入退院支援センター開設
新型コロナウイルス感染症協力医療機関指定病院（病床運用開始）認定
事務部 2 交替制勤務開始
- 令和 3 年 地域がん診療連携拠点病院認定
土曜外来休止
男性尿失禁外来開設
本館・東館 外来受付業務一本化

● 施設概況

敷地面積 6,316㎡
 建物面積 4,720㎡
 延床面積 25,870㎡



病院立面図

東館		本館		南館		別館	
8F	東館8階病棟	8F	リハビリテーション室				
7F	東館7階病棟	7F	歯科 医療安全管理室 感染管理推進室 褥瘡管理室				
6F	東館6階病棟	6F	管理部門				
5F	東館5階病棟	5F	本館5階病棟		本館5階病棟		
4F	東館4階病棟	4F	本館4階病棟 (地域包括ケア病棟)	渡り廊下	管理部門	管理部門	
3F	病理診断科 手術室・中央材料室 心臓血管造影室	3F	本館3階病棟		糖尿病教室 ME室 臨床研究事務局	管理部門	管理部門
2F	泌尿器センター・外科・婦人科 外来化学療法室 検査部門・結石破碎室・透視下手術室	2F	健康管理センター 内視鏡センター		管理部門	管理部門	
1F	総合案内 MRI室 CT室 ハイパーサーミア室	1F	総合受付・入院受付 内科・整形外科・脳神経科・検査部門 患者相談窓口・がん相談支援センター		薬剤科・売店 入退院支援センター	腎臓病センター 救急外来	
B1F	放射線治療室 RI室・密封小線源治療室	B1F	管理部門				

2022年3月31日現在

3 診療統計

【目次】

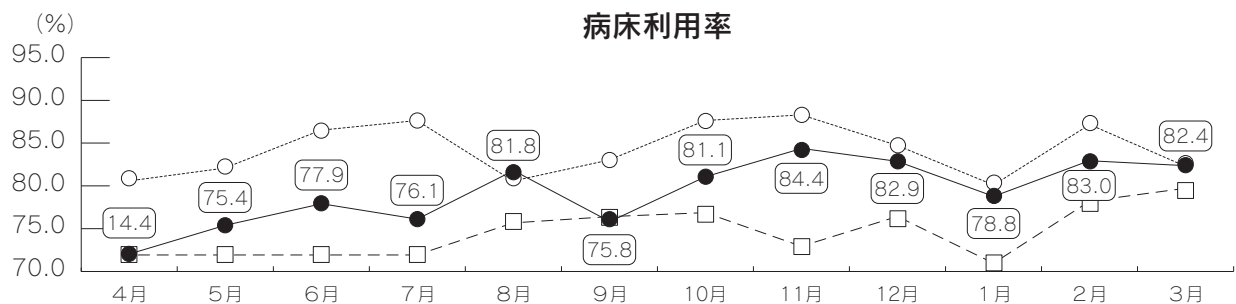
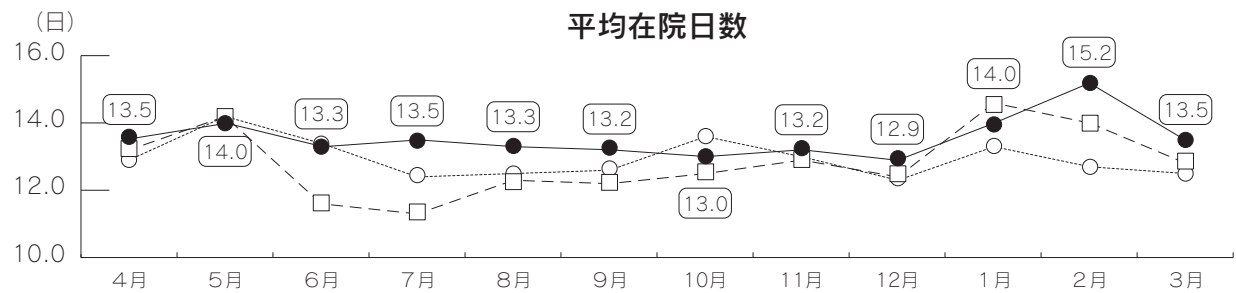
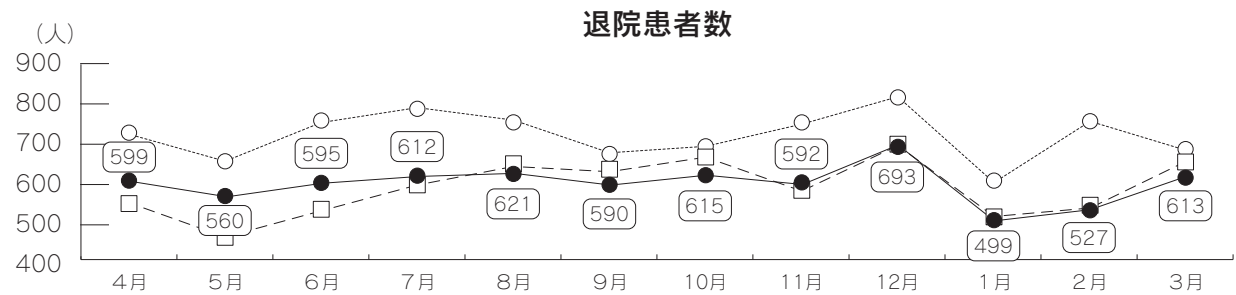
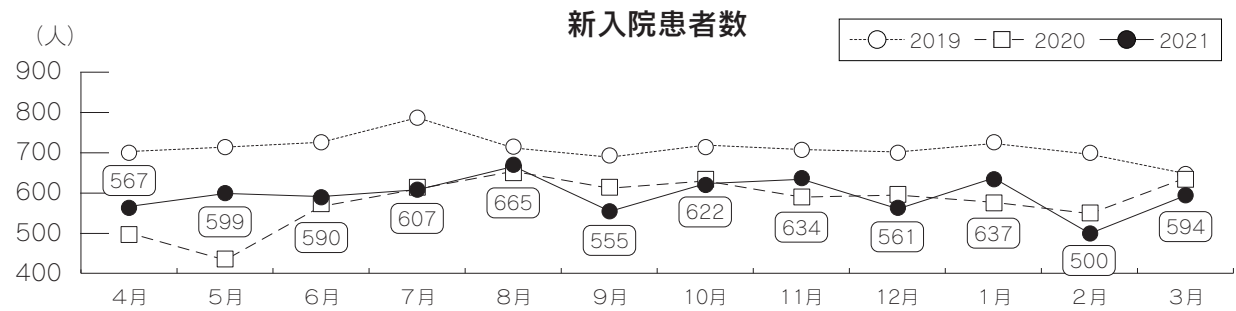
1. 患者統計	8
2. 診療科別患者統計	11
3. 病棟別入院患者統計	13
4. 紹介・逆紹介統計	15
5. 科別手術室統計	18
6. 健康管理センター統計	18
7. 救急統計	19
8. 患者構成	24
9. 診療実績	29
10. 診療技術部統計	34

1. 患者統計

	2019年度	2020年度	2021年度
新入院患者数 (人)	8,515	6,945	7,131
入院延べ患者数 (人)	111,876	94,553	104,534
平均在院日数 (日)	12.9	12.8	13.5
病床利用率 (%)	85.2	72.2	74.5
初診患者数 (人)	23,393	17,358	20,166
外来延べ患者数 (人)	172,620	148,763	155,756
平均通院日数 (日)	7.4	8.2	7.7
健康診断者数 (人)	14,306	13,545	13,946

月別患者数（入院）

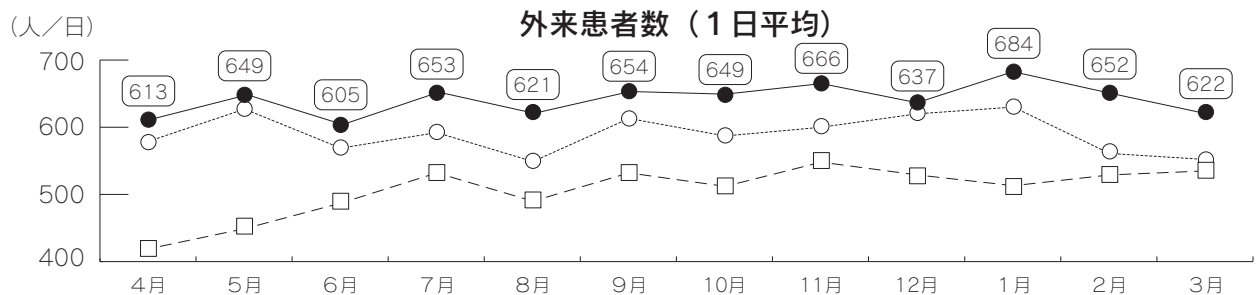
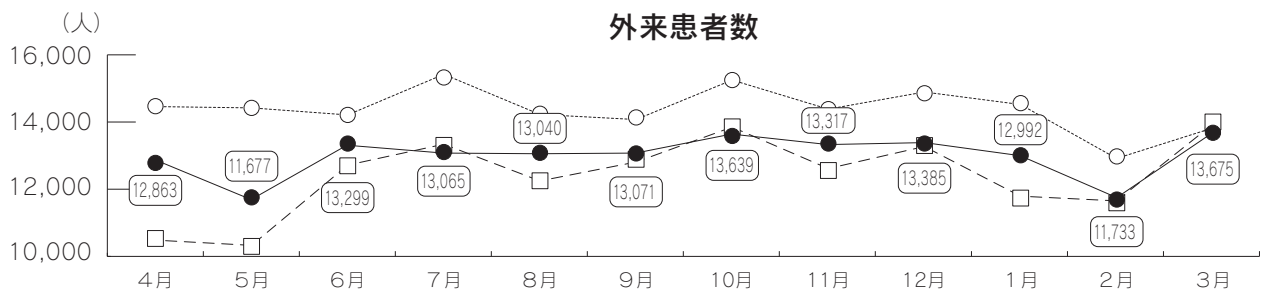
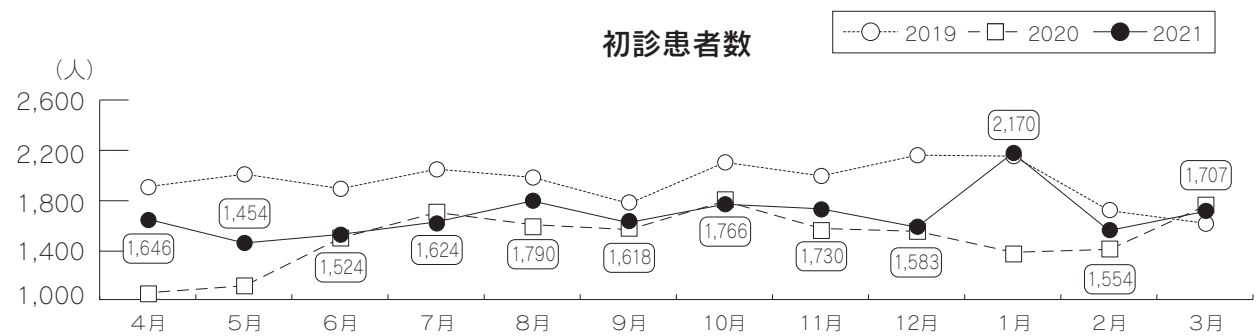
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数 (人)	2019	702	713	725	786	711	688	718	707	701	722	695	647	8,515
	2020	500	433	566	609	653	611	629	589	594	576	548	637	6,945
	2021	567	599	590	607	665	555	622	634	561	637	500	594	7,131
入院患者数 (人)	2019	8,751	9,229	9,430	9,886	9,049	9,041	9,884	9,638	9,541	8,989	9,194	9,244	111,876
	2020	7,488	6,370	6,841	7,351	8,467	8,246	8,567	7,886	8,557	7,908	7,924	8,948	94,553
	2021	8,390	8,386	8,394	8,470	9,104	8,161	9,022	9,093	9,229	8,775	8,342	9,168	104,534
退院患者数 (人)	2019	711	644	740	777	746	665	681	736	804	591	743	671	8,876
	2020	541	456	521	585	631	618	654	570	683	507	528	644	8,509
	2021	599	560	595	612	621	590	615	592	693	499	527	613	7,116
平均在院日数 (日)	2019	12.9	14.2	13.4	12.4	12.5	12.6	13.6	13.0	12.3	13.3	12.7	12.5	12.9
	2020	13.2	14.2	11.6	11.3	12.3	12.2	12.5	12.9	12.4	14.6	14.0	12.8	12.8
	2021	13.5	14.0	13.3	13.5	13.3	13.2	13.0	13.2	12.9	14.0	15.2	13.5	13.5
病床利用率 (%)	2019	81.3	82.9	87.6	88.8	81.3	83.9	88.8	89.5	85.7	80.8	88.3	83.1	85.2
	2020	69.5	57.2	63.5	66.1	76.1	76.6	77.0	73.2	76.9	71.1	78.8	80.4	72.2
	2021	14.4	75.4	77.9	76.1	81.8	75.8	81.1	84.4	82.9	78.8	83.0	82.4	74.5



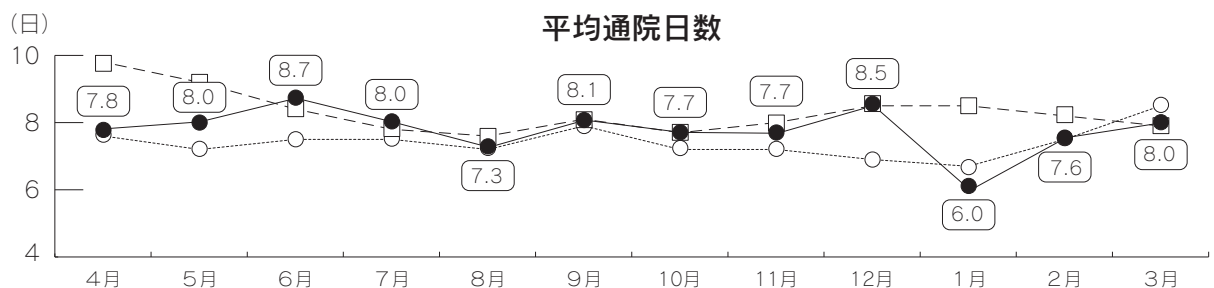
月別患者数（外来）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数 (人)	2019	1,912	2,011	1,896	2,051	1,985	1,778	2,105	1,997	2,162	2,154	1,721	1,621	23,393
	2020	1,070	1,125	1,504	1,707	1,610	1,571	1,797	1,580	1,557	1,391	1,414	1,760	18,086
	2021	1,646	1,454	1,524	1,624	1,790	1,618	1,766	1,730	1,583	2,170	1,554	1,707	20,166
外来患者数 (人)	2019	14,467	14,432	14,221	15,402	14,262	14,099	15,252	14,390	14,885	14,494	12,906	13,810	172,620
	2020	10,467	10,319	12,672	13,294	12,252	12,765	13,825	12,595	13,232	11,796	11,639	13,907	148,763
	2021	12,863	11,677	13,299	13,065	13,040	13,071	13,639	13,317	13,385	12,992	11,733	13,675	155,756
1日平均 外来患者数 (人/日)	2019	579	627	569	592	549	613	587	600	620	630	561	552	589
	2020	419	449	487	532	490	532	512	548	529	513	529	535	506
	2021	613	649	605	653	621	654	649	666	637	684	652	622	641
平均通院日数 (日)	2019	7.6	7.2	7.5	7.5	7.2	7.9	7.2	7.2	6.9	6.7	7.5	8.5	7.4
	2020	9.8	9.2	8.4	7.8	7.6	8.1	7.7	8.0	8.5	8.5	8.2	7.9	8.2
	2021	7.8	8.0	8.7	8.0	7.3	8.1	7.7	7.7	8.5	6.0	7.6	8.0	7.7

※本院、腎クリニック、泌尿器クリニック合算、診療日数は本院準拠



※外来診療日数（2021年4月より土曜日外来休止）の減少により、平均値は増加



2. 診療科別患者統計

診療科別患者数（入院）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	新入院患者数	17	22	10	17	19	15	15	12	9	12	7	12	167
	患者数	242	299	269	258	244	221	251	227	193	215	188	280	2,887
	退院患者数	20	15	12	18	17	16	10	13	11	8	6	14	160
	平均在院日数	13.1	16.2	24.5	14.7	13.6	14.3	20.1	18.2	19.3	21.5	28.9	21.5	17.7
消化管内科	新入院患者数	64	74	69	65	61	59	58	66	53	71	45	50	735
	患者数	576	564	626	633	456	513	511	564	447	554	431	418	6,293
	退院患者数	67	62	68	64	59	54	60	64	56	58	52	46	710
	平均在院日数	8.8	8.3	9.1	9.8	7.6	9.1	8.7	8.7	8.2	8.6	8.9	8.7	8.7
肝胆膵内科	新入院患者数	16	20	17	14	16	18	10	15	14	17	10	19	186
	患者数	298	338	358	295	350	259	257	151	227	208	238	360	3,339
	退院患者数	17	14	12	17	19	16	14	9	18	11	9	13	169
	平均在院日数	18.1	19.9	24.7	19.0	20.0	15.2	21.4	12.6	14.2	14.9	25.1	22.5	18.8
循環器科	新入院患者数	48	47	36	41	57	37	37	40	34	40	43	39	499
	患者数	684	938	722	511	709	604	716	677	707	896	940	746	8,850
	退院患者数	35	45	47	40	46	47	38	32	36	30	48	51	495
	平均在院日数	16.5	20.4	17.4	12.6	13.8	14.4	19.1	18.8	20.2	25.6	20.7	16.6	17.8
血液内科	新入院患者数	23	19	24	25	24	21	24	24	24	26	16	20	270
	患者数	1,345	1,260	1,240	1,373	1,351	1,261	1,282	1,238	1,329	1,108	949	1,012	14,748
	退院患者数	29	15	26	33	18	21	31	24	36	21	19	22	295
	平均在院日数	51.7	74.1	49.6	47.3	64.3	60.0	46.6	51.6	44.3	47.1	54.2	48.2	52.2
腎臓内科	新入院患者数	13	11	15	24	16	14	14	11	15	15	17	15	180
	患者数	328	294	354	353	481	354	313	280	280	209	301	459	4,006
	退院患者数	17	15	11	21	19	18	16	9	21	9	17	11	184
	平均在院日数	21.9	22.6	27.2	15.7	27.5	22.1	20.9	28.0	15.6	17.4	17.7	35.3	22.0
呼吸器科	新入院患者数	27	31	28	27	43	33	34	33	33	39	23	37	388
	患者数	521	557	558	532	684	742	707	677	709	739	567	525	7,518
	退院患者数	32	26	32	25	39	31	36	36	39	30	26	37	389
	平均在院日数	17.7	19.5	18.6	20.5	16.7	23.2	20.2	19.6	19.7	21.4	23.1	14.2	19.4
糖尿病内科	新入院患者数	4	3	2	1	4	1	2	5	2	3	0	0	27
	患者数	86	67	85	62	99	45	12	98	69	67	23	0	713
	退院患者数	5	2	3	0	3	5	0	5	3	3	2	0	31
	平均在院日数	19.1	26.8	34.0	124.0	28.3	15.0	12.0	19.6	27.6	22.3	23.0	0.0	24.6
脳神経内科	新入院患者数	11	6	10	7	16	11	8	8	11	7	11	6	112
	患者数	231	151	168	125	317	239	286	212	225	189	195	354	2,692
	退院患者数	11	6	7	8	11	14	8	5	16	7	3	11	107
	平均在院日数	21.0	25.2	19.8	16.7	23.5	19.1	35.8	32.6	16.7	27.0	27.9	41.6	24.6
睡眠呼吸障害センター	新入院患者数	14	16	13	12	13	14	17	16	14	7	10	16	162
	患者数	29	31	26	25	25	29	34	31	29	15	23	31	328
	退院患者数	15	15	13	13	12	15	17	15	15	6	11	15	162
	平均在院日数	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.3	2.2	2.0	2.0
外科	新入院患者数	49	44	48	52	54	47	53	67	47	64	41	55	621
	患者数	776	691	592	743	724	661	714	915	984	885	862	907	9,454
	退院患者数	59	53	51	55	56	51	56	54	69	47	49	60	660
	平均在院日数	14.4	14.2	12.0	13.9	13.2	13.5	13.1	15.1	17.0	15.9	19.2	15.8	14.8
整形外科	新入院患者数	33	42	29	37	42	32	43	56	48	52	34	51	499
	患者数	682	768	793	766	866	735	860	1,281	1,363	1,156	988	1,256	11,514
	退院患者数	34	36	28	35	43	35	31	49	60	44	38	45	478
	平均在院日数	20.4	19.7	27.8	21.3	20.4	21.9	23.2	24.4	25.2	24.1	27.4	26.2	23.6
泌尿器科	新入院患者数	192	214	216	224	233	189	237	217	198	210	183	205	2,518
	患者数	1,743	1,791	1,982	2,061	2,026	1,825	2,167	1,895	1,920	1,597	1,597	1,867	22,471
	退院患者数	197	204	217	217	220	202	228	212	245	174	181	211	2,508
	平均在院日数	9.0	8.6	9.2	9.3	8.9	9.3	9.3	8.8	8.7	8.3	8.8	9.0	8.9
婦人科	新入院患者数	32	34	50	37	41	39	42	38	29	34	35	43	454
	患者数	212	215	273	277	233	233	288	236	229	194	242	275	2,907
	退院患者数	29	33	44	44	36	38	44	36	39	27	35	44	449
	平均在院日数	7.0	6.4	5.8	6.8	6.1	6.1	6.7	6.4	6.7	6.4	6.9	6.3	6.4
脳神経外科	新入院患者数	14	14	20	19	14	18	17	22	23	35	15	18	229
	患者数	542	394	323	403	406	346	529	556	441	708	703	575	5,926
	退院患者数	20	16	21	18	15	15	16	23	23	19	25	20	231
	平均在院日数	31.9	26.3	15.8	21.8	28.0	21.0	32.1	24.7	19.2	26.2	35.2	30.3	25.8
歯科・口腔外科	新入院患者数	10	2	3	5	12	7	11	4	7	5	10	8	84
	患者数	95	28	25	53	133	94	95	55	77	35	95	103	888
	退院患者数	12	3	3	4	8	12	10	6	6	5	6	13	88
	平均在院日数	8.6	11.2	8.3	11.8	13.3	9.9	9.0	11.0	11.8	7.0	11.9	9.8	10.3

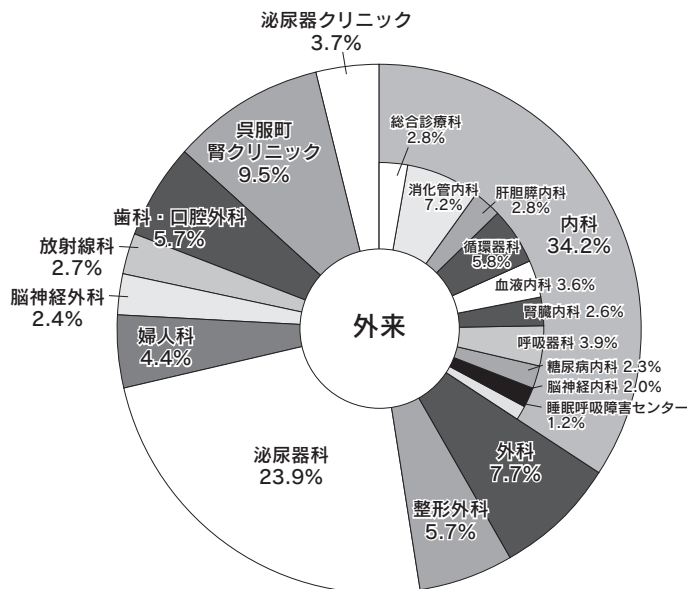
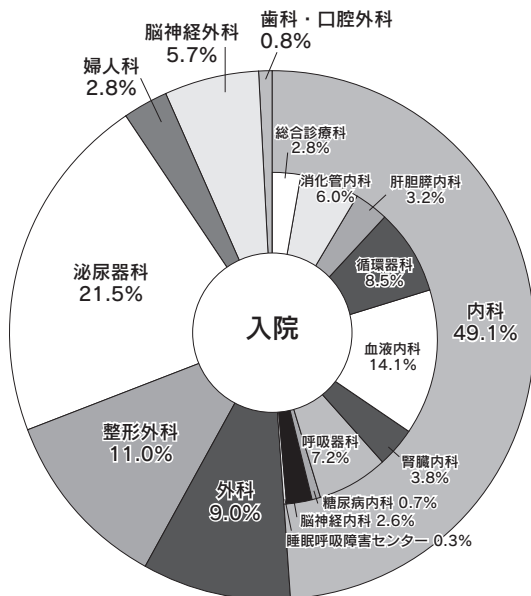
※単位は009ページ月別患者数（入院）を参照

診療科別患者数（外来）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	初診患者数	147	155	117	113	86	81	76	67	60	120	86	88	1,196
	患者数	579	541	524	502	403	450	402	257	280	331	256	301	4,826
	1日平均患者数	27.6	30.1	23.8	25.1	19.2	22.5	19.1	12.9	13.3	17.4	14.2	13.7	19.9
	通院日数	3.9	3.5	4.5	4.4	4.7	5.6	5.3	3.8	4.7	2.8	3.0	3.4	4.0
消化管内科	初診患者数	169	189	161	187	240	192	180	224	176	315	174	185	2,392
	患者数	967	899	1,032	1,044	1,030	1,048	1,087	1,161	1,063	1,101	1,007	1,002	12,441
	1日平均患者数	46.0	49.9	46.9	52.2	49.0	52.4	51.8	58.1	50.6	57.9	55.9	45.5	51.2
	通院日数	5.7	4.8	6.4	5.6	4.3	5.5	6.0	5.2	6.0	3.5	5.8	5.4	5.2
肝胆膵内科	初診患者数	31	30	32	68	59	67	44	57	54	62	57	55	616
	患者数	365	328	380	398	413	417	378	423	454	402	408	455	4,821
	1日平均患者数	17.4	18.2	17.3	19.9	19.7	20.9	18.0	21.2	21.6	21.2	22.7	20.7	19.8
	通院日数	11.8	10.9	11.9	5.9	7.0	6.2	8.6	7.4	8.4	6.5	7.2	8.3	7.8
循環器科	初診患者数	81	106	75	92	154	107	95	92	96	187	151	106	1,342
	患者数	821	738	804	825	830	827	797	803	848	879	848	898	9,918
	1日平均患者数	39.1	41.0	36.5	41.3	39.5	41.4	38.0	40.2	40.4	46.3	47.1	40.8	40.8
	通院日数	10.1	7.0	10.7	9.0	5.4	7.7	8.4	8.7	8.8	4.7	5.6	8.5	7.4
血液内科	初診患者数	47	47	49	102	96	79	65	77	72	170	80	88	972
	患者数	501	443	494	543	545	531	567	493	493	582	475	569	6,236
	1日平均患者数	23.9	24.6	22.5	27.2	26.0	26.6	27.0	24.7	23.5	30.6	26.4	25.9	25.7
	通院日数	10.7	9.4	10.1	5.3	5.7	6.7	8.7	6.4	6.8	3.4	5.9	6.5	6.4
腎臓内科	初診患者数	16	13	20	35	48	27	32	25	18	66	25	40	365
	患者数	361	313	384	364	382	387	373	383	414	408	352	427	4,548
	1日平均患者数	17.2	17.4	17.5	18.2	18.2	19.4	17.8	19.2	19.7	21.5	19.6	19.4	18.7
	通院日数	22.6	24.1	19.2	10.4	8.0	14.3	11.7	15.3	23.0	6.2	14.1	10.7	12.5
呼吸器科	初診患者数	73	94	55	64	112	61	69	73	74	222	126	81	1,104
	患者数	581	528	525	505	588	543	578	542	506	668	543	602	6,709
	1日平均患者数	27.7	29.3	23.9	25.3	28.0	27.2	27.5	27.1	24.1	35.2	30.2	27.4	27.6
	通院日数	8.0	5.6	9.5	7.9	5.3	8.9	8.4	7.4	6.8	3.0	4.3	7.4	6.1
糖尿病内科	初診患者数	4	12	4	6	19	5	3	6	8	27	41	16	151
	患者数	331	295	301	302	351	279	359	296	351	360	365	312	3,902
	1日平均患者数	15.8	16.4	13.7	15.1	16.7	14.0	17.1	14.8	16.7	18.9	20.3	14.2	16.1
	通院日数	82.8	24.6	75.3	50.3	18.5	55.8	119.7	49.3	43.9	13.3	8.9	19.5	25.8
脳神経内科	初診患者数	20	15	23	33	25	20	32	31	17	48	19	19	302
	患者数	301	261	286	285	304	257	307	316	305	279	242	283	3,426
	1日平均患者数	14.3	14.5	13.0	14.3	14.5	12.9	14.6	15.8	14.5	14.7	13.4	12.9	14.1
	通院日数	15.1	17.4	12.4	8.6	12.2	12.9	9.6	10.2	17.9	5.8	12.7	14.9	11.3
睡眠呼吸障害センター	初診患者数	9	9	8	6	7	11	22	15	10	15	10	16	138
	患者数	173	181	172	175	167	179	193	190	177	152	168	188	2,115
	1日平均患者数	8.2	10.1	7.8	8.8	8.0	9.0	9.2	9.5	8.4	8.0	9.3	8.5	8.7
	通院日数	19.2	20.1	21.5	29.2	23.9	16.3	8.8	12.7	17.7	10.1	16.8	11.8	15.3
外科	初診患者数	53	33	56	46	45	38	58	43	51	45	43	44	555
	患者数	1,059	945	1,171	1,020	1,067	1,179	1,141	1,097	1,239	1,029	994	1,227	13,168
	1日平均患者数	50.4	52.5	53.2	51.0	50.8	59.0	54.3	54.9	59.0	54.2	55.2	55.8	54.2
	通院日数	20.0	28.6	20.9	22.2	23.7	31.0	19.7	25.5	24.3	22.9	23.1	27.9	23.7
整形外科	初診患者数	97	86	108	119	114	127	132	141	102	118	91	102	1,337
	患者数	800	690	801	836	752	818	833	885	909	877	740	876	9,817
	1日平均患者数	38.1	38.3	36.4	41.8	35.8	40.9	39.7	44.3	43.3	46.2	41.1	39.8	40.4
	通院日数	8.2	8.0	7.4	7.0	6.6	6.4	6.3	6.3	8.9	7.4	8.1	8.6	7.3
泌尿器科	初診患者数	451	335	387	374	406	423	518	479	426	364	325	438	4,926
	患者数	3,454	2,980	3,417	3,426	3,334	3,460	3,761	3,653	3,616	3,309	3,043	3,757	41,210
	1日平均患者数	164.5	165.6	155.3	171.3	158.8	173.0	179.1	182.7	172.2	174.2	169.1	170.8	169.6
	通院日数	7.7	8.9	8.8	9.2	8.2	8.2	7.3	7.6	8.5	9.1	9.4	8.6	8.4
婦人科	初診患者数	86	66	79	78	66	64	78	75	81	71	70	81	895
	患者数	632	543	694	675	634	646	651	625	659	633	564	650	7,606
	1日平均患者数	30.1	30.2	31.5	33.8	30.2	32.3	31.0	31.3	31.4	33.3	31.3	29.5	31.3
	通院日数	7.3	8.2	8.8	8.7	9.6	10.1	8.3	8.3	8.1	8.9	8.1	8.0	8.5
脳神経外科	初診患者数	46	43	49	36	59	38	63	64	69	61	36	57	621
	患者数	305	261	365	333	342	348	382	358	381	367	278	405	4,125
	1日平均患者数	14.5	14.5	16.6	16.7	16.3	17.4	18.2	17.9	18.1	19.3	15.4	18.4	17.0
	通院日数	6.6	6.1	7.4	9.3	5.8	9.2	6.1	5.6	5.5	6.0	7.7	7.1	6.6
放射線科	初診患者数	42	33	48	31	35	43	44	48	32	34	30	52	472
	患者数	235	368	510	417	470	366	414	471	325	276	317	459	4,628
	1日平均患者数	11.2	20.4	23.2	20.9	22.4	18.3	19.7	23.6	15.5	14.5	17.6	20.9	19.0
	通院日数	5.6	11.2	10.6	13.5	13.4	8.5	9.4	9.8	10.2	8.1	10.6	8.8	9.8
歯科・口腔外科	初診患者数	190	130	182	154	154	152	157	135	160	163	118	168	1,863
	患者数	840	750	910	872	840	852	858	840	832	782	630	820	9,826
	1日平均患者数	40.0	41.7	41.4	43.6	40.0	42.6	40.9	42.0	39.6	41.2	35.0	37.3	40.4
	通院日数	4.4	5.8	5.0	5.7	5.5	5.6	5.5	6.2	5.2	4.8	5.3	4.9	5.3
呉服町腎クリニック	患者数	1,319	1,317	1,331	1,380	1,369	1,373	1,404	1,399	1,448	1,388	1,281	1,421	16,430
	1日平均患者数	50.7	50.7	51.2	51.1	52.7	52.8	54.0	53.8	53.6	53.4	53.4	52.6	52.5
泌尿器クリニック	患者数	582	484	565	516	547	529	561	499	560	488	493	535	6,359
	1日平均患者数	27.7	26.9	25.7	25.8	27.4	26.5	26.7	25.0	26.7	25.7	27.4	24.3	26.3

※単位は010ページ月別患者数（外来）を参照
 [注釈]・同日2科以上の受診は各科でカウント ・初診に同一日初診は含まない。

診療科別患者率



3. 病棟別入院患者統計

病棟名	主な診療科	ベッド数
本館3階病棟	呼吸器科・消化管内科・腎臓内科・肝胆膵内科	48
本館4階病棟	地域包括ケア病棟	50
本館5階病棟	総合診療科・脳神経内科・糖尿病内科・日帰り手術センター	35
東館4階病棟	泌尿器科	46
東館5階病棟	循環器科・泌尿器科・睡眠呼吸障害センター	46
東館6階病棟	外科・婦人科・歯科	46
東館7階病棟	脳神経外科・整形外科	46
東館8階病棟	血液内科	42
合計		359

病棟別入院患者数

(単位：件)

病棟名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館3階	入院	93	65	92	87	99	95	95	120	83	116	92	126	1,163
	在院	1,296	1,285	1,252	1,226	1,286	1,205	1,274	1,297	1,308	1,275	1,233	1,326	15,263
	退院	95	68	72	85	81	85	83	86	101	77	91	103	1,027
	在院(延)	1,391	1,353	1,324	1,311	1,367	1,290	1,357	1,383	1,409	1,352	1,324	1,429	16,290
	死亡者数	1	2	3	1	4	1	3	2	2	1	1	3	24
	在院日数	14.8	20.3	16.1	15.2	15.2	14.3	15.2	13.4	15.3	14.0	14.5	12.5	14.9
本館4階	入院	30	40	31	45	57	35	34	31	26	27	12	44	412
	在院	726	768	875	776	1,005	927	1,146	1,200	1,231	1,099	691	1,077	11,521
	退院	54	53	55	68	73	58	59	53	68	57	27	64	689
	在院(延)	780	821	930	844	1,078	985	1,205	1,253	1,299	1,156	718	1,141	12,210
	死亡者数	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3	0	0	6
	在院日数	18.6	17.7	21.6	14.9	16.6	21.2	25.9	29.8	27.6	27.5	36.8	21.1	22.2
本館5階	入院	42	52	15	23	47	13	28	30	28	39	19	22	358
	在院	120	351	136	108	345	166	85	138	94	194	408	183	2,328
	退院	11	29	17	14	39	21	16	15	19	24	22	23	250
	在院(延)	131	380	153	122	384	187	101	153	113	218	430	206	2,578
	死亡者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	在院日数	4.9	9.4	9.6	6.6	8.9	11.0	4.6	6.8	4.8	6.9	21.0	9.2	8.5
東館4階	入院	120	122	116	112	142	114	137	137	121	145	130	134	1,530
	在院	1,177	1,085	1,172	1,179	1,184	1,049	1,214	1,185	1,183	1,144	1,140	1,273	13,985
	退院	129	110	116	108	122	121	114	140	145	113	128	137	1,483
	在院(延)	1,306	1,195	1,288	1,287	1,306	1,170	1,328	1,325	1,328	1,257	1,268	1,410	15,468
	死亡者数	0	0	2	0	0	0	0	3	2	0	1	4	12
	在院日数	10.5	10.3	11.1	11.7	9.9	10.0	10.6	9.6	10.0	9.7	9.8	10.4	10.3
東館5階	入院	112	117	122	133	116	108	128	133	116	109	101	100	1,395
	在院	1,144	1,137	1,146	1,160	1,226	1,104	1,236	1,170	1,215	1,201	1,166	1,278	14,183
	退院	113	108	122	123	111	106	124	114	125	81	98	102	1,327
	在院(延)	1,257	1,245	1,268	1,283	1,337	1,210	1,360	1,284	1,340	1,282	1,264	1,380	15,510
	死亡者数	2	5	0	2	4	1	6	1	7	0	3	0	31
	在院日数	11.2	11.1	10.4	10.0	11.8	11.3	10.8	10.4	11.1	13.5	12.7	13.7	11.4
東館6階	入院	108	115	139	117	133	119	133	121	104	130	100	130	1,449
	在院	1,081	998	1,013	1,100	1,124	964	1,100	1,156	1,129	1,098	1,173	1,275	13,211
	退院	117	114	132	117	121	116	140	110	127	86	99	128	1,407
	在院(延)	1,198	1,112	1,145	1,217	1,245	1,080	1,240	1,266	1,256	1,184	1,272	1,403	14,618
	死亡者数	1	0	1	0	1	2	1	1	2	0	0	1	10
	在院日数	10.6	9.7	8.5	10.4	9.8	9.2	9.1	11.0	10.9	11.0	12.8	10.9	10.2
東館7階	入院	62	87	70	89	70	70	66	61	82	71	44	37	809
	在院	1,117	1,112	1,114	1,191	1,231	1,065	1,235	1,253	1,278	1,303	1,194	1,285	14,378
	退院	59	66	59	71	63	66	54	55	80	45	45	40	703
	在院(延)	1,176	1,178	1,173	1,262	1,294	1,131	1,289	1,308	1,358	1,348	1,239	1,325	15,081
	死亡者数	1	0	1	0	0	2	1	0	2	3	1	1	12
	在院日数	19.4	15.4	18.2	15.8	19.5	16.6	21.5	22.6	16.8	23.2	27.8	34.4	19.9
東館8階	入院	0	1	5	1	1	1	1	1	1	0	2	1	15
	在院	1,130	1,090	1,091	1,118	1,082	1,091	1,117	1,102	1,098	962	810	858	12,549
	退院	21	12	22	26	11	17	25	19	28	16	17	16	230
	在院(延)	1,151	1,102	1,113	1,144	1,093	1,108	1,142	1,121	1,126	978	827	874	12,779
	死亡者数	2	1	1	2	0	1	2	3	2	1	2	1	18
	在院日数	109.6	169.5	82.4	84.7	182.2	123.1	87.8	112.1	77.7	122.3	87.1	102.8	104.3
合計	入院	567	599	590	607	665	555	622	634	561	637	500	594	7,131
	在院	7,791	7,826	7,799	7,858	8,483	7,571	8,407	8,501	8,536	8,276	7,815	8,555	97,418
	退院	599	560	595	612	621	590	615	592	693	499	527	613	7,116
	在院(延)	8,390	8,386	8,394	8,470	9,104	8,161	9,022	9,093	9,229	8,775	8,342	9,168	104,534
	死亡者数	7	8	8	6	9	7	13	10	19	8	10	10	115
	在院日数	14.4	14.5	14.2	13.9	14.2	14.3	14.6	14.8	14.7	15.4	16.2	15.2	14.7

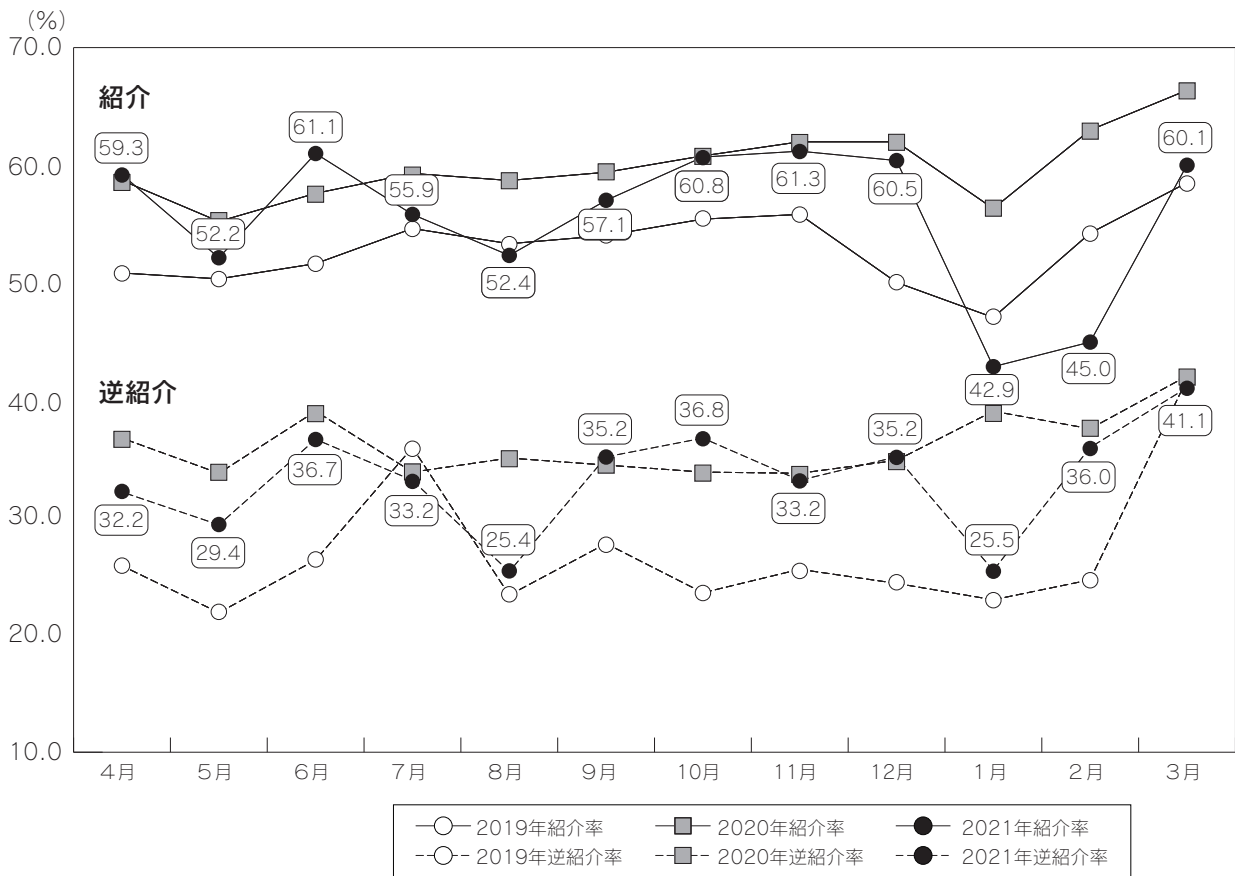
【注釈】

- ・「入院」は新規入院患者数、「在院」は24時時点で病床を利用している患者数、「退院」は退院患者数、「在院(延)」は在院患者数に退院患者数を加算した数、「死亡」は退院患者の内、死亡した患者数(再掲)
- ・「在院日数」は「在院(延)」÷((「新入院」+「退院」)÷2)で求めた数
- ・本館4階病棟は地域包括ケア病棟

4. 紹介・逆紹介統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診紹介件数 (件)	2019	648	627	648	766	676	609	783	748	702	683	618	646	8,154
	2020	409	398	562	670	576	595	729	662	618	507	604	801	7,131
	2021	637	494	588	553	587	570	698	684	574	553	472	691	7,101
救急車数 (件)	2019	219	275	229	262	279	249	255	239	284	252	223	179	2,945
	2020	130	138	177	205	248	225	189	192	226	163	167	224	2,284
	2021	191	189	199	242	254	235	248	277	266	298	156	217	2,772
初診件数 (件)	2019	1,704	1,791	1,697	1,881	1,787	1,587	1,871	1,765	1,970	1,987	1,549	1,408	20,997
	2020	916	970	1,280	1,474	1,402	1,379	1,508	1,376	1,360	1,187	1,221	1,542	15,615
	2021	1,396	1,308	1,288	1,421	1,605	1,411	1,556	1,568	1,389	1,984	1,396	1,510	17,832
紹介率 (%)	2019	50.9	50.4	51.7	54.7	53.4	54.1	55.5	55.9	50.1	47.1	54.3	58.6	52.9
	2020	58.8	55.3	57.7	59.4	58.8	59.5	60.9	62.1	62.1	56.4	63.1	66.5	60.3
	2021	59.3	52.2	61.1	55.9	52.4	57.1	60.8	61.3	60.5	42.9	45.0	60.1	55.4
逆紹介件数 (件)	2019	441	392	448	677	419	441	442	452	480	458	383	589	5,622
	2020	337	328	500	500	492	476	511	465	475	464	459	649	5,656
	2021	449	385	473	472	407	496	572	520	489	505	502	621	5,891
逆紹介率 (%)	2019	25.9	21.9	26.4	36.0	23.4	27.8	23.6	25.6	24.4	23.0	24.7	41.8	26.8
	2020	36.8	33.8	39.1	33.9	35.1	34.5	33.9	33.8	34.9	39.1	37.6	42.1	36.2
	2021	32.2	29.4	36.7	33.2	25.4	35.2	36.8	33.2	35.2	25.5	36.0	41.1	33.0

紹介・逆紹介率



診療科別紹介・逆紹介統計（内科系）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
総合診療科	初診紹介件数	38	33	33	20	26	34	23	28	20	25	13	32	325	
	救急車数	4	8	5	8	9	2	8	9	4	7	2	6	72	
	初診件数	163	164	122	122	95	91	93	80	64	128	91	96	1,309	
	紹介率(%)	25.8	25.0	31.1	23.0	36.8	39.6	33.3	46.3	37.5	25.0	16.5	39.6	30.3	
	逆紹介件数	9	7	7	12	9	73	55	23	7	5	5	15	227	
	逆紹介率(%)	5.5	4.3	5.7	9.8	9.5	80.2	59.1	28.8	10.9	3.9	5.5	15.6	17.3	
消化器科	消化管 内科	初診紹介件数	59	50	60	49	59	61	65	61	61	57	46	61	689
		救急車数	42	26	29	29	30	30	33	40	31	37	17	32	376
		初診件数	183	202	163	198	248	198	195	233	197	325	184	196	2,522
		紹介率(%)	55.2	37.6	54.6	39.4	35.9	46.0	50.3	43.3	46.7	28.9	34.2	47.4	42.2
		逆紹介件数	21	27	33	24	22	21	18	22	26	27	44	36	321
		逆紹介率(%)	11.5	13.4	20.2	12.1	8.9	10.6	9.2	9.4	13.2	8.3	23.9	18.4	12.7
	肝胆膵 内科	初診紹介件数	16	21	20	22	19	36	24	24	21	20	21	21	265
		救急車数	5	11	5	15	11	15	6	14	6	8	5	10	111
		初診件数	35	36	35	73	67	74	54	62	60	69	59	57	681
		紹介率(%)	60.0	88.9	71.4	50.7	44.8	68.9	55.6	61.3	45.0	40.6	44.1	54.4	55.2
逆紹介件数		8	4	6	6	7	4	9	5	8	4	9	13	83	
	逆紹介率(%)	22.9	11.1	17.1	8.2	10.4	5.4	16.7	8.1	13.3	5.8	15.3	22.8	12.2	
循環器科	初診紹介件数	40	27	33	30	41	31	31	35	32	29	35	48	412	
	救急車数	22	26	35	32	48	52	36	42	37	45	23	28	426	
	初診件数	94	112	85	97	164	122	108	106	105	199	165	127	1,484	
	紹介率(%)	66.0	47.3	80.0	63.9	54.3	68.0	62.0	72.6	65.7	37.2	35.2	59.8	56.5	
	逆紹介件数	38	41	49	43	36	42	53	46	36	41	60	78	563	
	逆紹介率(%)	40.4	36.6	57.6	44.3	22.0	34.4	49.1	43.4	34.3	20.6	36.4	61.4	37.9	
血液内科	初診紹介件数	12	12	20	20	18	16	23	18	12	14	10	17	192	
	救急車数	38	45	31	48	31	40	36	50	51	64	26	61	521	
	初診件数	47	51	51	103	98	80	70	81	76	175	82	91	1,005	
	紹介率(%)	106.4	111.8	100.0	66.0	50.0	70.0	84.3	84.0	82.9	44.6	43.9	85.7	70.9	
	逆紹介件数	17	10	11	16	20	18	12	16	11	21	21	22	195	
	逆紹介率(%)	36.2	19.6	21.6	15.5	20.4	22.5	17.1	19.8	14.5	12.0	25.6	24.2	19.4	
腎臓内科	初診紹介件数	14	12	13	22	13	13	25	22	11	16	12	23	196	
	救急車数	2	0	3	7	9	8	4	2	2	3	1	5	46	
	初診件数	22	14	23	39	48	29	34	29	19	74	26	48	405	
	紹介率(%)	72.7	85.7	69.6	74.4	45.8	72.4	85.3	82.8	68.4	25.7	50.0	58.3	59.8	
	逆紹介件数	13	15	12	21	12	22	19	19	13	4	18	11	179	
	逆紹介率(%)	59.1	107.1	52.2	53.8	25.0	75.9	55.9	65.5	68.4	5.4	69.2	22.9	44.2	
呼吸器科	初診紹介件数	33	34	25	33	27	38	20	35	23	36	28	32	364	
	救急車数	18	18	13	24	26	15	28	24	28	34	17	25	270	
	初診件数	79	103	57	72	117	63	77	86	77	232	134	87	1,184	
	紹介率(%)	64.6	50.5	66.7	79.2	45.3	84.1	62.3	68.6	66.2	30.2	33.6	65.5	53.5	
	逆紹介件数	26	14	25	19	27	25	41	24	26	32	21	28	308	
	逆紹介率(%)	32.9	13.6	43.9	26.4	23.1	39.7	53.2	27.9	33.8	13.8	15.7	32.2	26.0	
糖尿病内科	初診紹介件数	2	1	2	2	2	2	5	3	3	5	6	4	37	
	救急車数	2	4	4	0	0	0	0	0	2	5	0	1	18	
	初診件数	6	14	8	6	19	7	5	7	8	28	41	16	165	
	紹介率(%)	66.7	35.7	75.0	33.3	10.5	28.6	100.0	42.9	62.5	35.7	14.6	31.3	33.3	
	逆紹介件数	7	2	2	2	5	3	3	2	2	4	4	4	40	
	逆紹介率(%)	116.7	14.3	25.0	33.3	26.3	42.9	60.0	28.6	25.0	14.3	9.8	25.0	24.2	
脳神経内科	初診紹介件数	14	11	13	19	18	9	22	19	7	14	13	17	176	
	救急車数	2	1	5	4	5	2	13	4	2	3	3	0	44	
	初診件数	26	15	28	37	36	25	36	36	20	52	25	21	357	
	紹介率(%)	61.5	80.0	64.3	62.2	63.9	44.0	97.2	63.9	45.0	32.7	64.0	81.0	61.6	
	逆紹介件数	12	26	14	18	19	21	19	24	18	23	8	21	223	
	逆紹介率(%)	46.2	173.3	50.0	48.6	52.8	84.0	52.8	66.7	90.0	44.2	32.0	100.0	62.5	
睡眠呼吸 障害 センター	初診紹介件数	8	6	7	3	4	6	13	7	5	6	5	13	83	
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	初診件数	12	11	9	7	7	11	22	15	12	15	11	17	149	
	紹介率(%)	66.7	54.5	77.8	42.9	57.1	54.5	59.1	46.7	41.7	40.0	45.5	76.5	55.7	
	逆紹介件数	3	2	4	6	4	3	2	5	6	2	3	10	50	
	逆紹介率(%)	25.0	18.2	44.4	85.7	57.1	27.3	9.1	33.3	50.0	13.3	27.3	58.8	33.6	

診療科別紹介・逆紹介統計（外科系）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	初診紹介件数	31	19	29	22	27	25	33	22	31	32	14	32	317
	救急車数	5	2	1	2	4	2	3	4	7	2	2	3	37
	初診件数	62	39	59	55	53	53	68	49	65	61	50	62	676
	紹介率(%)	58.1	53.8	50.8	43.6	58.5	50.9	52.9	53.1	58.5	55.7	32.0	56.5	52.4
	逆紹介件数	18	12	18	16	16	22	12	14	24	13	20	24	209
	逆紹介率(%)	29.0	30.8	30.5	29.1	30.2	41.5	17.6	28.6	36.9	21.3	40.0	38.7	30.9
整形外科	初診紹介件数	31	19	38	32	35	21	39	44	31	28	29	30	377
	救急車数	15	16	21	29	24	23	27	30	30	26	27	25	293
	初診件数	107	93	121	132	125	139	149	155	114	129	102	113	1,479
	紹介率(%)	43.0	37.6	48.8	46.2	47.2	31.7	44.3	47.7	53.5	41.9	54.9	48.7	45.3
	逆紹介件数	49	43	40	51	48	50	44	52	73	70	66	71	657
	逆紹介率(%)	45.8	46.2	33.1	38.6	38.4	36.0	29.5	33.5	64.0	54.3	64.7	62.8	44.4
泌尿器科	初診紹介件数	226	159	179	181	203	188	269	254	220	177	153	246	2,455
	救急車数	17	16	24	25	22	18	24	19	17	23	17	28	250
	初診件数	464	341	397	387	422	430	534	488	439	375	335	449	5,061
	紹介率(%)	52.4	51.3	51.1	53.2	53.3	47.9	54.9	55.9	54.0	53.3	50.7	61.0	53.4
	逆紹介件数	133	115	133	126	99	107	178	166	154	172	148	174	1,705
	逆紹介率(%)	28.7	33.7	33.5	32.6	23.5	24.9	33.3	34.0	35.1	45.9	44.2	38.8	33.7
婦人科	初診紹介件数	60	52	55	57	49	38	51	53	54	49	49	55	622
	救急車数	3	0	2	1	1	0	0	0	2	1	2	4	16
	初診件数	91	68	81	83	69	69	86	79	85	74	70	85	940
	紹介率(%)	69.2	76.5	70.4	69.9	72.5	55.1	59.3	67.1	65.9	67.6	72.9	69.4	67.9
	逆紹介件数	44	29	48	62	33	33	42	32	29	37	38	37	464
	逆紹介率(%)	48.4	42.6	59.3	74.7	47.8	47.8	48.8	40.5	34.1	50.0	54.3	43.5	49.4
脳神経外科	初診紹介件数	11	6	10	9	11	9	9	10	9	9	8	8	109
	救急車数	16	16	21	18	34	28	40	39	47	40	14	18	331
	初診件数	50	49	59	39	65	47	67	71	78	79	41	65	710
	紹介率(%)	54.0	44.9	52.5	69.2	69.2	78.7	73.1	69.0	71.8	62.0	53.7	40.0	62.0
	逆紹介件数	7	4	17	12	16	12	16	18	21	11	10	28	172
	逆紹介率(%)	14.0	8.2	28.8	30.8	24.6	25.5	23.9	25.4	26.9	13.9	24.4	43.1	24.2
放射線科	初診紹介件数	42	32	51	32	35	43	46	49	34	36	30	52	482
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診件数	42	33	52	32	35	43	46	50	34	36	30	52	485
	紹介率(%)	100.0	97.0	98.1	100.0	100.0	100.0	100.0	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.4
	逆紹介件数	40	34	54	38	34	40	49	52	35	39	27	49	491
	逆紹介率(%)	95.2	103.0	103.8	118.8	97.1	93.0	106.5	104.0	102.9	108.3	90.0	94.2	101.2
歯科・ 口腔外科	初診紹介件数	85	54	77	71	63	70	66	58	63	65	66	78	816
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診件数	193	140	191	156	158	154	162	141	162	163	118	175	1,913
	紹介率(%)	44.0	38.6	40.3	45.5	39.9	45.5	40.7	41.1	38.9	39.9	55.9	44.6	42.7
	逆紹介件数	76	47	72	57	56	52	73	46	47	56	59	60	701
	逆紹介率(%)	39.4	33.6	37.7	36.5	35.4	33.8	45.1	32.6	29.0	34.4	50.0	34.3	36.6

5. 科別手術室統計

(単位：件)

診療科	年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2020	33	35	49	45	56	50	63	48	59	56	43	48	597
	2021	41	52	44	47	54	32	46	28	46	39	39	54	529
総合診療科	2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
消化管内科	2020	2	3	0	0	0	2	1	1	1	0	0	2	12
	2021	0	3	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	7
肝胆膵内科	2020	0	0	4	0	0	2	3	0	1	1	1	0	12
	2021	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	6
循環器科	2020	21	17	37	30	37	35	41	30	45	41	34	33	401
	2021	30	41	32	31	38	23	32	19	25	27	28	37	363
血液内科	2020	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	2021	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
腎臓内科	2020	12	18	8	14	19	12	19	18	12	14	8	15	169
	2021	11	10	11	15	14	8	14	9	21	12	10	15	150
呼吸器科	2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	2020	47	33	43	62	66	61	53	60	50	46	44	69	634
	2021	44	36	48	47	49	45	53	56	48	46	43	52	567
整形外科	2020	39	24	38	42	41	37	43	35	48	42	38	46	473
	2021	35	33	35	36	43	32	35	54	47	42	34	52	478
泌尿器科	2020	153	127	162	185	187	190	203	176	179	153	146	168	2,029
	2021	187	180	190	183	186	173	197	182	197	162	163	181	2,181
婦人科	2020	22	20	27	36	39	33	43	30	29	30	26	44	379
	2021	31	30	46	40	38	38	34	36	28	30	31	46	428
脳神経外科	2020	1	9	8	8	12	6	8	5	5	9	9	11	91
	2021	7	7	6	9	7	5	15	13	11	14	8	10	112
歯科 口腔外科	2020	4	1	2	4	8	2	2	1	4	8	6	10	52
	2021	12	2	3	6	9	8	10	5	7	4	11	10	87
合計	2020	299	249	329	382	409	379	415	355	374	344	312	396	4,255
	2021	357	340	372	368	386	333	390	374	384	337	329	405	4,382
ダヴィンチ (前立腺)	2020	9	11	12	8	7	6	5	6	4	7	8	6	89
	2021	8	7	7	13	5	9	5	8	6	3	8	3	82
ダヴィンチ (腎部分)	2020	1	0	3	1	2	0	3	3	1	3	0	3	20
	2021	2	3	7	1	2	0	2	3	0	5	1	3	29
ダヴィンチ (膀胱全摘)	2021	2	1	0	1	3	2	3	0	1	3	1	2	19

[注釈] 消化器内視鏡等は含まず。

6. 健康管理センター統計

(単位：人)

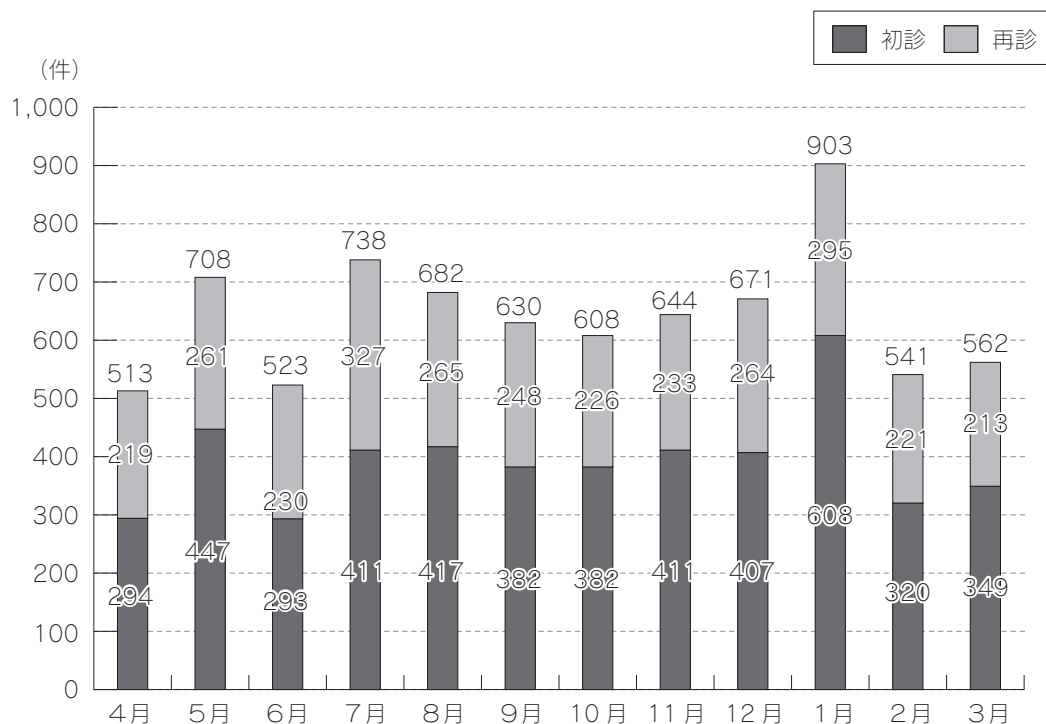
	年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来受診者数	2019	1,189	1,175	1,487	1,356	1,226	1,286	1,221	1,247	958	956	1,077	1,043	14,221
	2020	292	160	1,075	1,331	1,211	1,602	1,656	1,476	1,355	1,055	1,108	1,224	13,545
	2021	860	935	1,313	1,290	1,265	1,278	1,320	1,378	1,183	939	1,031	1,088	13,880
入院ドック (1泊2日) 受診者数	2019	7	2	10	8	6	9	14	9	8	6	1	5	85
	2020	1	0	2	5	5	6	11	8	13	4	7	8	70
	2021	3	7	2	6	2	8	7	5	11	3	5	8	66
合計	2019	1,196	1,177	1,497	1,364	1,232	1,295	1,235	1,256	966	962	1,078	1,048	14,306
	2020	293	160	1,077	1,336	1,216	1,608	1,667	1,484	1,368	1,059	1,115	1,232	13,615
	2021	863	942	1,315	1,296	1,267	1,286	1,327	1,383	1,194	942	1,036	1,096	13,946

7. 救急統計

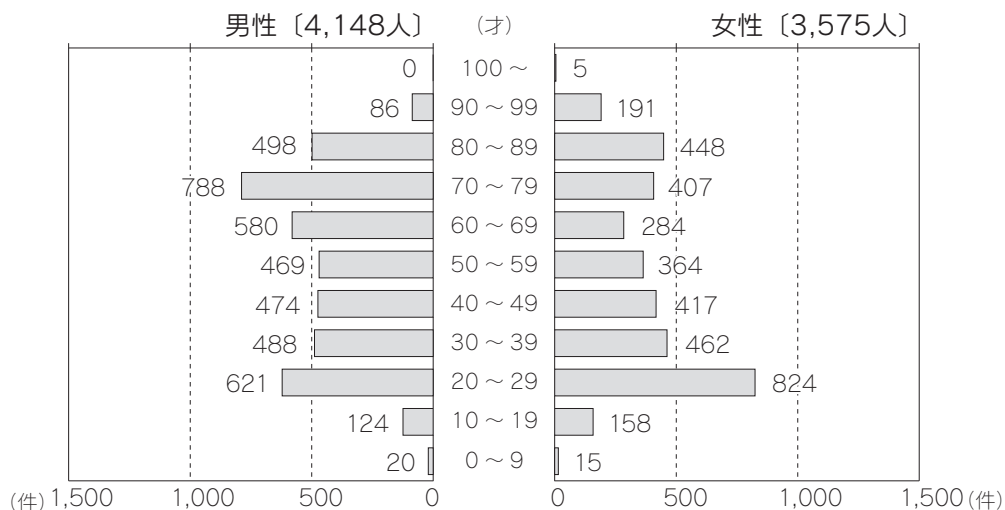
7-1 救急患者数

(単位：件)

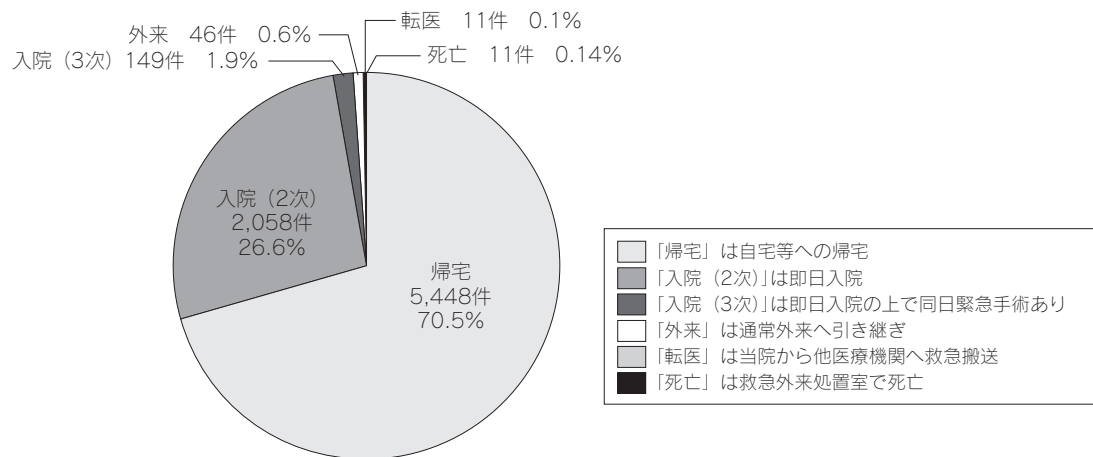
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急外来患者数	2020(R2)	369	515	285	601	645	615	539	586	587	485	441	549	6,217
	初診	217	282	158	367	406	378	319	310	339	279	245	312	3,612
	再診	152	233	127	234	239	237	220	276	248	206	196	237	2,605
	2021(R3)	513	708	523	738	682	630	608	644	671	903	541	562	7,723
	初診	294	447	293	411	417	382	382	411	407	608	320	349	4,721
	再診	219	261	230	327	265	248	226	233	264	295	221	213	3,002



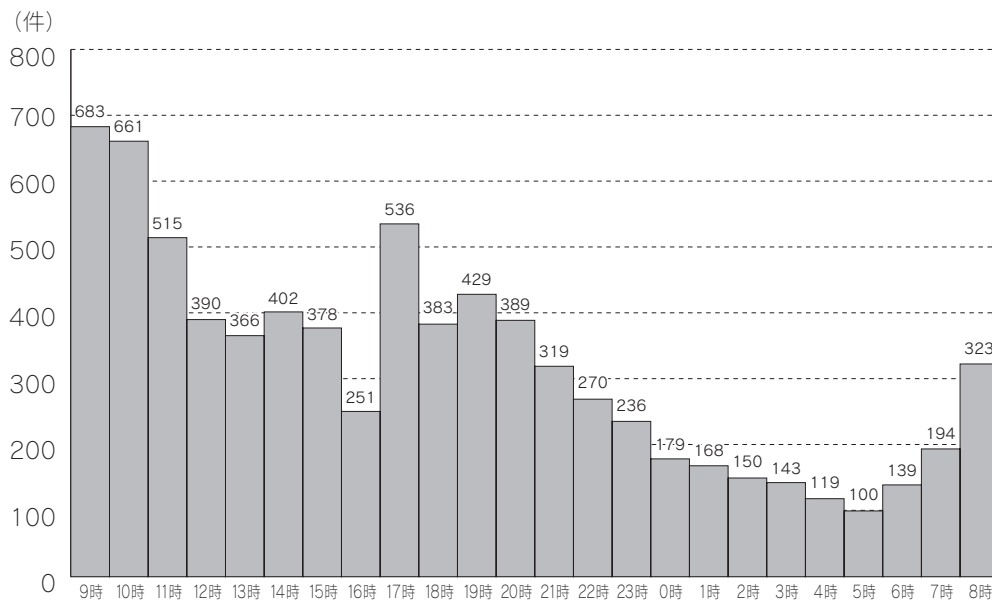
7-2 年齢・性別



7-3 転帰別



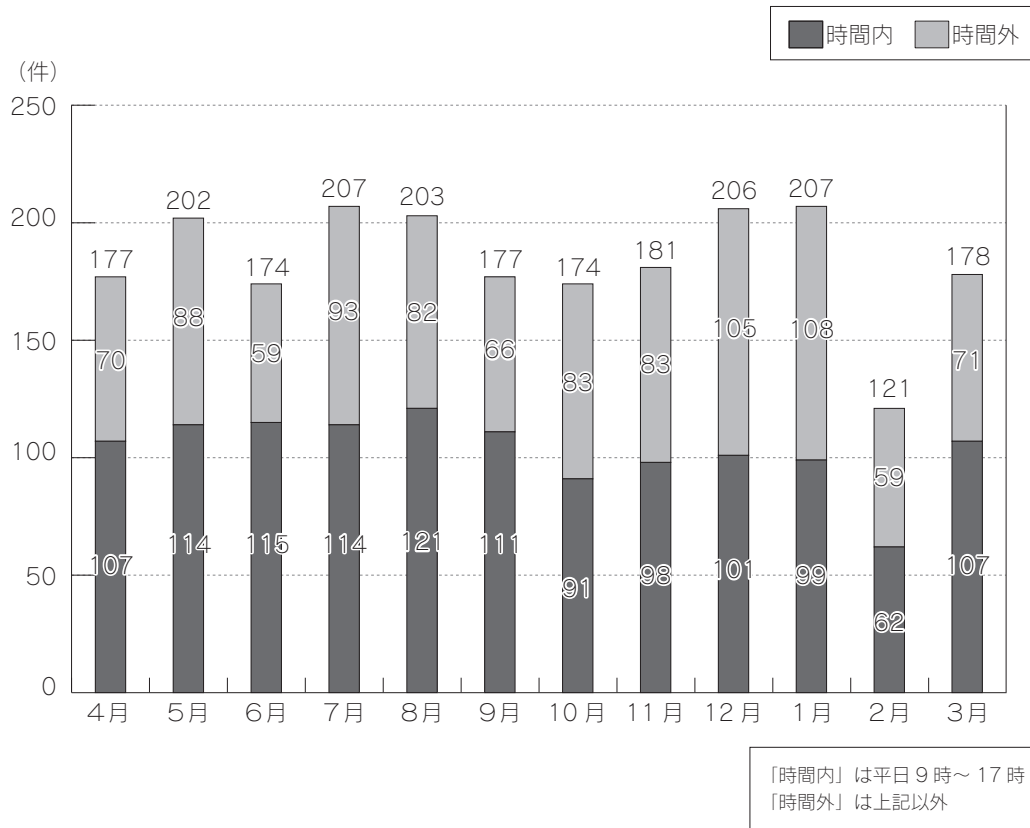
7-4 時間帯別



7-5 (救急統計)緊急入院患者数

(単位：件)

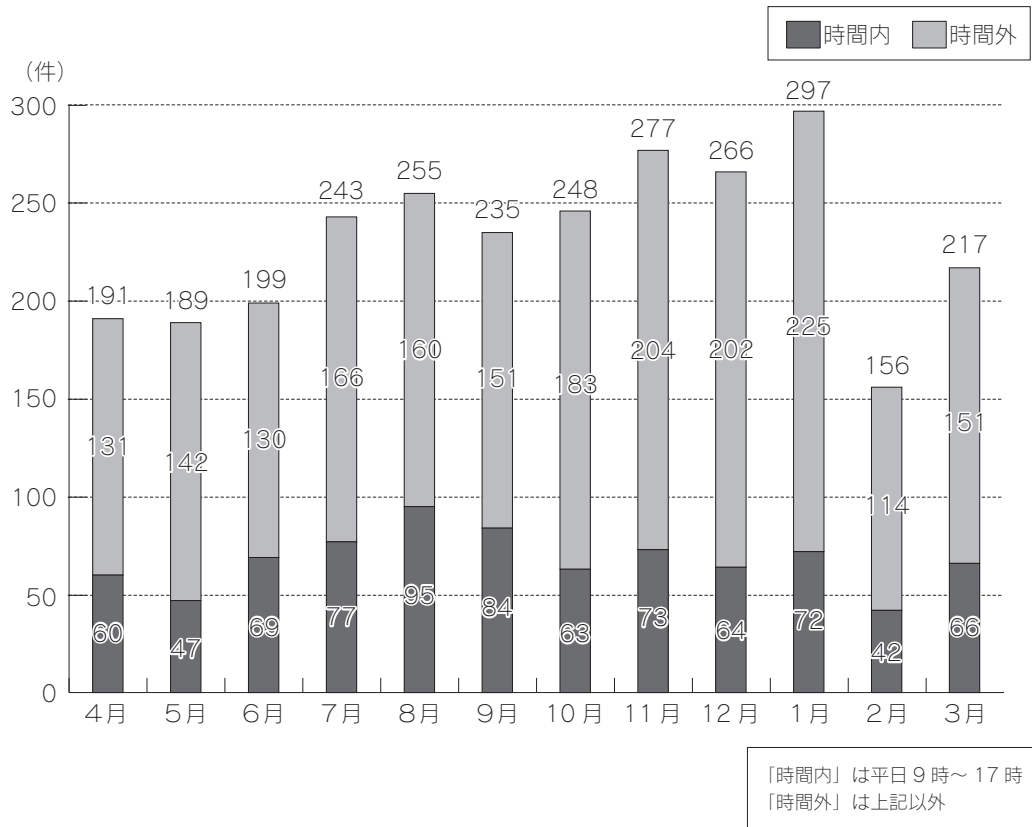
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急入院患者数	2020(R2)	140	176	116	189	213	207	188	181	202	161	169	210	2,152
	時間内	80	91	62	102	121	109	118	108	125	84	93	133	1,226
	時間外	60	85	54	87	92	98	70	73	77	77	76	77	926
	2021(R3)	177	202	174	207	203	177	174	181	206	207	121	178	2,207
	時間内	107	114	115	114	121	111	91	98	101	99	62	107	1,240
	時間外	70	88	59	93	82	66	83	83	105	108	59	71	967



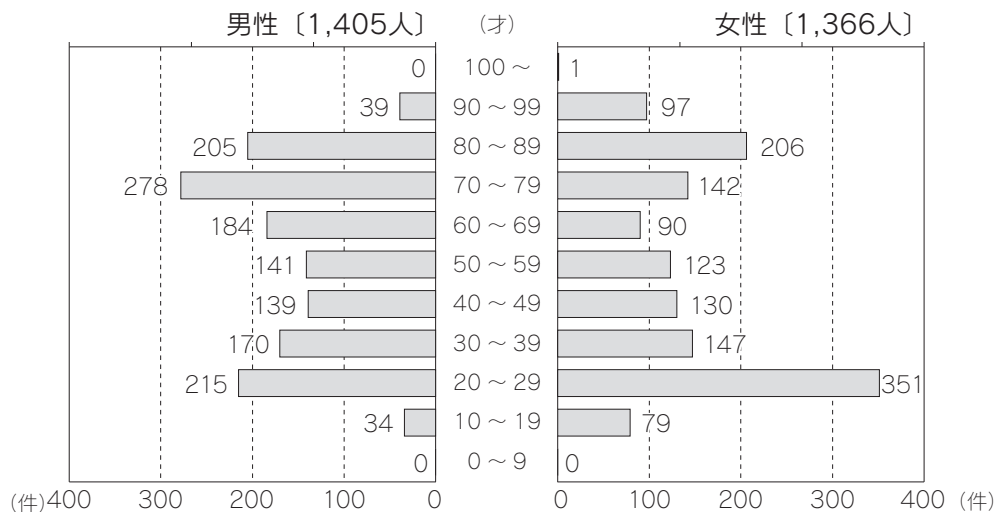
7-6 救急車搬入数

(単位：件)

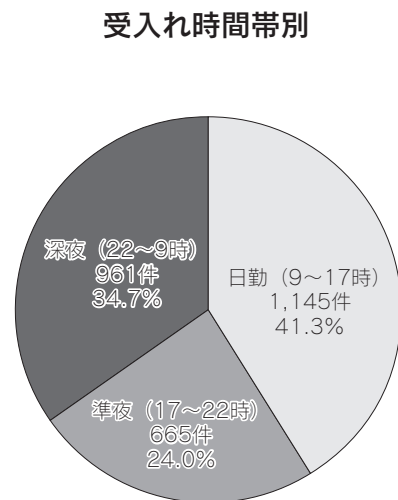
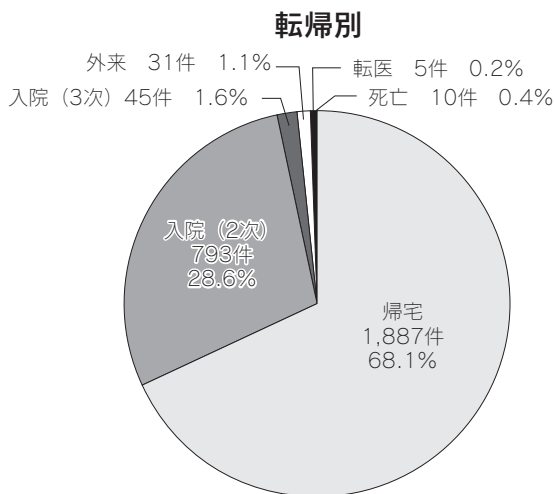
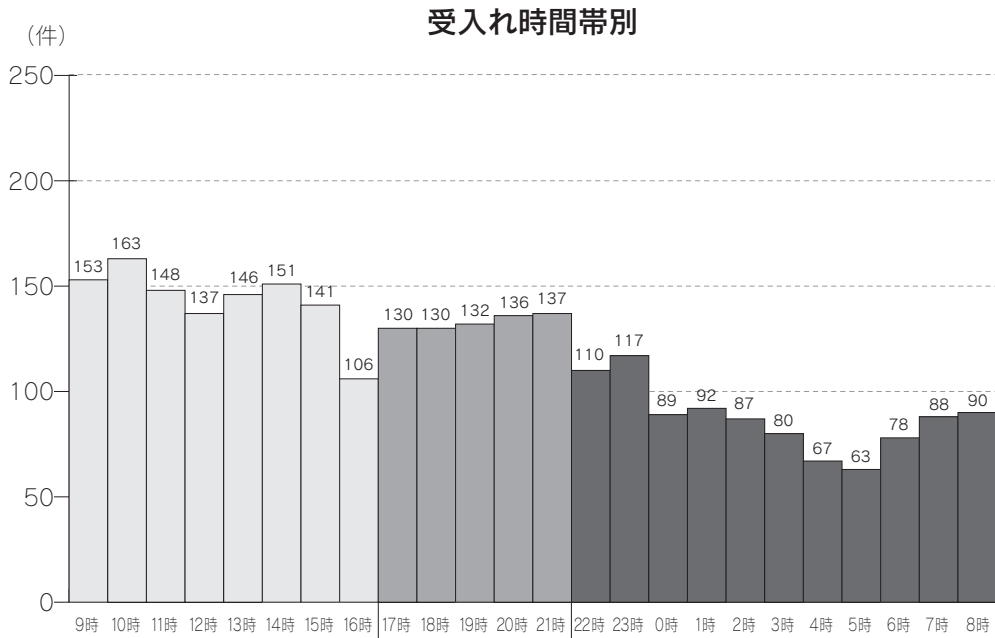
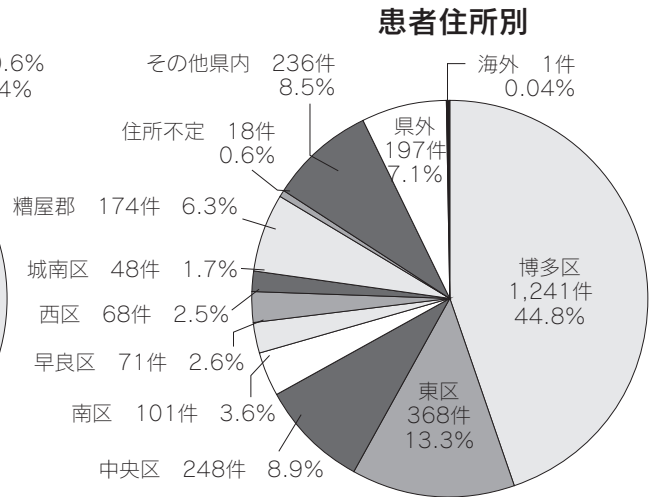
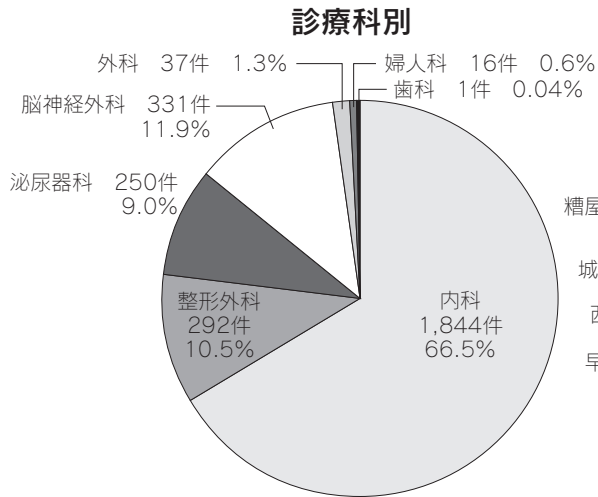
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車搬入数	2020(R2)	134	138	104	205	248	225	189	192	226	163	167	224	2,215
	時間内	49	43	33	72	89	69	63	58	76	45	46	86	729
	時間外	85	95	71	133	159	156	126	134	150	118	121	138	1,486
	2021(R3)	191	189	199	243	255	235	246	277	266	297	156	217	2,771
	時間内	60	47	69	77	95	84	63	73	64	72	42	66	812
	時間外	131	142	130	166	160	151	183	204	202	225	114	151	1,959



7-7 救急車搬入 年齢・性別



7-8 救急車搬入 その他



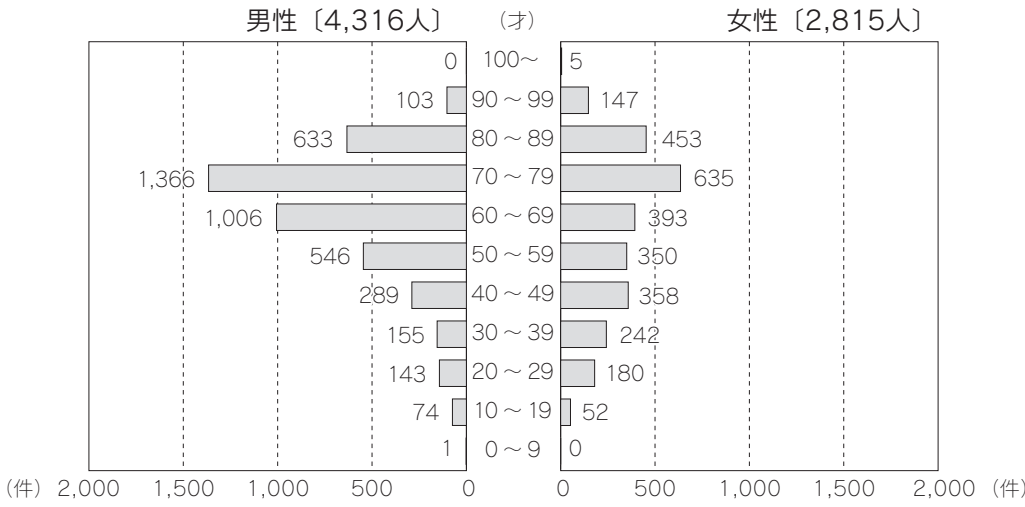
- 「帰宅」は自宅等への帰宅
- 「入院 (2次)」は即日入院
- 「入院 (3次)」は即日入院の上で同日緊急手術あり
- 「外来」は通常外来へ引き継ぎ
- 「転医」は当院から他医療機関へ救急搬送
- 「死亡」は救急外来処置室で死亡

8. 患者構成

8-1 年齢・性別（入院）

(単位：件)

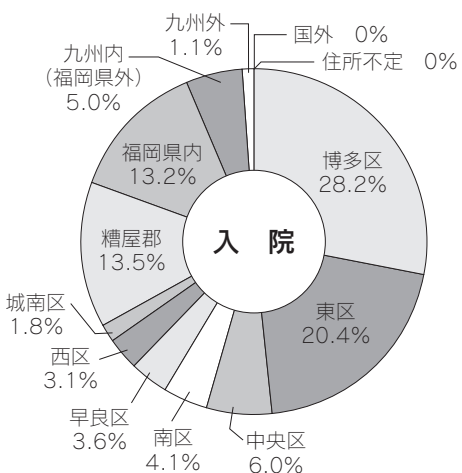
年代	男性	女性	総計
100-	0	5	5
90-99	103	147	250
80-89	633	453	1,086
70-79	1,366	635	2,001
60-69	1,006	393	1,399
50-59	546	350	896
40-49	289	358	647
30-39	155	242	397
20-29	143	180	323
10-19	74	52	126
0-9	1	0	1
総計	4,316	2,815	7,131



8-2 地域別患者構成（入院）

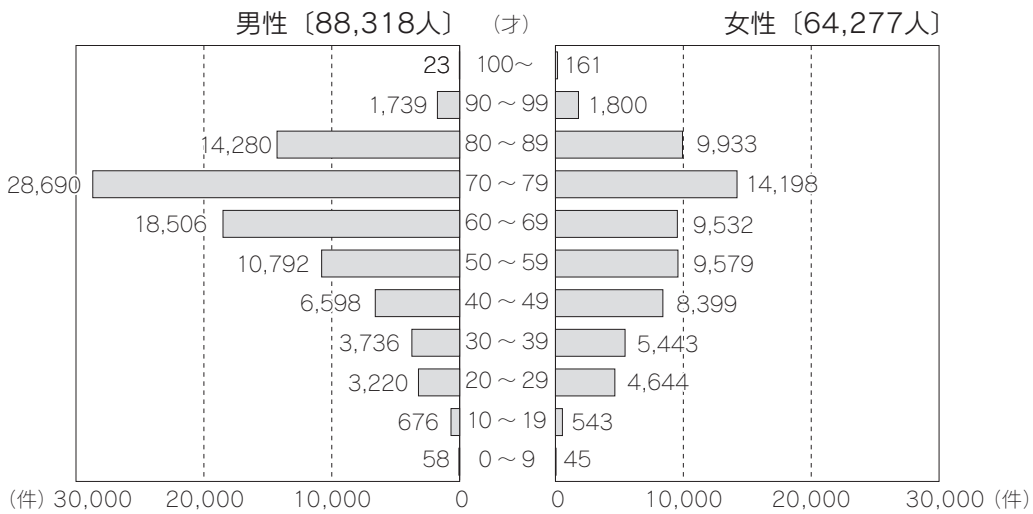
(単位：件)

住所別	件数	割合
博多区	2,012	28.2%
東区	1,452	20.4%
中央区	431	6.0%
南区	291	4.1%
早良区	256	3.6%
西区	221	3.1%
城南区	128	1.8%
糟屋郡	965	13.5%
福岡県内	938	13.2%
九州内（福岡県外）	358	5.0%
九州外	79	1.1%
海外	0	0.0%
住所不定	0	0.0%
合計	7,131	100.0%



8-3 年齢・性別（外来） （単位：件）

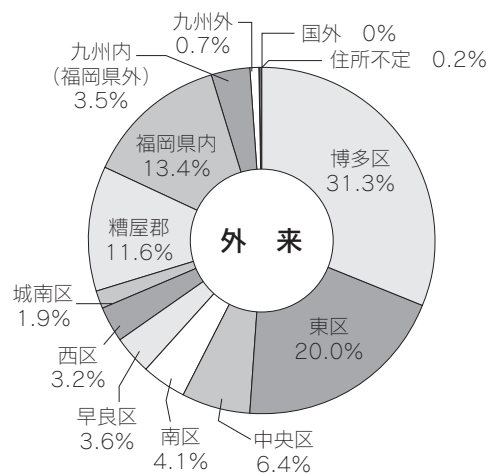
年代	男性	女性	総計
100-	23	161	184
90-99	1,739	1,800	3,539
80-89	14,280	9,933	24,213
70-79	28,690	14,198	42,888
60-69	18,506	9,532	28,038
50-59	10,792	9,579	20,371
40-49	6,598	8,399	14,997
30-39	3,736	5,443	9,179
20-29	3,220	4,644	7,864
10-19	676	543	1,219
0-9	58	45	103
総計	88,318	64,277	152,595



8-4 地域別患者構成（外来）

（単位：件）

住所別	件数	割合
博多区	47,831	31.3%
東区	30,479	20.0%
中央区	9,829	6.4%
南区	6,308	4.1%
早良区	5,420	3.6%
西区	4,895	3.2%
城南区	2,885	1.9%
糟屋郡	17,646	11.6%
福岡県内	20,406	13.4%
九州内（福岡県外）	5,405	3.5%
九州外	1,123	0.7%
海外	9	0.0%
住所不定	359	0.2%
合計	152,595	100.0%



8-5 年齢別患者数（入院）新入院患者数

(単位：件)

年代	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
100～	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	5
90～99	男性	8	6	7	4	6	5	11	16	10	14	9	7	103
	女性	10	10	12	10	13	11	11	22	17	14	5	12	147
80～89	男性	46	37	54	66	51	55	47	44	52	71	48	62	633
	女性	27	42	38	41	38	34	39	38	42	52	25	37	453
70～79	男性	107	133	99	112	143	105	120	113	104	131	98	101	1,366
	女性	57	57	50	63	49	46	55	61	43	60	43	51	635
60～69	男性	85	89	92	76	106	85	90	92	72	68	66	85	1,006
	女性	22	35	33	32	34	30	37	38	34	37	27	34	393
50～59	男性	43	44	51	44	45	48	53	52	35	46	39	46	546
	女性	27	29	32	30	31	30	26	29	28	31	35	22	350
40～49	男性	32	25	24	22	25	16	23	35	26	19	19	23	289
	女性	29	34	39	34	30	26	32	30	23	29	26	26	358
30～39	男性	15	19	14	13	17	7	12	17	11	11	5	14	155
	女性	25	14	16	20	16	18	27	16	22	16	23	29	242
20～29	男性	14	11	11	10	18	10	11	11	9	13	9	16	143
	女性	14	7	9	19	23	19	22	14	18	15	8	12	180
10～19	男性	5	4	6	6	10	4	4	6	9	5	9	6	74
	女性	1	1	2	5	10	5	2	0	6	5	4	11	52
0～9	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男性	355	368	358	353	421	335	371	386	328	378	303	360	4,316
	女性	212	231	232	254	244	220	251	248	233	259	197	234	2,815

8-6 年齢別患者数（外来）延べ患者数

(単位：件)

年代	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
100～	男性	2	2	0	1	2	1	0	2	0	3	5	5	23
	女性	8	11	17	18	21	20	14	12	11	11	7	11	161
90～99	男性	171	151	179	155	142	136	157	147	143	138	105	115	1,739
	女性	170	130	181	163	123	142	155	176	169	131	90	170	1,800
80～89	男性	1,181	1,136	1,262	1,244	1,087	1,150	1,312	1,249	1,185	1,138	1,069	1,267	14,280
	女性	918	716	846	880	812	780	875	930	857	763	696	860	9,933
70～79	男性	2,396	2,175	2,415	2,442	2,462	2,500	2,648	2,458	2,381	2,245	2,015	2,553	28,690
	女性	1,196	1,032	1,172	1,216	1,078	1,193	1,279	1,258	1,275	1,212	1,053	1,234	14,198
60～69	男性	1,555	1,412	1,584	1,549	1,482	1,564	1,610	1,620	1,612	1,441	1,414	1,663	18,506
	女性	800	699	831	734	745	762	836	864	880	715	747	919	9,532
50～59	男性	883	749	889	864	955	870	957	928	1,013	892	855	937	10,792
	女性	764	638	817	811	792	841	933	788	880	809	683	823	9,579
40～49	男性	499	495	574	518	556	602	562	572	579	596	498	547	6,598
	女性	617	616	809	742	732	698	721	694	689	708	640	733	8,399
30～39	男性	293	321	324	272	313	337	291	325	298	352	302	308	3,736
	女性	482	405	444	430	479	456	424	429	476	497	447	474	5,443
20～29	男性	233	282	243	267	377	257	212	245	214	363	240	287	3,220
	女性	313	315	340	431	434	367	382	341	365	584	389	383	4,644
10～19	男性	40	29	37	57	76	49	43	57	64	67	74	83	676
	女性	47	12	32	55	60	44	31	29	39	80	45	69	543
0～9	男性	2	2	5	4	3	4	1	5	6	6	9	11	58
	女性	3	0	2	4	3	10	3	2	2	8	5	3	45
合計	男性	7,255	6,754	7,512	7,373	7,455	7,470	7,793	7,608	7,495	7,241	6,586	7,776	88,318
	女性	5,318	4,574	5,491	5,484	5,279	5,313	5,653	5,523	5,643	5,518	4,802	5,679	64,277

8-7 退院（転科含む）患者疾病別統計表（2021年4月～2022年3月）

（単位：件）

コード	病名	総数	総合診療科	消化管内科	肝胆膵内科	循環器科	血液内科	腎臓内科	呼吸器科	糖尿病内科	脳神経内科	障害センタ 睡眠呼吸 障害	外科	整形外科	泌尿器科	婦人科	脳神経外科	歯科・口腔外科	
I	(A00.0-B99) 感染症および寄生虫症	男	54	9	10	4	2	9	1	3	0	0	0	5	0	11	0	0	0
		女	52	7	23	2	2	3	0	2	0	4	0	3	0	1	5	0	0
II	(C00.0-D48.9) 新生物	男	1,711	0	145	32	4	152	1	108	0	2	0	156	4	1,088	0	18	1
		女	666	0	65	18	2	66	0	41	0	0	0	111	2	176	171	14	0
III	(D50.0-D89.9) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	15	0	0	0	1	9	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0
		女	28	0	0	1	2	15	2	0	0	1	0	5	0	2	0	0	0
IV	(E00.0-E90) 内分泌・栄養および代謝疾患	男	35	6	1	5	1	2	3	0	15	0	0	0	0	0	0	2	0
		女	41	10	0	2	5	0	1	0	14	1	0	6	1	0	1	0	0
V	(F00.0-F99) 精神および行動の障害	男	21	2	4	0	5	4	0	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0
		女	12	0	3	0	2	1	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0
VI	(G00.0-G99.8) 神経系の疾患	男	195	3	1	0	1	1	2	0	0	29	131	0	6	1	0	20	0
		女	82	3	2	0	0	0	0	0	0	30	30	0	2	0	0	15	0
VII	(H00.0-H59.9) 眼および付属器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60.0-H95.9) 耳および乳様突起の疾患	男	8	3	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
		女	15	10	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	男	402	5	7	1	284	0	3	2	0	9	0	1	1	10	0	79	0
		女	184	2	3	0	125	0	0	4	1	7	0	0	1	1	0	40	0
X	(J00-J99.8) 呼吸器系の疾患	男	190	7	6	2	11	17	3	122	0	3	0	15	2	2	0	0	0
		女	90	10	1	0	3	0	1	70	0	2	0	3	0	0	0	0	0
XI	(K00.0-K93.8) 消化器系の疾患	男	579	0	261	62	2	0	0	1	0	0	0	229	0	4	0	1	19
		女	398	1	181	37	4	3	1	1	0	0	0	107	0	1	2	0	60
XII	(L00-L99.8) 皮膚および皮下組織の疾患	男	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0
		女	9	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
XIII	(M00.00-M99.99) 筋骨格系および結合組織の疾患	男	53	5	2	1	0	0	1	2	0	1	0	0	37	3	0	1	0
		女	83	7	0	0	0	1	6	1	0	2	0	0	65	0	0	1	0
XIV	(N00-N99.9) 腎尿路生殖器系の疾患	男	784	12	0	1	6	4	81	0	0	2	0	8	0	670	0	0	0
		女	868	27	3	2	4	0	60	0	0	0	0	6	2	517	247	0	0
XV	(O00.0-O99.8) 妊娠、分娩および産じょく	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0
XVI	(P00.0-P96.9) 周産期に発生した病態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII	(Q00.0-Q99.9) 先天奇形・変形および染色体異常	男	12	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0
		女	18	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10	6	1	0
XVIII	(R00.0-R99) 症状・兆候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	8	1	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
		女	5	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
XIX	(S00.0-T98.3) 損傷・中毒およびその他の外因の影響	男	260	2	4	0	7	4	4	1	0	2	0	9	179	13	0	29	6
		女	244	8	2	0	2	2	5	2	0	0	0	3	188	3	2	24	3
XXI	(Z00.0-Z99.9) 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	男	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XXII	(U07.1) エマージェンシーコード	男	92	12	15	10	18	3	3	22	1	5	0	2	0	0	0	1	0
		女	78	14	11	7	16	1	6	16	0	3	1	3	0	0	0	0	0
合計		男	4,431	68	458	119	345	210	105	265	16	56	131	428	232	1,818	0	154	26
		女	2,890	103	294	69	172	94	83	139	15	58	31	248	261	712	451	96	64
		計	7,321	171	752	188	517	304	188	404	31	114	162	676	493	2,530	451	250	90

8-8 死亡退院患者疾病別統計表（2021年4月～2022年3月）

（単位：件）

コード	病名		総数	総合診療科	消化管内科	肝胆膵内科	循環器科	血液内科	腎臓内科	呼吸器科	糖尿病内科	脳神経内科	睡眠呼吸障害 セントラ	外科	整形外科	泌尿器科	婦人科	脳神経外科	歯科・口腔外科	
																				男
I	(A00.0-B99) 感染症および寄生虫症	男	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
II	(C00.0-D48.9) 新生物	男	35	0	0	0	0	12	0	4	0	0	0	9	0	7	0	3	0	0
		女	9	0	1	0	0	4	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
III	(D50.0-D89.9) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
IV	(E00.0-E90) 内分泌・栄養および代謝疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V	(F00.0-F99) 精神および行動の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI	(G00.0-G99.8) 神経系の疾患	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VII	(H00.0-H59.9) 眼および付属器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60.0-H95.9) 耳および乳様突起の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	男	12	1	1	0	5	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		女	8	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
X	(J00-J99.8) 呼吸器系の疾患	男	19	0	0	0	3	3	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XI	(K00.0-K93.8) 消化器系の疾患	男	8	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XII	(L00-L99.8) 皮膚および皮下組織の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XIII	(M00.00-M99.99) 肋骨格系および結合組織の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XIV	(N00-N99.9) 腎尿路生殖系系の疾患	男	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
XV	(O00.0-O99.8) 妊娠、分娩および産じょく	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVI	(P00.0-P96.9) 周産期に発生した病態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII	(Q00.0-Q99.9) 先天奇形・変形および染色体異常	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVIII	(R00.0-R99) 症状・兆候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XIX	(S00.0-T98.3) 損傷・中毒およびその他の外因の影響	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
XXI	(Z00.0-Z99.9) 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XXII	(U07.1) エマーゼンシーコード	男	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		男	87	1	2	6	10	17	3	19	0	2	0	10	1	10	0	6	0	0
		女	28	0	2	0	7	7	0	3	0	1	0	2	1	2	0	3	0	0
		計	115	1	4	6	17	24	3	22	0	3	0	12	2	12	0	9	0	0

9. 診療実績

〈病院全体〉

DPC14 桁分類

※ CCPM：手術処置と副傷病等の組み合わせに基づく医療資源必要度分類
 ※ 短手3：短期滞在手術等基本料3

No.	DPC14 桁	DPC 名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術等 処置1なし 副傷病なし	323	6.6	6.6
2	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 前立腺針生検法	285	4.1	4.1
3	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術等	222	5.3	5.3
4	180030xxxxadv	その他の感染症(真菌を除く)+高額薬剤使用等によりDPC対象外	161	9.5	10.2
4	030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)	161	2.0	2.0
6	110070xx03x20x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 化学療法 副傷病なし	157	7.6	7.7
7	110080xxxxlos0	前立腺の悪性腫瘍+DPC対象となる病棟に入院していない	156	0.0	4.1
8	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	144	9.7	9.8
9	11013xxx04xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	136	5.8	6.2
10	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 副傷病なし	119	4.0	4.0
10	060160xx001xxxx	鼠径ヘルニア 15歳以上 鼠径ヘルニア手術等	119	7.6	7.7
12	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	99	7.2	7.2
13	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	97	8.0	8.0
14	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	93	3.5	3.5
15	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	89	13.5	16.8
16	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 処置2なし	88	9.0	9.0
17	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	80	13.0	13.1
18	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 経気管肺生検法等 処置2なし	63	3.8	3.8
18	050130xx9900xx	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし等	63	18.3	22.0
20	110070xx99x20x	膀胱腫瘍 手術なし 化学療法 副傷病なし	56	10.8	10.8

(注釈)急性期の平均日数と実日数の平均日数の差が、地域包括ケア病棟の平均日数にならない症例もある(以下、同様)

Kコード別分類

No.	Kコード	手術名称	症例数
1	K7811	経尿道的尿路結石除去術(レーザー)	343
2	K80364	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用)	269
3	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	265
4	K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	248
5	K872-31	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切除術、子宮内膜ポリープ切除術(電解質溶液利用)	100
6	K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術(ホルミウムレーザー等使用)	88
7	K802-22	膀胱脱手術(その他)	86
8	K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	83
9	K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる)	80
10	K8512	会陰形成手術(筋層に及ぶ)	77
11	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	75
12	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	72
13	K7981	膀胱結石(異物)摘出術(経尿道的手術)	58
14	K61214	末梢動静脈瘻造設術(内シャント造設術)(単純)	50
14	K800-2	経尿道的電気凝固術	50
14	K8882	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡)	50
17	K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	48
18	K8862	子宮附属器癒着剥離術(両側)(腹腔鏡)	47
19	K0483	骨内異物(挿入物を含む)除去術(前腕、下腿)	46
20	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	44
20	K6335	鼠径ヘルニア手術	44

〈内科系〉
総合診療科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	32	16.1	20.3
2	180030xxxxadv	その他の感染症(真菌を除く)+高額薬剤使用等によりDPC対象外	25	7.8	8.3
3	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし	6	12.0	12.0
4	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	5	4.8	6.4
5	030400xxxxlos0	前庭機能障害+DPC対象となる病棟に入院していない	5	0.0	6.4
6	100380xxxxlos0	体液量減少症+DPC対象となる病棟に入院していない	5	0.0	25.4
7	040080xxCCPM04	肺炎等(04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度:中	5	9.6	9.6
8	080020xxxxxxx	帯状疱疹	5	9.8	9.8
9	010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 処置2なし 年齢15歳以上	4	8.8	8.8
10	080010xxxx0xxx	膿皮症 処置1なし	4	11.0	14.5

脳神経内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	180030xxxxadv	その他の感染症(真菌を除く)+高額薬剤使用等によりDPC対象外	9	9.9	9.9
2	010160xxxxlos0	パーキンソン病 +DPC対象となる病棟に入院していない	7	0.0	25.3
3	010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 処置2なし 年齢15歳以上	7	9.1	9.1
4	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 処置2なし 副傷病なし	6	4.8	4.8
5	01021xxxx1xxx	認知症 SPECT	5	19.8	47.8
6	010060xxCCPM02	脳梗塞(02) 手術なし 処置1なし 脳血管疾患等リハ(2) 副傷病なし/水頭症等(1) 他	4	7.8	13.3
7	010160xx99x10x	パーキンソン病 手術なし SPECT等 副傷病なし	4	19.8	30.8
8	010160xx99x00x	パーキンソン病 手術なし 処置2なし 副傷病なし	4	27.8	47.5
9	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	3	10.0	10.0
10	030400xxxxlos0	前庭機能障害+DPC対象となる病棟に入院していない	3	0.0	4.7

消化管内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術等	217	5.3	5.3
2	060100xxxxlos0	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)+DPC対象となる病棟に入院していない	50	0.0	4.7
3	060102xx99xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	45	7.6	7.6
4	060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術等	36	10.3	10.3
5	180030xxxxadv	その他の感染症(真菌を除く)+高額薬剤使用等によりDPC対象外	26	8.2	8.2
6	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	23	9.7	9.7
7	060102xx02xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 内視鏡的消化管止血術等	20	10.6	12.5
8	060010xx02xx0x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む)内視鏡的消化管止血術等 副傷病なし	19	10.5	10.5
9	060380xxxx00x	ウイルス性腸炎 処置2なし 副傷病なし	16	5.3	5.7
10	060035xx03xxxx	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	16	9.6	9.6

肝胆膵内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	180030xxxxadv	その他の感染症(真菌を除く)+高額薬剤使用等によりDPC対象外	17	9.9	11.5
2	060350xx99x00x	急性膵炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし	15	8.9	8.9
3	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 内視鏡的胆道ステント留置術等 処置2なし 副傷病なし	12	12.8	13.7
4	060340xx99x0xx	胆管(肝内外)結石、胆管炎 手術なし 処置2なし	9	8.4	8.4
5	060050xx99000x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	8	11.5	11.5
6	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)その他手術あり 処置2なし	8	12.8	12.8
7	060300xx99x00x	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む)手術なし 処置2なし 副傷病なし	7	12.6	18.3
8	060350xx99x01x	急性膵炎 手術なし 処置2なし 胸水、胸膜の疾患(その他)等	7	16.1	20.1
9	060050xx97x2xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)その他手術あり 化学療法なしかつ放射線療法あり	6	41.0	41.0
10	060335xx99x00x	胆嚢炎等 手術なし 処置2なし 副傷病なし	5	15.0	15.0

循環器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	050130xx9900xx	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし等	55	19.5	23.7
2	050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 心臓カテーテル法による諸検査等 処置2なし	45	5.2	5.2
3	050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術等 処置2なし	40	5.8	5.8
4	050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈ステント留置術等 処置1なし 処置2なし	34	8.6	10.4
5	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 四肢の血管拡張術・血栓除去術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	29	15.8	17.2
6	180030xxxxadv	その他の感染症（真菌を除く）+ 高額薬剤使用等により DPC 対象外	28	9.5	10.6
7	050070xx9900xx	頻脈性不整脈 手術なし 処置1なし 処置2なし	26	5.8	5.8
8	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	21	13.2	13.2
9	050030xx97000x	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞 その他手術あり 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	18	14.5	15.6
10	050130xx9910xx	心不全 手術なし 心臓カテーテル法による諸検査等 処置2なし等	11	17.5	19.5

血液内科

※ adv ; DPC 対象外

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	130010xxxxadv	急性白血病 + 高額薬剤使用等により DPC 対象外	25	65.3	65.3
2	130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし リツキサン + グラン等	25	39.0	39.0
3	130040xxxxadv	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 + 高額薬剤使用等により DPC 対象外	24	76.2	76.2
4	130040xx99x6xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし エムプリシティ等	8	38.0	38.0
5	130030xx97x50x	非ホジキンリンパ腫 手術あり リツキサン + グラン等 副傷病なし	8	80.1	83.1
6	130030xxxxadv	非ホジキンリンパ腫 + 高額薬剤使用等により DPC 対象外	8	99.0	99.0
7	130030xx99x6xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし ベルケイド等	7	50.9	53.1
8	040080xxCCPM01	肺炎等 (01) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 軽症	6	13.3	13.3
9	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし アザシチジン	6	99.7	105.2
10	180041xxxxxxxx	移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応	5	52.8	52.8

腎臓内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1なし 処置2なし	45	12.4	13.1
2	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 血管移植術、バイパス移植術等 人工腎臓	23	39.6	39.7
3	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 血管移植術、バイパス移植術等 処置2なし 副傷病なし	19	14.8	16.1
4	110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1なし 人工腎臓	13	23.0	24.0
5	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 血管結紮術 その他のもの等 処置2なし	6	5.3	5.3
6	180040xx97x0xx	手術・処置等の合併症 手術あり 処置2なし	5	2.0	2.0
7	180030xxxxadv	その他の感染症（真菌を除く）+ 高額薬剤使用等により DPC 対象外	5	9.2	9.2
8	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他手術あり 処置2なし 副傷病なし	4	10.3	10.3
9	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	3	15.7	15.7
10	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 処置2なし 副傷病なし	3	23.0	23.0

呼吸器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 経気管肺生検法等 処置2なし	63	3.8	3.8
2	180030xxxxadv	その他の感染症（真菌を除く）+ 高額薬剤使用等により DPC 対象外	43	10.4	10.6
3	040080xxCCPM04	肺炎等 (04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度：中	34	25.4	28.5
4	040110xxxx0xx	間質性肺炎 処置2なし	31	17.7	23.0
5	040080xxCCPM02	肺炎等 (02) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 重症度：中	16	13.6	17.2
6	040200xx99x00x	気胸 手術なし 処置2なし 副傷病なし	13	10.5	10.5
7	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2なし	11	14.5	14.5
8	040190xx99xxxx	胸水、胸膜の疾患（その他）手術なし	10	8.9	8.9
9	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし	10	30.1	36.9
10	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 化学療法ありかつ放射線療法なし 副傷病なし	8	13.3	13.3

糖尿病内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	10007xxxxx1xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く) インスリン製剤(注射薬に限る)	15	23.3	26.0
2	100040xxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 処置2なし 副傷病なし	3	11.7	11.7
3	10006xxxxx1xx	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く) インスリン製剤(注射薬に限る)	2	12.5	27.0
4	100380xxxxlos0	体液量減少症 +DPC 対象となる病棟に入院していない	1	0.0	4.0
5	050130xx9900xx	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし等	1	1.0	1.0
6	10006xxxxx0xx	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く) 処置2なし	1	2.0	2.0
7	10007xxxxx0xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く) 処置2なし	1	7.0	7.0
8	060340xx99x0xx	胆管(肝内外) 結石、胆管炎 手術なし 処置2なし	1	13.0	13.0
9	10008xxxxx1xx	その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く) インスリン製剤(注射薬に限る)	1	17.0	17.0
10	130010xx97x0xx	急性白血病 手術あり 処置2なし	1	17.0	17.0

睡眠呼吸障害センター

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 終夜睡眠ポリグラフィー(1及び2以外)	161	2.0	2.0

<外科系>

外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア 15歳以上 鼠径ヘルニア手術等	118	7.6	7.7
2	060335xx02000x	胆嚢炎等 胆嚢摘出術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	40	7.8	7.8
3	060035xx010x0x	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍 結腸切除術等 処置1なし 副傷病なし	31	24.3	24.3
4	060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わない等	21	6.4	6.4
5	060150xx02xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴う等	18	8.6	8.6
6	040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 手術あり 処置2なし 副傷病なし	17	16.5	16.5
7	060330xx02xxxx	胆嚢疾患(胆嚢結石など) 胆嚢摘出術等	15	8.2	8.2
8	060170xx02xxxx	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術等	14	15.2	15.2
9	060150xx99xx0x	虫垂炎 手術なし 副傷病なし	12	5.8	5.8
10	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	9	10.6	10.6

乳腺内分泌外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術等 処置1なし	26	10.6	10.6
2	090020xx97xxxx	乳房の良性腫瘍 手術あり	4	6.5	6.5
3	100130xx97x0xx	甲状腺の良性結節 手術あり 処置2なし	4	8.0	8.0
4	100220xx01xxxx	原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍 副甲状腺腫過形成手術 副甲状腺摘出術等	3	7.7	7.7
5	090010xx011xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術等 骨移植術等	3	12.3	12.3
6	090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わない)	2	6.5	6.5
7	180050xx97x0xx	その他の悪性腫瘍 手術あり 処置2なし	2	7.0	7.0
8	100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術等 処置1なし	2	9.0	9.0
9	090010xx97x5xx	乳房の悪性腫瘍 その他手術あり ハラヴェン	2	19.0	19.0
10	180030xxxxx1x	その他の感染症(真菌を除く) 2型糖尿病	1	4.0	4.0

整形外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	160620xx01xxxx	肘、膝の外傷(スポーツ障害等を含む) 骨移植術等	52	20.2	22.1
2	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工関節置換術等	46	29.9	34.2
3	160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり 副傷病なし	28	10.6	13.0
4	160620xx02xxxx	肘、膝の外傷(スポーツ障害等を含む) 関節鏡下半月板切除術等	26	9.3	9.3
5	160850xx01xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 骨折視血的手術等	25	20.9	34.8
6	070230xx01xxxx	膝関節症(変形性を含む) 人工関節置換術等	20	21.3	33.5
7	070085xx97xxxx	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症(上肢以外) 手術あり	18	14.9	16.8
8	160700xx97xx0x	鎖骨・肩甲骨の骨折 手術あり 副傷病なし	16	9.0	9.0
9	160850xx02xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 骨内異物除去術等	15	12.0	12.0
10	070370xx99xxxx	脊椎骨粗鬆症 手術なし	13	16.9	17.4

泌尿器科

※短手3：短期滞在手術等基本料3

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術等 処置1なし 副傷病なし	323	6.6	6.6
2	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 前立腺針生検法	285	4.1	4.1
3	110070xx03x20x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 化学療法 副傷病なし	157	7.6	7.7
4	110080xxxxlos0	前立腺の悪性腫瘍 +DPC 対象となる病棟に入院していない	156	0.0	4.1
5	11013xxx04xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	135	5.6	6.1
6	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 副傷病なし	119	4.0	4.0
7	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	97	8.0	8.0
8	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	94	9.9	10.1
9	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 処置2なし	88	9.0	9.0
10	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	80	13.0	13.1
11	110070xx99x20x	膀胱腫瘍 手術なし 化学療法 副傷病なし	56	10.8	10.8
12	110060xx99x20x	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 化学療法 副傷病なし	49	10.1	10.1
13	11012xxx97xx0x	上部尿路疾患 その他手術あり 副傷病なし	48	7.4	8.1
14	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 処置2なし	39	12.6	12.6
15	11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 鼠径ヘルニア手術等	38	5.4	5.4
16	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	34	11.4	12.7
17	110070xx99x0xx	膀胱腫瘍 手術なし 処置2なし	34	8.6	8.8
18	110080xx9903xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 化学療法等	33	23.1	23.3
19	110060xx99x0xx	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 処置2なし	31	7.7	8.2
20	11012xxx04xxxx	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	27	3.8	3.8

婦人科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	99	7.2	7.2
2	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	93	3.5	3.5
3	120100xx02xxxx	子宮内膜症 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	51	7.0	7.0
4	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	50	9.4	9.4
5	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 子宮付属器腫瘍摘出術等	33	6.4	6.4
6	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	32	11.0	11.1
7	120230xx02xxxx	子宮の非炎症性障害 子宮頸部(腔部)切除術等	19	3.7	3.7
8	120130xx97xxxx	異所性妊娠(子宮外妊娠) 手術あり	11	4.3	4.3
9	120110xx99xxxx	子宮・子宮付属器の炎症性疾患 手術なし	8	6.8	6.8
10	12002xxx03x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮内膜掻爬術 処置2なし	4	2.8	2.8

脳神経外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数 (急性期)	平均日数 (実日数)
1	010060xxCCPM04	脳梗塞(04) 手術なし 処置1なし ラジカット(4) 副傷病なし/水頭症等(1) 他	33	22.8	24.1
2	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他手術あり 処置2なし 副傷病なし	17	10.9	18.4
3	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 処置2なし 副傷病なし	15	12.9	19.1
4	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 処置2なし 副傷病なし	12	7.4	9.8
5	010070xx02x2xx	脳血管障害 経皮的頸動脈ステント留置術 SPECT 等	7	22.7	22.7
6	010010xx02x00x	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 処置2なし等 副傷病なし	7	34.3	42.0
7	010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 動脈造影カテーテル法(選択的に造影撮影) 処置2なし	6	3.7	3.7
8	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外) JCSI未満 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	6	21.5	21.5
9	010060xxCCPM05	脳梗塞(05) 手術なし 処置1なし ラジカット(4) 肺炎等(2) 他	5	27.6	27.6
10	010060xxCCPM01	脳梗塞(01) 手術なし 処置1なし 処置2なし 他	4	3.3	3.3

10. 診療技術部統計

薬剤科

(単位：件)

項 目	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均	
処方枚数	入院	64,899	57,033	64,027	260.3
	外来	4,952	3,645	3,925	16.0
	計	69,851	60,678	67,952	276.2
調剤数	入院	129,671	116,903	125,979	512.1
	外来	7,762	5,728	6,121	24.9
	計	137,433	122,631	132,100	537.0
延調剤数	入院	786,912	726,725	788,388	3,204.8
	外来	61,460	49,217	47,705	193.9
	計	848,372	775,942	836,093	3,398.8
薬剤管理指導件数	9,567	8,200	8,461	34.4	

超音波検査科

(単位：件)

項 目	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均
内 科	3,671	3,354	3,332	13.7
外 科	3,081	3,172	3,053	12.5
泌尿器科	25,587	20,011	20,330	83.3
婦 人 科	4,918	4,751	4,974	20.4
健 診	6,661	6,435	6,908	28.3
ウロダイナミクス	753	519	576	2.4
合 計	44,671	38,242	39,173	160.5

ドック(再掲)	91	77	73	0.3
穿刺(再掲)	677	583	627	2.6

リハビリテーション科

(単位：件)

項 目	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均
運 動 器	21,577	19,838	15,817	65.1
脳 血 管	6,993	12,355	11,509	47.4
呼 吸 器	3,713	5,304	5,775	23.8
心 大 血 管	3,704	4,366	4,278	17.6
がんリハビリ	10,174	10,480	11,747	48.3
廃用症候群	5,790	6,924	10,201	42.0
リハビリ総合計画評価料	1,999	1,790	2,024	8.3

栄養科（給食件数）

（単位：件）

項 目	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均	
一般食	常食	133,164	103,323	112,495	308.2
	軟食	13,227	16,149	26,914	73.7
	特室食	16,347	12,246	8,621	23.6
	計	162,738	131,718	148,030	405.6
特食	特食(加算)	72,166	72,896	73,905	202.5
	特食(非加算)	31,001	25,306	34,821	95.4
	計	103,167	98,202	108,726	297.9
その他(検食)	4,102	4,050	4,519	12.4	
合計	270,007	233,970	261,275	715.8	
			1食平均	213.7	

栄養科（栄養指導）

（単位：件）

項 目	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均
糖尿病	185	165	113	0.3
循環器疾患	173	227	175	0.5
脂質異常症	23	0	0	0.0
腎臓病	698	721	743	2.0
透析	307	247	50	0.1
その他	101	156	104	0.3
合計	1,487	1,516	1,185	3.2

臨床工学科

（単位：件）

項 目	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均	
人工呼吸器 使用回数	挿管・気切	56	23	27	0.1
	マスク	58	30	44	0.2
	計	114	53	71	0.3
ペースメーカー	植込・交換	12	18	30	0.1
	外来チェック	138	115	127	0.5
	病棟チェック	16	20	27	0.1
	計	166	153	184	0.7
透析回数 <small>※透析回数のみ312 日で計算しています</small>	腎クリニック	16,602	15,913	16,335	66.4
	腎センター	1,967	2,063	2,181	8.9
	計	18,569	17,976	18,516	75.3
血液浄化回数	19	22	19	0.1	
修理件数	院内修理	123	88	127	0.5
	院外修理	18	25	13	0.1
	計	141	113	140	0.6
ハイパー サーミア	新患	35	35	27	0.1
	件数	902	809	1,041	4.2

放射線科（検査件数）

（単位：件）

項 目		2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均	
単 純	胸 部	31,464	27,374	27,493	112.7	
	腹 部	3,895	3,254	3,460	14.2	
	尿 路 系	7,618	6,867	7,057	28.9	
	骨 格	8,594	7,423	7,008	28.7	
	乳 房	3,019	2,864	3,078	12.6	
計		54,590	47,782	48,096	197.1	
造 影	消 化 器	胃・食道	3,610	3,480	3,030	12.4
		大 腸	92	79	68	0.3
		胆 嚢・胆 管	3	3	3	0.0
		術 中 胆 管	91	70	55	0.2
	計		3,796	3,632	3,156	12.9
	H S G		60	38	53	0.2
	尿 路 系		864	735	648	2.7
	透 視 下 造 影		1,376	1,246	1,166	4.8
計		6,096	5,651	5,023	20.6	
C T（東館1F）		14,082	12,215	12,144	49.8	
C T（救急外来）		2,524	3,874	3,795	15.6	
M R I		5,767	5,150	5,179	21.2	
R I（検査）		1,029	791	846	3.5	
R I（治療）		31	29	20	0.1	
心臓カテーテル		426	407	384	1.6	
一般アンギオ		183	157	142	0.6	
骨 塩 定 量		979	847	777	3.2	
合 計		85,707	76,903	76,406	313.1	

放射線科（治療件数）

項 目	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均
外 部 照 射	6,605	5,632	4,790	19.6
治 療 計 画 C T	300	259	237	1.0
密 封 小 線 源	3	0	0	0.0

臨床検査科（検体検査）

（単位：件）

項 目		2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均	
検 体	一般検査	一 般	111,959	96,121	97,221	398.4
		糞 便	380	382	383	1.6
		精 液	256	177	146	0.6
		計	112,595	96,680	97,750	401
	血液検査	一 般	100,246	92,509	88,847	364.1
		凝 固	26,103	24,313	27,014	110.7
		骨 髄	903	772	598	2.5
		血 ガ ス	1,812	1,426	1,100	4.5
		計	129,064	119,020	117,559	482
	生化学検査	単 項 目	1,304,069	1,202,001	1,245,034	5,102.6
		免 疫 血 清	8,897	8,366	6,690	27.4
		輸 血	11,099	10,177	10,339	42.4
		感 染	13,285	15,655	20,104	82.4
		腫瘍マーカー	34,567	32,083	33,180	136.0
		治験・院内業務	100	232	181	0.7
	計	1,372,017	1,268,514	1,315,528	5,392	
	細菌検査	培 養	11,700	9,731	9,313	38.2
		同 定	5,120	4,494	4,273	17.5
		感 受 性	5,085	4,423	4,155	17.0
		S T D	233	270	209	0.9
		そ の 他	9,053	7,166	6,938	28.4
院 内 業 務		513	497	494	2.0	
計		31,704	26,581	25,382	104	
計	1,645,380	1,510,795	1,556,219	6,378		
健 診	検 尿・検 便	19,169	15,338	16,087	65.9	
	血 液	11,707	11,519	11,486	47.1	
	生化学・免疫	183,237	173,657	179,864	737.1	
	計	214,113	200,514	207,437	850.2	
合 計		1,859,493	1,711,309	1,763,656	7,228	
外 注 検 査		41,858	39,158	49,975	204.8	

臨床検査科（生理検査）

（単位：件）

項 目		2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均
主な生理検査	心電図	10,652	9,199	9,787	40.1
	特殊心電図	699	885	784	3.2
	心エコー	5,740	5,639	5,997	24.6
	肺機能	4,064	3,378	3,591	14.7
	脳波	198	208	251	1.0
	心臓カテーテル	345	301	238	1.0
	R1心筋シンチ	122	80	61	0.3
	その他	1,785	1,640	1,729	7.1
計	23,605	21,330	22,438	92.0	
健診	心電図	11,148	10,838	10,963	44.9
	聴力	11,412	10,958	11,075	45.4
	眼底	4,391	4,220	4,377	17.9
	肺活量	3,547	55	0	0.0
	その他	655	566	809	3.3
計	31,153	26,637	27,224	111.6	
睡眠ポリグラフ	219	146	164	0.7	
合計	54,977	48,113	49,826	204.2	

外注検査	209	280	226	0.9
------	-----	-----	-----	-----

臨床検査科（病理検査）

（単位：件）

項 目		2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	1日平均
細胞検査	泌尿器科	5,599	4,551	4,673	19.2
	婦人科	1,840	1,731	1,673	6.9
	呼吸器科	340	241	258	1.1
	外科	606	816	856	3.5
	その他	184	166	123	0.5
計	8,569	7,505	7,583	31.1	
病理検査	組織検査	4,717	4,036	4,398	18.0
	迅速	37	46	31	0.1
	免疫染色	585	537	508	2.1
計	5,339	4,619	4,937	20.2	
合計	13,908	12,124	12,520	51.3	

健診	婦人科	2,322	2,188	2,516	10.3
	呼吸器科	52	53	66	0.3
	計	2,374	2,241	2,582	10.6

解剖	1	0	0	0.0
----	---	---	---	-----

4 学術発表

1. 論文・著書

〈診療部〉

腎臓内科

筆頭著者	論文題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
満生 浩司	透析患者のヘルシーエイジングに向けて「便通の異常」	腎と透析	90巻4号	2021年4月
	腎疾患治療薬 update 「イオン交換樹脂」	腎と透析 (増刊号)	91巻増刊号	2021年8月
	透析療法における医療安全を考える	日本透析医学会雑誌	54巻9号	2021年9月
	新資格:腎代替療法専門指導士の創設へ向けて	日本臨床腎移植学会雑誌	9巻2号	2021年12月

外科

筆頭著者	論文題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
藤井 圭	特集 鼠径部ヘルニア治療の変遷と現状	医学と薬学 別刷	第79巻第2号	2022年2月

泌尿器科

筆頭著者	論文題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
横溝 晃	Patient-reported outcomes following neoadjuvant endocrine therapy, external beam radiation, and adjuvant continuous/intermittent endocrine therapy for locally advanced prostate cancer: A randomized phase III trial	Cancer Medicine	10 (10): 3240-3248	2021年5月
	Real-world use of enzalutamide in men with nonmetastatic castration-resistant prostate cancer in Japan	International Journal of Clinical Oncology	27 (2): 418-426	2022年2月
	特集 日本発の臨床研究からみた前立腺癌診療 5. 前立腺全摘後再発に対する治療戦略	Prostate Journal	8 (2): 154-160	2021年10月
武井実根雄	特集 もっと身近に! Female Urology を学ぶ (総論) 女性下部尿路症状の病態	臨床泌尿器科	73 (2): 89-95	2019年2月
	特集/高齢者外来診療のトレンドと対策 高齢者に多い疾患とその外来診療 排尿障害	臨床と研究	98 (4): 445-452	2021年4月
志賀健一郎	仙骨 S1 前立腺癌骨転移による疼痛に対し2度放射線外部照射を行い、晩期遅発性の腰部神経叢炎による両下肢筋力低下を来した1例	西日本泌尿器科	84 (3): 291-295	2022年2月

脳神経外科

筆頭著者	論文題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
森岡 隆人	Limited dorsal myeloschisis の病態と外科治療	脳神経外科ジャーナル	30巻6号	2021年6月
	Surgical histopathology of a filar anomaly as an additional tethering element associated with closed spinal dysraphism of primary neurulation failure	Surgical Neurology International		2021年7月
	Embryopathological relationship between retained medullary cord and caudal spinal lipoma	Interdisciplinary Neurosurgery		2021年9月

婦人科

筆頭著者	論文題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
片岡 恵子	当院で経験した起因が異なる膀胱損傷2例についての報告	日本産科婦人科内視鏡学会	第37巻第2号	2021年12月

〈企画情報室〉

診療情報管理課

筆頭著者	論文題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
長峰麻衣子	ちようどいい	福岡県病院協会 機関誌「ほすびたる」	No.757:7-9	2021年 11月

2. 学会

〈診療部〉

消化管内科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
麻生 暁	Marfan 症候群に合併した、直腸 MALT リンパ腫の一例 A rare case of rectal MALT lymphoma associated with Marfan syndrome	2021年 5月16日	第101回日本消化器内視鏡学会総会
	LCI で捉えられた限局型の Ankylosaurus back sign 陽性の無症候性好酸球浸潤の1例	2021年 9月23日	第75回日本食道学会学術集会
	Marfan 症候群に合併した限局期直腸 MALT リンパ腫の一例	2022年 2月11日	第18回日本消化管学会総会学術集会
大角 真央	自覚症状を契機に発見された胃病変を有する潰瘍性大腸炎の2症例	2021年 11月5日	第63回日本消化器病学会大会 (JDDW2021)
田所 芽衣	抗 PD-1 抗体薬投与に伴う免疫関連有害事象として発症した irAE 膵炎の一例	2021年 12月4日	第118回日本消化器病学会 九州支部例会

循環器科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
高根澤 睦	失神、呼吸困難で救急搬送された慢性血栓性肺高血圧症の一例	2021年 12月16日	福博循環器 web セミナー
	ARNI で至適血圧への低下を得た高血圧性心臓病の1例	2022年 3月23日	博多地域連携講演会
塩入 慧亮	PTSMA が著効した閉塞性肥大型心筋症の一例	2021年 12月4日	第131回日本循環器学会九州地方会

血液内科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
上村 智彦	Venetoclax が切り拓く AML・CLL 治療 (ランチオンセミナー)	2021年 11月27日	近畿血液地方会
谷口 志保	急性骨髄性白血病 同種移植後早期再発の状態で COVID-19 感染症に罹患した1例	2022年 1月29日	日本内科学会九州支部主催 第336回九州地方会

腎臓内科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
満生 浩司	新資格「腎代替療法専門指導士」の創設に向けて	2021年 6月5日	第66回日本透析医学会学術集会・総会
	腎代替療法医療専門職推進協会の役割	2021年 6月6日	第66回日本透析医学会学術集会・総会
	腎代替療法専門指導士とは	2021年 10月31日	第27回日本腹膜透析医学会学術集会・総会
	腎性貧血のこれまでとこれから～よりよい治療を目指して～	2022年 3月6日	第39回沖縄県人工透析研究会 (教育講演)
末廣 貴一	日本発!腎領域の最新エビデンス:2020 Update「アジルサルタンによる蛋白尿減少効果」	2021年 10月16日	第51回日本腎臓学会西部学術大会
佛坂 早紀	Pembrolizumab による免疫関連有害事象 (irAE) を来した2例	2021年 11月14日	第12回福岡県透析医学会学術集会・総会

呼吸器科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
穴井 諭	肺腫瘍を伴う呼吸器疾患	2021年 7月9日	第42回福岡呼吸器カンファランス
	肺炎球菌性肺炎における脾臓体積と重症度及び予後の関連	2021年 10月22日	第87回日本呼吸器学会九州支部 秋季学術講演会
	胸部レントゲン写真を用いた深層学習による致死性肺炎予測モデルの開発	2021年 11月14日	日本内科学会第335回九州地方会

脳神経内科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
藤木富士夫	頭痛診療における漢方治療の位置づけ	2022年 1月29日	第5回九州・沖縄・山口 「痛みと漢方を学ぶ会」学術集会

外科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
当間 宏樹	術前気腹法と Rives-Stoppa 法により修復した loss of domain を伴う腹壁癒痕ヘルニアの1例	2021年 5月21日	第19回日本ヘルニア学会学術集会
	腹壁ヘルニアに対する eTEP の手術手技と低侵襲手術としての可能性	2021年 5月22日	第19回日本ヘルニア学会学術集会
	腹壁癒痕ヘルニアの治療戦略 ～至適術式選択のためのアルゴリズム～	2021年 11月19日	第83回日本臨床外科学会総会
	IPOM との比較から見た eTEP の有用性と課題について	2021年 12月3日	第34回日本内視鏡外科学会総会
	Retrospective analysis in long-term postoperative outcomes in pStage II / III gastric cancer Department of Surgery Harasanshin Hospital	2022年 3月4日	第94回日本胃癌学会総会
藤井 圭	単孔式腹腔鏡下 anterior component separation(ACS) 法の有用性	2021年 5月21日	第19回日本ヘルニア学会学術集会
	パネルディスカッション TAPP vs TEP、患者アウトカムからみた利害得失2 当院における女性の鼠径部ヘルニアに対する完全腹膜外腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TEP 法) に関する考察	2021年 12月3日	第34回日本内視鏡外科学会総会
三浦 敬史	胃巨大趨壁症を背景に発症した早期胃癌の一例	2021年 7月8日	第76回日本消化器外科学会総会

整形外科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
高崎 実	局所高濃度抗生剤投与にて治癒した多剤耐性 Carbapenem resistant Enterobacter cloacae 化膿性膝関節炎の一例	2021年 12月12日	第142回西日本整形・災害外科学会学術集会
	上腕骨遠位端 coronal shear fracture 変形治療に対する関節内矯正骨切り術の一例	2022年 2月11日	第34回日本肘関節学会
田邊 剛	非常に稀な真菌性化膿性椎間関節炎の1例	2021年 12月12日	第142回西日本整形・災害外科学会学術集会

泌尿器科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
横溝 晃	ランチョンセミナー 9 多様化する前立腺癌治療 ～化学療法の役割は?～ CARD 試験からひも解く化学療法の役割	2021年 9月4日	第86回日本泌尿器科学会東部総会
	シンポジウム18 ロボット支援前立腺摘除術における尿失禁対策 ロボット支援前立腺全摘除術におけるレチウス腔温存法と修復法: 利点と欠点	2021年 12月8日	第109回日本泌尿器科学会総会
	シンポジウム30 mCRPC と戦う: mCRPC 治療のすべて、これこそ世界基準! 転移性前立腺癌に対する放射線治療 (局所および転移巣の役割)	2021年 12月9日	第109回日本泌尿器科学会総会
	Randomized controlled trial of GnRH antagonist monotherapy versus GnRH agonist plus bicalutamide (CAB) for patients with metastatic hormone-sensitive prostate cancer (mHSPC) (KYUCOG-1401)	2022年 2月18日	2022 American Society of Clinical Oncology Genitourinary (ASCO GU) Cancers Symposium
	領域別シンポジウム7 前立腺 ロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁を改善する手技:レチウス腔温存法と修復法の比較	2022年 2月27日	第14回日本ロボット外科学会学術集会
山口 秋人	イブニングセミナー: PVP の軌跡 (奇跡)	2021年 5月15日	第10回 PVP 研究会学術集会
武井実根雄	シンポジウム1: 女性の低活動膀胱 女性における排尿筋低活動 (DU) の診断	2021年 7月17日	第23回日本女性骨盤底医学会
	シンポジウム3 Andrology・Female urology におけるそもそもとまっとう 間質性膀胱炎・慢性骨盤痛症候群におけるそもそもとまっとうを考える	2021年 11月5日	第73回西日本泌尿器科学会総会
志賀健一郎	当院でのアドバンスケアプランニングの取り組み	2022年 1月22日	日本泌尿器科学会 第93回宮崎地方会 第45回宮崎大学医学部泌尿器科学教室 開講記念会
真崎 拓朗	シンポジウム7 どこが変わる? 尿路結石症診療ガイドライン どこが変わる? 尿路結石症診療ガイドライン: 積極的治療	2021年 12月7日	第109回日本泌尿器科学会総会
	陰嚢内類表皮腫 (Epidermoid cyst) の一例	2022年 1月22日	日本泌尿器科学会 第93回宮崎地方会 第45回宮崎大学医学部泌尿器科学教室 開講記念会
木田 和貴	去勢抵抗性に進行した転移性前立腺癌の初期治療における薬剤選択の重要性	2021年 10月17日	第36回前立腺シンポジウム
阿部 立郎	尿管原発の尿路上皮癌 pseudoangiosarcomatous variant の1例	2022年 2月5日	第10回日本泌尿器病理研究会学術集会

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
池之上 俊	外傷性尿道損傷に対して尿道形成術を行った2例	2022年 2月5日	日本泌尿器科学会福岡地方会 第309回例会
鮫島 立	原三信病院泌尿器科における TUL の合併症に関する検討	2021年 11月11日	第35回日本泌尿器内視鏡学会総会
	一般演題：治療選択に難渋した巨大腎結石の1例～あなたならどうする？ TUL？ PNL？ ECIRS？経過観察～	2021年 12月2日	第15回福岡佐賀尿路結石研究会
月野 圭治	原三信病院における長径20mm以上の腎結石に対する治療成績	2021年 11月11日	第35回日本泌尿器内視鏡学会総会
宮崎 有沙	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術（RAPN）の臨床的検討	2021年 11月5日	第73回西日本泌尿器科学会総会
森原 楓	原三信病院泌尿器科における2019年度と2020年度の手術統計	2021年 7月24日	日本泌尿器科学会福岡地方会 第308回例会

脳神経外科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
森岡 隆人	How to understand the recent pathoembryology and pathophysiology of spina bifida (二分脊椎の最近の発生学や病態学をどう理解するか)	2021年 5月27日	第63回日本小児神経学会学術集会
庄野 禎久	開頭術後の頭皮再建におけるフォーリーカテーテルを用いた Intraoperative tissue expansion の有用性	2021年 7月2日	第33回日本頭蓋底外科学会
	頭部腫瘍術後の頭皮再建におけるフォーリーカテーテルを用いた Intraoperative Tissue Expansion の有用性	2021年 9月9日	第26回日本脳腫瘍の外科学会

放射線科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
田中 厚生	食道裂孔ヘルニア胸腰椎圧迫骨折との関係の検討	2022年 2月13日	第194回日本医学放射線学会九州地方会
田中 祐子	眼窩内側壁陥凹と鼻中隔彎曲との関係の検討	2021年 6月13日	第193回日本医学放射線学会九州地方会

〈看護部〉

看護部長室

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
柳迫 昌美	入院患者が使用するオムツの提供システム導入による効果	2021年 7月3日	第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会 The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference
田原 恒	抜針防止の取り組み	2021年 11月13日	第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会
	慢性腎臓病外来で行う共有意思決定支援 (Shared Decision Making) に関する看護師の現状評価	2021年 11月13日	第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会
	透析室における感染管理 ～コロナ対策で変わったこと、引き継がれること～	2021年 12月21日	七隈セミナー
黒田 豊子	Experience-based learning program in WOC nursing	2021年 7月3日	第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会 The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference

泌尿器センター

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
宮川みどり	化学療法中の尿管皮膚瘻に腫瘍が発生した1例	2021年 7月3日	第30回 日本創傷・オストミー・失禁管理学会

腎臓病センター

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
徳田 勝哉	透析室で quickSOFA を使用した報告	2021年 4月8日	第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会
	穿刺技術と教育の Stage Up ～Target・Devices・Action～	2021年 11月13日	第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会
	看護師の役割と課題	2021年 11月27日	第25回日本透析アクセス医学会学術集会・総会
	看護師のための透析針穿刺教育プログラム	2022年 3月12日	第1回日本臨床腎臓病看護研究会学術集会・総会
岩本 詩織	ユマニチュードを意識した関わり～透析導入時より認知症のある患者の看護について～	2021年 11月13日	第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会
中出 遙	二次性副甲状腺機能亢進症を合併している透析患者の服薬アドヒアランス向上に対する看護	2021年 11月13日	第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会
上田麻友香	認知機能障害のある患者との外来透析での関わり	2021年 11月13日	第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会

〈技術部〉

臨床検査科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
松井勇二郎	Daratumumab 投与患者33例の後方視的解析	2021年 6月4日	第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会

放射線科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
東 直樹	乳がんの治療(固定具作成～照射まで)	2022年 3月26日	第3回九州・山口トモセラピーユーザーズフォーラム
生田 康明	DWIBS が治療計画に有用であった症例	2021年 9月2日	第4回 DWIBS 放射線治療分科会

臨床工学科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
齊藤 幹	当院のハイパーサーミア業務における役割と課題	2021年 5月23日	第31回日本臨床工学会

〈企画情報室〉

診療情報管理課

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
長峰麻衣子	診療情報管理のユーザー視点から電子カルテに求めるもの	2021年 11月18日	福岡県病院協会 第62回診療情報管理研究研修会

3. 講演・司会・座長

〈診療部〉 血液内科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
	Kd-based therapy OVER VIEW	2021年 4月24日	Multiple Myeloma Expert Meeting
	Venetoclax かもたらす AML 治療の革新	2021年 5月14日	AbbVie 合同会社 社内勉強会
	Daratumumab-based regimen を NDMM 治療で用いる意味 ～ダラキューロ導入へのチームアプローチ～	2021年 5月19日	五月山カンファレンス
	アドバイザー	2021年 5月21日	ダラツムマップ2021年下期 戦略アドバイザーボード
	医師から見る DARZQURO の運用方法	2021年 5月25日	Janssen Myeloma Forum 2021 in FUKUOKA
	アドバイザー	2021年 5月26日	ニンラーロ服用サポートに関する コンサルティング
	Daratumumab-based regimen かもたらす MM 治療の可能性	2021年 6月11日	第10回血液を考える会
	ディスカッション司会	2021年 6月19日	Multiple Myeloma Expert Seminar in WEST JAPAN
	座長	2021年 6月23日	中外 Hematology Webinar in Kyushu
	ダラキューロを活かす MM 治療マネジメント	2021年 6月25日	第14回徳島骨髄腫治療懇話会
	高齢者 MM 治療における Daratumumab-based regimen の意義	2021年 7月10日	第15回宮崎骨髄腫研究会
	当院におけるダラキューロ運用と MM 治療マネジメント	2021年 7月28日	Cutting Edge of Hematology
	多発性骨髄腫治療におけるダラキューロ投与の意義	2021年 7月30日	DARZQURO Approval Seminar
	多発性骨髄腫治療におけるダラキューロ投与の意義	2021年 8月5日	医師・看護師・薬剤師と考える ダラキューロ治療
	Opening remarks	2021年 8月10日	FBMTG 移植道場 基礎編
上村 智彦	ベネクレクスタを活かした CLL・AML 治療	2021年 8月25日	AbbVie オンコロジー Web セミナー 実践！ベネクレクスタ
	ベネクレクスタを活かす CLL 治療	2021年 9月3日	ベネクレクスタ講演会
	DLBCL 治療における Polatumumab-vedotin の意義	2021年 9月7日	中外 e セミナー on DLBCL
	Venetoclax を活かす AML 治療マネジメント	2021年 10月8日	北摂エリア Web セミナー BCL-2阻害剤の新たな展開
	アドバイザー	2021年 10月15日	ダラツムマップ2022年上期 戦略アドバイザーボード
	骨髄腫の初期治療における Daratumumab の意義	2021年 10月21日	DARZQURO WEB セミナー
	Opening remarks	2021年 10月29日	MCL Conference in KYUSHU
	座長（特別講演）	2021年 11月17日	Multiple Myeloma Interactive WEB Meeting
	移植患者における SOS/VOD マネジメント	2021年 12月1日	第2回九州 HSCT フォーラム
	臨床データと症例から考える IsaPd の意義	2021年 12月3日	Multiple Myeloma WEB Seminar
	Daratumumab の benefit を活かす骨髄腫治療	2021年 12月16日	Hematology Frontier Forum
	Blinatumomab が変える ALL 治療	2021年 12月23日	ビーリンサイト WEB シンポジウム
	Real world practice と clinical data から考える Daratumumab の必要性	2022年 1月21日	DARZQURO WEB Seminar (DR 療法を改めて考えてみる)
	Venetoclax かもたらす AML・CLL 治療のパラダイムシフト	2022年 1月26日	AbbVie Oncology Web セミナー in Kyushu ～症例に学ぶベネクレクスタ～
	再発難治性多発性骨髄腫に対するカルフィルゾミブ治療	2022年 1月28日	EHIME RRMM Strategy Meeting
	座長 (Discussion Part)	2022年 2月2日	RRMM Round Table Discussion in WEST JAPAN

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
上村 智彦	Venetoclax がもたらす AML・CLL 治療の変革	2022年 2月9日	Oncology Web in 三河 ～ベネクレクスタ®の役割と治療管理～
	Kd-based regimen を活かす多発性骨髄腫治療	2022年 2月10日	KYPROLIS EXPERT WEB SEMINAR
	多発性骨髄腫における多職種連携とコミュニケーション	2022年 2月16日	多発性骨髄腫患者さんの治療サポートと コミュニケーション
	Venetoclax を活かす 新しい AML・CLL 治療戦略	2022年 2月25日	KOTO Hematology Web Seminar
	Venetoclax による AML 治療のパラダイムシフト	2022年 3月9日	急性骨髄性白血病 Web セミナー
	目標達成型の血液内科チーム医療 ～ SOS/VOD マネジメントも含めて～	2022年 3月17日	血液診療におけるチーム医療を考える会
	ハイリスク多発性骨髄腫 に対する治療戦略	2022年 3月18日	カイプロリス WEB ライブセミナー
青木 孝友	造血細胞移植後ワクチン	2022年 3月12日	移植拠点病院事業
百合野彩乃	マンツル細胞リンパ腫 症例検討	2021年 10月29日	MCL Conference in KYUSHU
谷口 志保	EBV-LPD (AML に対する2回目M移植後に非常に aggressive な経過) の症例	2022年 1月14日	第136回福岡血液懇話会

腎臓内科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
満生 浩司	高カリウム血症とその治療	2021年 5月20日	筑紫医師会学術講演会
	腎性貧血治療の新たな選択肢	2021年 5月19日	心腎連関医療セミナー
	腎性貧血治療～新たな選択肢への期待～	2021年 7月5日	博多区内科医会学術講演会
	CKD の貧血を治療する～ ESA と HIF-PH 阻害薬～	2021年 7月15日	第11回博多CKD研究会
	CKD 対策、腎性貧血治療の新展開～新規薬剤へ寄せる期待～	2021年 7月29日	地域連携で慢性腎臓病を考える会
	変わりゆく腎性貧血治療～ HIF-PH 阻害薬の登場と鉄の重要性～	2021年 8月26日	鳥居薬品 Web セミナー
	CKD 合併症としての貧血の管理について	2021年 9月2日	CKD Web セミナー in 九州
	変わりゆく慢性腎臓病治療～高齢化への適応～	2021年 10月23日	第27回原三信病院医学総会
	HIF-PH 阻害薬への期待～これからの腎臓トータルケアの話題も含めて～	2021年 11月2日	マスレッド WEB カンファレンス in 九州
	変わりゆく CKD 対策～新規治療選択肢を考える～	2021年 11月9日	東区内科医会学術講演会
	変わりゆく CKD 対策～新規治療選択肢を考える～	2021年 11月15日	遠賀中間内科医会 STOP CKD in 遠賀中間
	これからの CKD 治療戦略～高齢化におけるレジリエンス～	2021年 11月20日	第13回鳴鶴・淀川透析 Meeting
	これからの腎性貧血治療を考える～進む高齢化に向けて～	2021年 12月9日	鳥居薬品 Web セミナー
	これからの CKD 診療～変わりゆくものと変わらないもの～	2021年 12月14日	博多区内科医会学術講演会
	腎性貧血治療 Up To Date ～ HIF-PH 阻害薬に対する期待～	2021年 12月16日	腎性貧血治療を考える会
	これからの CKD 戦略～新規治療選択肢と診療連携～	2021年 12月17日	腎性貧血診療連携セミナー
	日常検査からひも解く腎性貧血	2022年 1月27日	Management of Renal anemia
	これからの CKD 治療～ SGLT2 阻害薬へ寄せる期待～	2022年 2月3日	CKD Web Conference
	COVID-19 流行下における透析療法の現状	2022年 2月8日	福岡西部腎不全看護ネットワーク
	高齢化時代を迎えた CKD 診療と CKD 連携パスの改定について	2022年 2月18日	第9回慢性腎臓病 (CKD) 医療従事者向け研修会
	慢性腎臓病：治療の変遷と up to date	2022年 2月19日	福岡県内科医会福岡ブロック会講演会
	これからの CKD 診療～変わりゆくものと変わらないもの～	2022年 3月3日	CKD 診療 Online Seminar ～新たな治療選択を考える～

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
満生 浩司	福岡地区におけるCKD啓発、連携の取り組みについて	2022年 3月8日	フォーシーガ Online Symposium 2022
	腎性貧血の病態と治療の変遷	2022年 3月15日	エナロイ錠発売1周年 リオナ錠適応追加1周年記念講演会

泌尿器科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
内藤 誠二	座長：Special Lecture	2021年 10月30日	第37回日韓泌尿器科会議
	海外招請講演座長： Bench to Marunouchi for advanced renal cancer therapy	2021年 12月8日	第109回日本泌尿器科学会総会
	教育講演2座長：進行尿路上皮癌の最新の治療戦略	2022年 3月5日	福岡県泌尿器科医会令和4年度教育講演
横溝 晃	mOCRPC Nubeqa M0 CRPCにおけるニューベクオ錠の有用性	2021年 4月15日	Bayer Urology Seminar 2021
	講演：前立腺癌の個別化治療：一般病院からのアプローチ	2021年 4月19日	AstraZeneca TV Seminar
	講演：日本におけるmHNPとCRPCに対する治療：現在そして未来を考察する	2021年 5月26日	イクスタンジWEBシンポジウム
	Session② 前立腺癌 CSPC 関連の話題提供 Discussion テーマ：診療連携について	2021年 6月25日	泌尿器疾患カンファレンス
	講演：腎癌・尿路上皮癌 ファーストライン治療の新展開	2021年 7月7日	薬物療法研究会 ～福岡市薬剤師会講演会～
	座長：シンポジウム4 泌尿器科領域におけるAI技術の応用	2021年 7月16日	第30回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会
	座長	2021年 7月20日	Nocturia Expert Web Seminar
	講演：尿路上皮癌に関する最近のトピックス：手術手技と化学療法について	2021年 7月28日	第3回泌尿器科医臨床セミナー2021
	司会：大学・連携病院における泌尿器科の取組み	2021年 7月31日	Fukuoka Urologist Symposium
	福岡市前立腺がん検診の現況報告	2021年 9月7日	第16回福岡市前立腺がん検診講習会
	座長：第2部九州地区WEBセミナー	2021年 9月8日	ザイティガ®錠 7周年記念WEBセミナー in Kyusyu
	特別講演：日進月歩のmHNPとCRPC治療：リスクに応じた最善の選択は？	2021年 10月15日	Prostate Cancer Symposium in Fukuoka
	座長：口演セッション1 診断・臨床的検討①	2021年 10月17日	第36回前立腺シンポジウム
	座長：一般演題7 前立腺癌/CRPC	2021年 11月5日	第73回西日本泌尿器科学会総会
	座長	2021年 11月17日	第58回福岡佐賀泌尿器科手術手技研究会
	特別講演2：日進月歩のmHNPとCRPC治療：リスクに応じた最善の選択は？	2021年 11月25日	Enzalutamide Premium Symposium in Gifu
	特別講演：前立腺癌の遺伝子変異と臨床像、そして治療への応用	2021年 12月2日	第3回CRPC Conference in south of Fukuoka
	座長：ランチョンセミナー47 進行性前立腺癌におけるBone Health Management	2021年 12月9日	第109回日本泌尿器科学会総会
	Session1 mHSPCの最適治療：最新データの提供と解説	2021年 12月15日	前立腺がん学術セミナー2021
	特別講演：日進月歩のmHNPとCRPC治療：リスクに応じた最善の選択は？	2021年 12月16日	山口市泌尿器科医会 Web 講演会
	総合座長	2021年 12月20日	第5回福岡泌尿器科連携フォーラム
	Session① 講演：前立腺がん治療における地域連携とARATの適正使用、副作用対策	2021年 12月20日	第5回福岡泌尿器科連携フォーラム
	講演2：日進月歩のmHNPとCRPC治療：リスクに応じた最善の選択は？	2022年 2月9日	Prostate Cancer Forum in Tokyo
	座長：一般口演21	2022年 2月27日	第14回日本ロボット外科学会学術集会
	座長	2022年 3月2日	イクスタンジWEBシンポジウム
	講演2：前立腺全摘後のPSA再発に対する救済内分泌治療と救済放射線治療の無作為比較試験：JCOG0401	2022年 3月24日	第13回Urology Awards Lectures in Sapporo
講演：第2部 解剖学的ランドマークに基づくRALPのコツとPSA再発への対応	2022年 3月28日	前立腺がん Web セミナー in Fukuoka	

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
山口 秋人	座長：教育講演	2021年 6月14日	第39回福岡泌尿器診療セミナー
	座長：教育講演I	2021年 9月7日	第16回福岡前立腺がん検診セミナー
	座長：特別講演1	2021年 10月21日	第9回福岡臨床泌尿器科・内科合同懇話会
	司会	2021年 10月30日	市民公開講座 「便秘・夜間頻尿でお悩みの方へ」
	座長：基調講演	2021年 11月14日	日本臨床泌尿器科医会 第17回臨床検討会
	座長：テーマ3 教育講演	2021年 11月29日	第40回福岡泌尿器診療セミナー
	座長：一般演題	2021年 12月2日	第15回福岡佐賀尿路結石研究会
武井実根雄	総合司会	2021年 4月9日	Nocturia Expert Meeting in Kyushu
	座長	2021年 4月21日	OAB セミナー in 九州
	座長：優秀演題賞ノミネート講演	2021年 5月29日	第37回泌尿器科漢方研究会学術集会
	特別講演II：デスマプレシン内服薬を用いた夜間頻尿の新しい治療戦略	2021年 6月12日	第30回奈良排尿障害研究会
	特別講演：夜間頻尿の診断と治療 ～ガイドライン [第2版] の解説とデスマプレシンによる新しい治療戦略～	2021年 6月18日	夜間頻尿 Seminar
	総合司会	2021年 6月19日	排尿ケアチームNs.のためのWEBセミナー
	Keynote Lecture: 病院における排尿ケアチームの役割: 多職種で関わる排尿管理のポイント	2021年 6月19日	排尿ケアチームNs.のためのWEBセミナー
	座長	2021年 6月28日	夜間頻尿コラボミーティング —睡眠×夜間頻尿—
	過活動膀胱治療の現在・過去・未来	2021年 7月15日	第232回宮崎県泌尿器科医会
	座長：アフタヌーンセミナー	2021年 7月18日	第23回日本女性骨盤底医学会
	講演：泌尿器科診療に役立つ漢方薬について	2021年 7月30日	漢方領域別セミナー
	座長：教育セミナー5	2021年 9月10日	第28回日本排尿機能学会
	座長：口演14 間質性膀胱炎	2021年 9月10日	第28回日本排尿機能学会
	座長	2021年 9月15日	過活動膀胱 WEB シンポジウム
	開会挨拶：間質性膀胱炎・膀胱痛症候群診療ガイドラインの要点	2021年 9月29日	第1回九州 IC カンファレンス
	司会：実践セッション ハンナ病変診断の実際	2021年 9月29日	第1回九州 IC カンファレンス
	講演：高齢 OAB 患者に対する最適な OAB 治療薬とは	2021年 10月6日	過活動膀胱 (OAB) WEB シンポジウム
	講演：夜中のおしっこ対策 ～夜のトイレで困っていませんか?～	2021年 10月30日	市民公開講座 「便秘・夜間頻尿でお悩みの方へ」
	講演1: 泌尿器科医も視野を広げて取り組もう!	2021年 11月12日	第2回唐津市下部尿路症状講演会 ～高齢者の夜間頻尿について～
	部員発表：女性の慢性骨盤痛に対して漢方処方方が有用であった4症例	2021年 11月17日	第124回Web漢方浪漫倶楽部
	診てほしい夜間頻尿、治療のポイント	2021年 11月19日	Expert が語る！夜間頻尿治療
	座長	2021年 11月20日	コロプラスト オンラインセミナー 超高齢および認知機能が低下した患者に対する戦略的排尿ケア
	座長：教育講演11	2021年 12月8日	第109回日本泌尿器科学会総会
	レクチャー：間質性膀胱炎の鑑別診断と治療について	2022年 1月19日	第2回九州 IC カンファレンス
	司会：ワークショップ	2022年 1月23日	第21回日本間質性膀胱炎研究会
	座長	2022年 2月26日	第67回高齢者排泄ケア講習会
	特別講演：間質性膀胱炎の鑑別診断と治療について	2022年 3月1日	間質性膀胱炎セミナー in AOMORI

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
武井実根雄	性機能障害とその対策	2022年 3月10日	第31回九州ストーマリハビリテーション 講習会
	臨床 Session2: β 3アドレナリン受容体作動薬と抗コリン薬をいかに使うか?私はこうしている	2022年 3月12日	第19回 Female LUTS and Pelvic Floor Meeting
	司会	2022年 3月16日	第3回九州 IC カンファレンス
	座長: 特別講演	2022年 3月18日	第29回福岡排尿障害研究会
宮崎 薫	講演: 下部尿路症状の病態と治療 ~生活指導から薬物療法まで~	2021年 5月17日	Primary Health Care 研究会
志賀健一郎	症例提示: 40歳代で前立腺癌骨転移および骨盤内リンパ節転移と診断された1例	2021年 10月28日	第1回 Prostate Cancer Management Discussion in Fukuoka
真崎 拓朗	座長: 一般演題 (PNL・ECIRS)	2021年 8月28日	日本尿路結石症学会 第31回学術集会
相島真奈美	講演2 女性の尿トラブル ~診断・鑑別・治療について~	2021年 9月15日	過活動膀胱 WEB シンポジウム
阿部 立郎	エリアセミナー (福岡地区) ニボルマブ・イピリムマブ併用療法の使用経験	2021年 8月19日	RCC Hybrid Web Conference

〈看護部〉

看護部長室

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
柳迫 昌美	ランチョンセミナー 1 脆弱な皮膚を護るスキンケア-洗浄・保湿、テープの使い分けと使い方-	2021年 4月24日	第18回日本褥瘡学会 九州・沖縄地方会学術集会
	教育講演4 日本の「いのちのケア」を求めて-慈恵医大病院における仏教的ケアの歴史を中心に-	2021年 7月4日	第30回創傷・オストミー・失禁管理学会 学術集会
田原 恒	司会	2021年 7月15日	第11回博多CKD研究会
	座長: 腎臓病領域における COVID-19 最新情報 「Battle with Covid」	2021年 11月1日	第24回日本腎不全看護学会学術集会 緊急企画
	特別講演座長: 令和4年度診療報酬改定を踏まえた腎透析医療の未来	2022年 1月20日	第12回博多CKD研究会

東館8階病棟

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
横田 宜子	看護師から見る DARZQURO の運用方法	2021年 5月25日	Multiple Myeloma Expert Seminar in WEST JAPAN
	新規薬剤ラッシュに対する医療チームの臨み方 ~ポライビー導入も交えて~	2021年 6月23日	中外 Hematology Webinar in Kyushu
	新規薬剤導入のためのチーム医療 ~ポライビーを含めて~	2021年 7月1日	Chugai Lymphoma Symposium in Himeji
	新規薬剤導入におけるチーム医療の取り組み	2021年 7月13日	第11回茨城県血液がん教育セミナー
	ダラキューロ投与の実際	2021年 7月30日	DARZQURO Approval Seminar
	ダラキューロ投与の実際	2021年 8月5日	医師・看護師・薬剤師と考える ダラキューロ治療
	クリニカルパスを利用したベネクレクスタのマネジメント	2021年 8月25日	AbbVie オンコロジー Web セミナー 実践!ベネクレクスタ
	ポライビー導入に向けた看護師の取り組み	2021年 9月7日	中外 e セミナー on DLBCL
	多発性骨髄腫の副作用マネジメント	2021年 9月10日	Multiple Myeloma Management Forum
	チーム医療によるベネトクラス投与マネジメント	2021年 10月7日	東四国医療セミナー
	看護師が実践するダラキューロのマネジメント	2021年 10月21日	DARZQURO WEB セミナー
	医療チームで取り組む移植患者支援	2021年 12月1日	第2回九州 HSCT フォーラム
	多発性骨髄腫患者をケアする看護師の役割	2021年 12月10日	呉血液看護セミナー
	Blinatumomab を含めた新規治療薬のマネジメント	2021年 12月23日	ビーリンサイト WEB シンポジウム

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
横田 宜子	造血細胞移植患者へのワクチン接種 ～看護師の関わり～	2022年 3月12日	移植拠点病院事業
	看護師が中核を担う移植のチーム医療	2022年 3月17日	血液診療におけるチーム医療を考える会
	多職種と連携して実践する移植看護	2022年 3月30日	Blinatumomab Web Conference

〈診療技術部〉

薬剤科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
四ヶ所里穂	ベネクレクスタ治療における薬剤師の関わり	2021年 8月25日	AbbVie オンコロジー Web セミナー 実践！ベネクレクスタ

放射線科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
東 直樹	座長：機種選定の決め手となったもの	2022年 3月30日	第3回 九州・山口 トモセラピーユーザーズ フォーラム

臨床検査科

筆頭発表者	演題名	発表年月	学会名称
松井勇二郎	医療チームで臨床検査技師が目指す姿	2022年 3月17日	血液診療におけるチーム医療を考える会

5

一年の流れ

<2021年>

4月 1日(木)	2021年度 入社式 土曜外来休止 新版カルテ NEWTONS2 運用開始 電話交換室対応時間変更
4月 2日(金)・5日(月)	2021年度 新入職員研修
4月 7日(水)	福岡県知事選挙 不在者投票
4月23日(金)	2021年度 事業計画説明会
5月 1日(土)	クールビズ実施〔2021年10月31日(日)まで〕 本館・東館 外来受付業務一本化
5月12日(水)～6月20日(日)	福岡県緊急事態宣言発表(3回目)
5月24日(月)	新型コロナウイルスワクチン 65歳以上高齢者向け接種開始
6月 1日(火)	2021年度 接遇研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
6月 5日(土)	第1回 2022年度看護師定期採用試験
6月11日(金)	永年勤続者表彰式
6月12日(土)	原三信病院 創立142周年
6月19日(土)	新型コロナウイルスワクチン 土日祝接種開始
6月19日(土)～30日(水)	岐志保養所改修工事
6月26日(土)	新型コロナウイルスワクチン 職員家族接種開始
7月 1日(木)	2021年度 第1回感染防止対策研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
7月 9日(金)	上半期賞与
7月17日(土)	第2回 2022年度看護師定期採用試験
8月 1日(日)	2021年度 第1回医療安全研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
8月 2日(月)	職員食堂キッチン利用再開
8月20日(金)～9月30日(木)	福岡県緊急事態宣言発表(4回目)
9月 1日(水)	2021年度 倫理研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
9月 2日(木)	新型コロナウイルスワクチン 職域接種開始
9月 4日(土)	第3回 2022年度看護師定期採用試験
10月 1日(金)	2021年度 医療放射線安全講習のお知らせ(2ヶ月間内にeラーニング受講)
10月13日(水)	カーブミラー設置(本館～東館間の公道)
10月21日(木)～23日(土)	第27回 原三信病院医学総会 「 Resilience ～パンデミックを乗り越える適応力～」
10月27日(水)	第49回衆議院議員総選挙 不在者投票
11月 1日(月)	ウォームビズ実施〔2022年3月31日(木)まで〕 2021年度 第2回感染防止対策研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
11月 8日(月)	2022年 職員定期健康診断実施〔2022年3月24日(木)まで〕 慰霊祭
11月15日(月)	第20回 地域医療連携情報交換会(Web開催)
11月29日(月)	2021年度 原三信病院避難訓練(出火想定場所:東館4階病棟)
12月 1日(水)	2021年度 第2回医療安全研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
12月10日(金)	下半期賞与
12月14日(火)	消防署立入検査(博多消防署) 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金支給
12月24日(金)	カレンダー配布
12月29日(水)	仕事納め

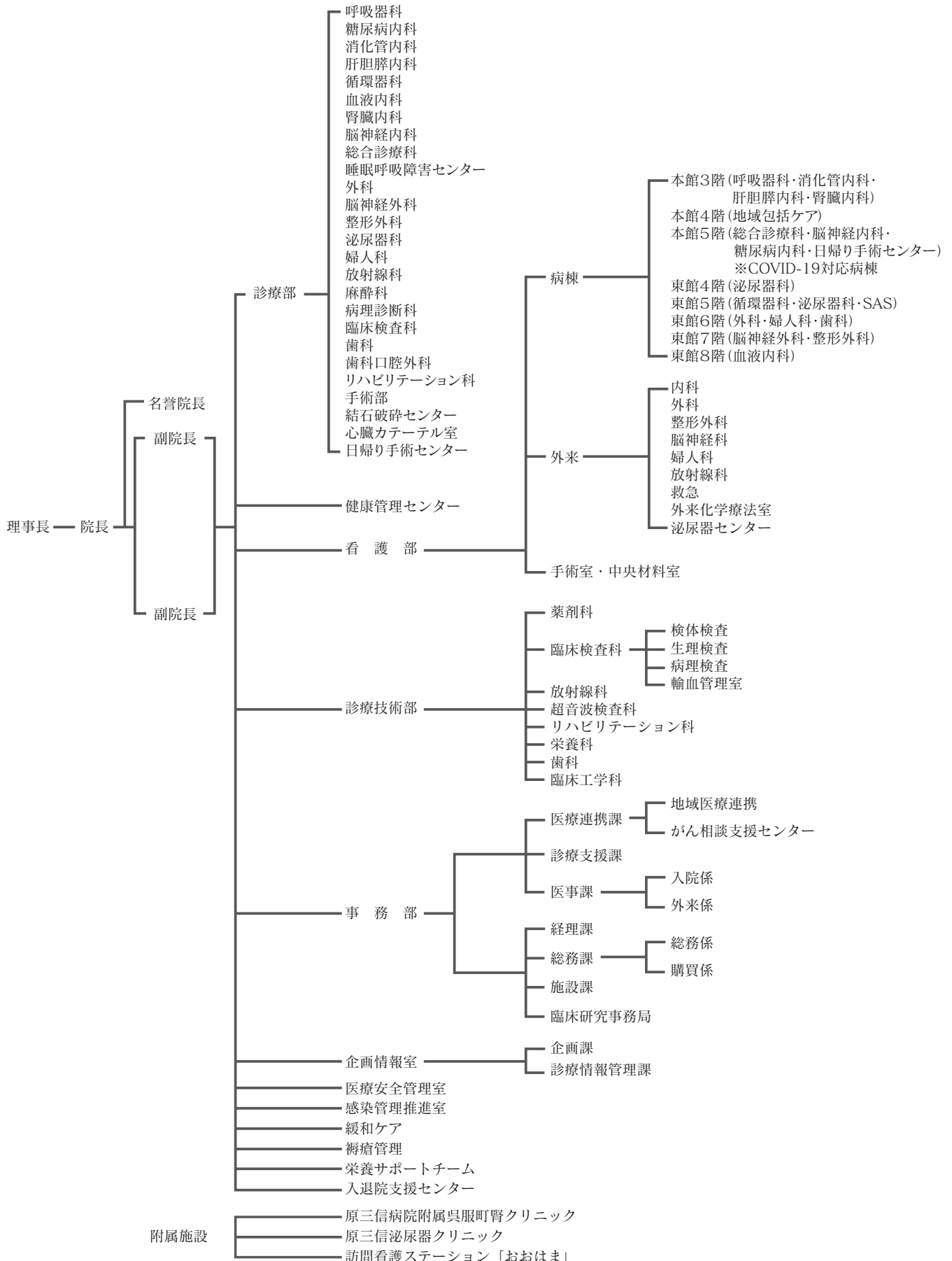
<2022年>

1月 1日(土)	2021年度 褥瘡対策研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
1月 4日(火)	仕事始め
1月 6日(木)	神農祭
2月 1日(火)	2021年度 MRI安全教育研修開始(2ヶ月間内にeラーニング受講)
2月 1日(火)~18日(金)	ストレスチェック実施
2月17日(木)	救急外来勤務者名札変更

※2021年度は、2020年度同様コロナ禍にて多くの病院行事が中止となった。

1. 組織図

(2022年3月31日現在)



● 2. 職員配置

(2022年3月31日現在)

診療部	96
看護部	431
診療技術部	116
事務部	140

合計	783
----	-----

診療部内訳

医師	93
歯科医師	3

合計	96
----	----

看護部内訳

看護師	375
准看護師	1
看護補助者	54
理学療法士	1

合計	431
----	-----

診療技術部内訳

薬剤師	17
管理栄養士	6
診療放射線技師	19
臨床検査技師	35
理学療法士	13
作業療法士	3
言語聴覚士	2
臨床工学技士	11
歯科衛生士	5
その他	5

合計	116
----	-----

(※委託職員、派遣職員を含む)

3. 管理職名簿

(2022年3月31日現在)

理事長	平 祐二	
名誉院長	内藤 誠二	
院長	原 直彦	健康管理センター長、医療安全管理室室長
副院長(院長補佐)	江口 徹	日帰り手術センター長・原三信がんセンター長
副院長	林 真	内科主任部長・入退院支援センター長

診療部

主任部長	市來 俊弘	循環器科・睡眠呼吸障害センター兼任
	上村 智彦	血液内科
	当間 宏樹	外科
	横溝 晃	泌尿器科
部長	高木 陽一	呼吸器科
	満生 浩司	腎臓内科
	古藤 和浩	肝胆膵内科・放射線治療兼任
	野口 賢一	肝胆膵内科・緩和ケア担当医(専任)
	原口 和大	消化管内科
	麻生 暁	消化管内科
	山本 光孝	循環器科・心臓カテーテル室室長兼任
	谷合 啓明	総合診療科・感染管理推進室室長兼任
	廣田 伊千夫	胸部外科
	橋爪 健太郎	肝胆膵外科
	藤井 圭	消化器外科
	小川 尚洋	乳腺内分泌外科
	高崎 実	整形外科
	武井 実根雄	泌尿器科
	宮崎 薫	泌尿器科・救急外来副部長兼任
	一倉 晴彦	泌尿器科
	藤木 富士夫	脳神経内科
	庄野 禎久	脳神経外科・リハビリテーション科担当兼務
	片岡 恵子	婦人科
	田中 厚生	放射線科
	下澤 浩基	麻酔科
	香取 清	手術部
	河野 真司	病理診断科
	小野田 慈美	歯科
副部長	末廣 貴一	腎臓内科
	上徳 豊和	循環器科
	志賀 健一郎	泌尿器科
	眞崎 拓朗	泌尿器科
	茗荷 舞	婦人科
	菅 理恵	健康管理センター副センター長
顧問	稲永 隆	腎臓内科
	山口 秋人	泌尿器科
	森岡 隆人	脳神経外科
	寺嶋 廣美	放射線科
	白石 直孝	放射線科
	古川 達也	放射線科
	渡邊 隆郁	麻酔科
	津田 知輝	健康管理センター
呉服町腎クリニック院長	石田 伊都子	腎臓内科
泌尿器クリニック院長	中牟田 誠一	泌尿器科

看護部

部長	柳迫 昌美	原三信がんセンター副センター長
副部長	宮崎 さとみ	入退院支援センター副センター長・日帰り手術センター顧問
	村岡 弘恵	東館 4 階病棟科長兼務
	谷村 明美	業務担当
科長	大無田 一平	本館 3 階病棟
	山田 恵理子	本館 4 階病棟
	寺脇 深香	本館 5 階病棟 (日帰り手術センター)
	松永 享子	東館 5 階病棟
	野田 佳代子	東館 6 階病棟
	永井 智子	東館 7 階病棟
	川崎 美智子	東館 8 階病棟
	下釜 里美	本館外来 (内科・整形外科・脳神経内科・脳神経外科)
	金子 浩子	東館外来 (泌尿器センター・外科・婦人科・放射線科・化学療法室)・ 病床管理担当兼任
	矢嶋 光江	東館外来 (泌尿器センター・外科・婦人科・放射線科・化学療法室)
	藤川 暢子	手術室・中央材料室・看護教育担当兼務
	津村 礼	呉服町腎クリニック
	栗秋 佐智恵	緩和ケア専従
所長	那須 百合美	訪問看護ステーションおおはま

診療技術部

部長	中小川 隆	放射線科科長兼任
科長	河野 祐子	薬剤科
	山田 一博	臨床検査科
	廣門 将一	超音波検査科
	石橋 誠史	リハビリテーション科
	石崎 律子	栄養科
	嶽本 洋	臨床工学科
科長代理	栗崎 淳子	薬剤科

事務部

部長	弥永 伸治	
顧問	泉 敏郎	
	白石 義則	
	梅津 誠	
課長	加藤 宗一郎	医療連携課・診療支援課課長兼任
	北御門 智之	医事課
	平山 憲史	経理課
	西 弘樹	総務課
	橋本 俊介	施設課
科長	和佐野 智美	健康管理センター
課長代理	原 成孝	診療支援課
統括主任	隅田 幸恵	医事課

企画情報室

室長	藤原 勝	
課長	田代 信司	企画課
	平原 俊吾	診療情報管理課

医療安全管理室

科長	田原 恒	医療安全管理専従
----	------	----------

● 2021年度医学総会を終えて

テーマ：「 Resilience ～パンデミックを乗り越える適応力～」

第27回原三信病院医学総会は2021年10月21日～23日に開催されました。2020年の第26回医学総会はZoomを使用したオンラインでの講演でしたが、今回は感染症対策を行いながら例年と同じ形式で開催いたしました。コロナ禍を乗り越え、以前の日常を取り戻したいとの思いから、「回復力」とか「復元力」という意味をもつ‘Resilience’を今回の医学総会のテーマとしました。21日と22日は病院内会議室にて一般演題を4題ずつ発表いただきました。23日はアクロス福岡国際会議場にて一般演題5題、教育要望講演、特別講演を発表いただきました。

一般演題では、当院での新型コロナウイルス感染症の検査体制構築や院内で投与される薬剤の確認業務の見直しなどに関して合計13演題の発表がありました。業務の改善につながる内容も多く大変有益な発表でした。忙しい日常業務の傍ら、データの収集や解析、発表の準備などを行っていただいたことに感謝申し上げます。教育要望講演では腎臓内科部長の満生浩司先生に「変わりゆく慢性腎臓病治療」と題してご講演いただきました。慢性腎臓病の病態の新たな概念や新薬の効果に関する知見などをご紹介いただき大変勉強になりました。特別講演では、福岡県の新型コロナウイルス感染症調整本部副本部長も務めておられる九州医療センター救命救急センター長の野田英一郎先生に「福岡県はCOVID19にどう対応してきたか」と題して、新型コロナウイルス感染症対策の最前線についてご講演いただきました。新型コロナウイルス感染症は、ワクチンや治療薬の開発などによりその脅威が次第に弱まっている印象ですが、新型コロナウイルスの病原性に関する情報や治療法がなかった感染爆発の初期における管理体制の構築から現在の体制となった経緯を知ることができました。COVID-19患者を受け入れる病院や入院を管理する保健所も大変ですが、行政にも大きな負荷がかかっていることを痛感いたしました。

今回の医学総会にて一般演題を発表いただいた発表者と研究・調査にご協力いただいた方々、そして野田先生、満生先生に深謝申し上げます。また医学総会の準備と運営に尽力いただきました企画情報室や医学総会準備委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

最後に、2022年の第28回医学総会により多くの方が参加され、盛会となりますことを祈念しております。

2021年度（第27回） 医学総会準備委員会
委員長 市來 俊弘

第27回 医学総会準備委員会		
委員長	市來 俊弘	(診療部)
副委員長	片岡 恵子	(診療部)
委員	永井 智子	山田恵理子 (看護部)
	松島 毅	吉武 靖展 (診療技術部)
	原 成孝	宇野 尚和 (事務部)
事務局	福吉 祥	初田 憲昭 (香椎原病院)
	藤原 勝	田代 信司
	齊藤 栄介	上野 綾華
	諸石 奈々	

第27回 原三信病院医学総会プログラム

第1日目 10月21日(木)

会場:第1会議室

一般演題 第1部

17:30~18:10

座長 : 松永 享子・盛 俊光

1. 当院のコロナ検査体制

臨床検査科 ●橋本麻里奈 吉田幸代 松井勇二郎 山田一博 和佐野智美

2. 鼠径ヘルニアの臨床と超音波検査の比較検討

超音波検査科

●宇都宮里美 丸田夏希 上田祥子 竹谷剛 田中恵美 毛利萌 徳永奈々 八坂愛 廣門将一
外科 当間宏樹

3. 地域包括ケア病床における退院支援シート導入による意識・行動の変化

香椎原病院 3階1病棟 ●森花央里 岡崎翔子 中村圭那

4. 体重管理困難な外来透析患者への介入

腎臓病センター ●井手舞紀 山中理佐 磯田まりな 木下奈々 高橋利和

第2日目 10月22日(金)

会場:第1会議室

一般演題 第2部

17:30~18:10

座長 : 泉 敏郎・大無田 一平

1. 大腿骨骨折患者の早期離床への関わりへ向けて

～当病棟の現状と課題～

東館7階病棟 ●為田実瑠 長尾優里奈 大西那苗 田島浩祐

2. 緩和ケアチームの活動報告と緩和ケア認定看護師活動の評価

認定看護師会 緩和ケア認定看護師 ●横田亜水

3. 未収金対策について

医事課外来 未収金対策チーム ●村上浩代 岡本真由香 飯盛修一 白石義則 加藤宗一郎

4. 医事課日常業務における未収金対策

香椎原病院 医事課 ●志水浩美 中村見佳 大里彩乃 山本寿 久富美穂

一般演題 第3部

12:50~13:30

座長：藤井 圭・石橋 誠史

1. 香椎原病院・地域包括ケア病床における集団活動の効果検証と今後の展望
香椎原病院 リハビリテーション科
●松尾卓也 池田ちあき 松村真衣 無津呂智美 福田健太郎
2. 随時尿から早朝尿への変更による尿蛋白陽性率の減少および業務改善の報告
健康管理センター ●野田一美 村上業美子 永松幸 松本絵莉子 福元はづき 秦里美
3. 薬剤に関連するインシデント・アクシデントの発生要因と問題点
～シングルチェックの導入～
東館6階病棟 ●川上奈菜 坂口奈緒海 坂本陽実花 林田朋美 樋口由紀 野田佳代子
外科 当間宏樹
4. 新型コロナウイルスパンデミックが同種造血幹細胞移植看護に与えた影響
～家族との関わりに焦点をあてて～
東館8階病棟 ●浦田咲希 横田宜子 藤園香穂 川崎美智子
血液内科 上村智彦
5. 表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍 (SNADET) に対する
当院での十二指腸 ESD の現状と治療成績の検討
消化管内科 ●原口和大 大角真央 田所芽衣 丸岡諒平 三島朋徳
大塚宣寛 徳永紀子 麻生暁 松坂浩史 兼城美由紀
病理診断科 河野眞司

教育要望講演

**変わりゆく慢性腎臓病治療
～高齢化への適応～**

13:30~13:55

座長：片岡 恵子

演者 満生 浩司 先生
【 原三信病院 腎臓内科 部長 】

特別講演

**福岡県はCOVID19にどう対応してきたか
～DX時代の医療体制構築に向けて～**

14:00~14:45

座長：市來 俊弘

演者 野田 英一郎 先生
【 独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 救命救急センター長 】

表彰式

【目次】

1. 診療部	
肝胆膵内科	62
総合診療科	63
消化管内科	65
循環器科	67
血液内科	69
腎臓内科	71
呼吸器科	73
糖尿病内科	74
脳神経内科	75
睡眠呼吸障害センター	76
外科	77
整形外科	79
脳神経外科	81
泌尿器科	82
婦人科	85
放射線科	87
歯科・口腔外科	88
病理診断科	89
麻酔科	90
原三信病院附属呉服町腎クリニック	91
健康管理センター	92
日帰り手術センター	93
2. 看護部	94
3. 診療技術部	99
4. 事務部	100
5. 企画情報室	102

1. 診療部

● **肝胆膵内科** 院内活動・診療部

..... 肝胆膵内科部長 古藤 和浩
肝胆膵内科部長 野口 賢一

《2021年度活動報告》

肝胆膵内科は昨年同様、古藤部長と野口の2名体制だった。2021年度の外来数は増加、一方入院数は減少した。入院の内訳は今年度もウイルス性肝疾患は減、逆に非ウイルス性肝疾患は増。また胆膵疾患の増加が目立った。また患者の高齢化が進み併存疾患も多く、入院期間が長くなる傾向が見られた。今後も他科との連携がより必要となってくると思われる。外来ではウイルス性肝疾患の減少と治療が一段落した事で患者数の下がり止まりが引き続き見られて



古藤



野口

いたが、今年度は患者数の増加が見られた。コロナが一段落しそうなこともあり健診などからの紹介患者数が増えたことも一因と思われた。また外来化学療法の患者増加もあり、外来収入増の一因かとも思われた。ウイルス性肝疾患については少ないながらも新規患者はコンスタントに見られており治療導入を行った。ウイルス性肝疾患の掘り起こしも重要である。2021年度も肝炎コーディネーターの協力の下、院内肝炎ウイルス陽性者の拾い上げをおこない、新規導入まで至った患者も見られた。また院外向けの啓蒙としてウイルス性肝疾患の現状について講演会を行った。今後も定期的に行っていきたい。(文責 野口)

《2022年度目標》

ビジョン『患者や開業医に信頼される肝胆膵内科の確立』

戦略テーマ『質の高い満足していただく医療の提供』

	戦略目標
顧客の視点	患者・家族の満足の向上 紹介医の満足の向上
業務の視点	対象疾患の拡大 (ウイルス性肝炎・NASHの拾い上げ、肝硬変、肝癌、胆膵疾患) 検査・処置の効率化、パスの活用
学習と成長の視点	肝疾患コーディネーターの育成 スキルアップ
財務の視点	肝胆膵内科の収入増

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		2名	2名	2名
入院	患者数(人)	3,514	3,606	3,339
	新入院(人)	283	245	186
	診療単価(円)	42,952	45,658	44,665
	平均在院日数(日)	12.8	15.1	18.8
外来	患者数(人)	3,516	3,308	3,962
	初診(人)	557	394	634
	診療単価(円)	15,878	19,752	28,001
救急車(台)		109	71	111
紹介(件)		408	373	394
逆紹介(件)		54	61	83

※レセプト算定による統計を引用、但し紹介件数は再診も含む(以下、同様)

副院長兼総合診療科主任部長 林 真
総合診療科部長 谷合 啓明

《2021年度活動報告》

2021年度は前年度より引き続き医師2名での診療体制で始まった。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大による病院全体への影響と診療科としてのマンパワー低下とが重なり入院診療、外来診療においても厳しい1年であった。2021年度の入院診療においては、一昨年には及ばなかったが、昨年と比較すると入院患者数、入院収入ともに15%増加した。外来診療に関しては途中スタッフの体調不良に伴う新患および再診枠数の縮小を余儀なくされ総患者数、初診患者数ともに減少したが、最終的に昨年度との比較で20%減にとどまり、他院からの紹介率も15%減にとどまった。また外来単価は変わらず高い数値を維持できており、これまで通り様々な訴えの患者さまに対する必要十分な検査、診療が提供できた結果と考える。



林



谷合

2022年度は引き続き現状での診療体制となる。マンパワー減少は歪めないが、2020年度に掲げたビジョン『新しい総合診療科の確立』を継続し、少ないスタッフでも医療の質を落とさぬよう、他職種含め一つのチームとして、より円滑な医療が行えるよう引き続き努力していきたい。そして『機動力のある診療で院内、地域に貢献する』のテーマもそのままに、入院／外来診療での十二分な対応を心がけ、総合診療医（Generalist）として、また病院総合診療医（Hospitalist）として各科の壁を越えた院内診療の充実、そして患者さまと御家族、周辺の医療機関を含めた地域に貢献できるよう全人的診療を目指し、日々邁進していきたい。

《2022年度目標》

ビジョン『新たな総合診療科の確立』

戦略テーマ『機動力のある診療で院内、地域に貢献する』

	戦略目標
顧客の視点	総合診療の充実（Gate Keeper、Hospitalistとして） ホームページの充実 訪問診療の継続
業務の視点	チーム医療の充実 （チームとしての機動力向上、スムーズな退院支援システムの推進） 地域包括病棟との連携強化
学習と成長の視点	講演会、学会発表など積極的な参加 感染症専門医、総合診療専門医の育成 病棟勉強会などによるスタッフ教育
財務の視点	「連携カード」を用いた逆紹介の推進 開業医訪問による積極的な広報活動

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		3名	2名	2名
入院	患者数(人)	3,865	2,656	2,886
	新入院(人)	303	159	166
	診療単価(円)	36,282	36,872	38,662
	平均在院日数(日)	13.1	17.0	17.7
外来	患者数(人)	8,328	5,566	4,122
	初診(人)	2,648	1,396	1,220
	診療単価(円)	9,947	10,571	11,618
救急車(台)		205	67	72
紹介(件)		681	522	414
逆紹介(件)		189	103	227

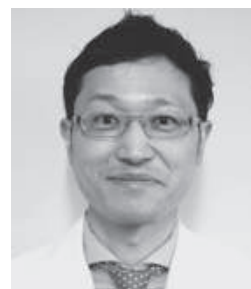
消化管内科部長 原口 和夫
消化管内科部長 麻生 暁

《2021年度活動報告》

2021年度、消化管内科は常勤医師8名、非常勤医師2名の体制で診療を行い、前年度より常勤医師数は1名減となった。2020年度からの新型コロナウイルス感染症感染拡大による診療控えや検査制限に伴う内視鏡検査数の減少により歯止めがかかり、2021年度の内視鏡検査件数は上部消化管7,009件、下部消化管2,443件、総数9,452件であり、2020年度より約1,000件の検査数増加に転じた。内視鏡治療件数は上部消化管202件、下部消化管1,321件で、消化管早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）件数は、食道21件、胃37件、十二指腸2件、大腸44件、総数105件であった。大腸ポリープに対する内視鏡治療はEMR251件、コールドポリペクトミー927件、総数1,178件で2021年度累計の入院患者数は6,291人、外来患者数は11,164人であった。スタッフの教育・育成に関しては、三島と丸岡が日本消化器病学会と日本内視鏡学会の専門医を取得することができた。（文責 原口）



原口



麻生

《2022年度目標》

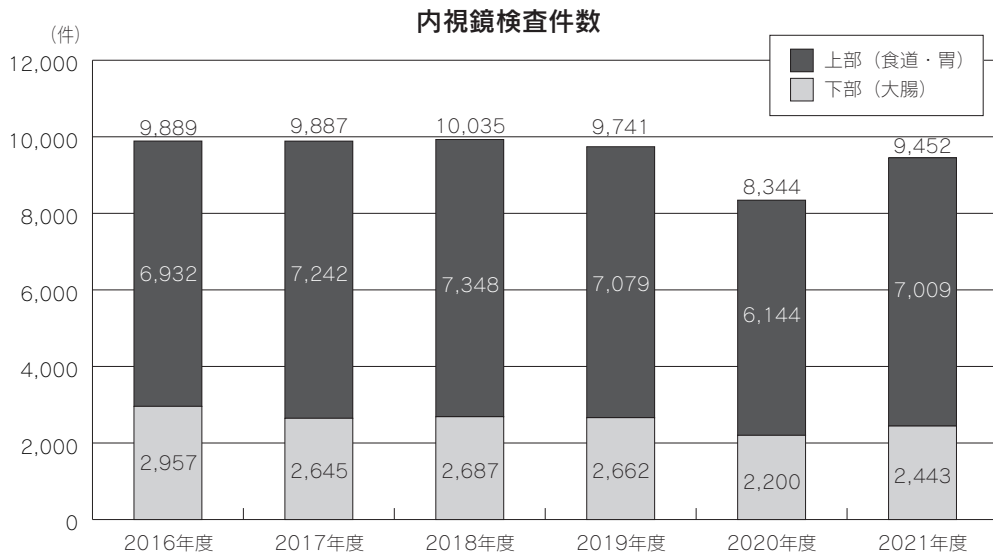
ビジョン『患者や開業医に信頼される消化管内科の確立』

戦略テーマ『質の高い満足していただく医療の提供』

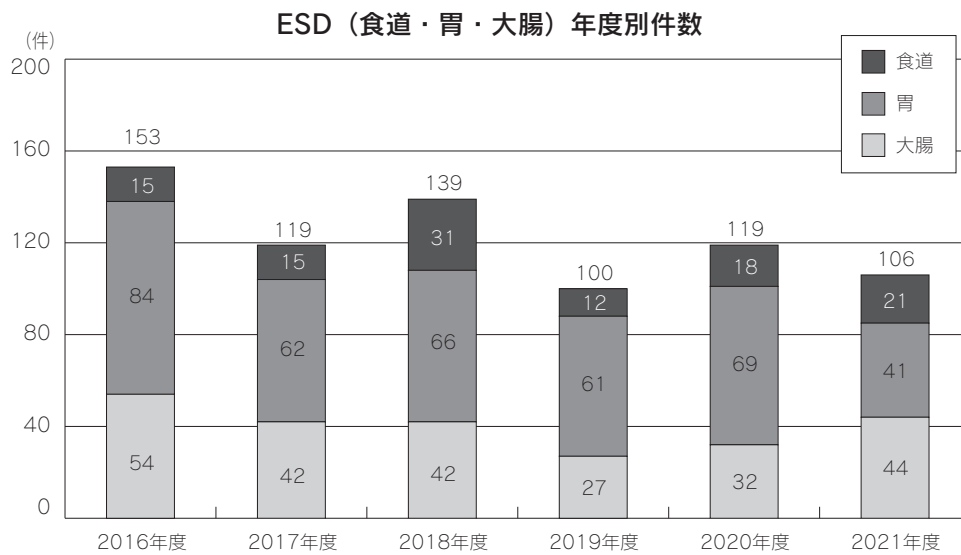
	戦略目標
顧客の視点	患者・家族の満足の向上 紹介医の満足の向上
業務の視点	消化管内科新病棟の確立 内視鏡センターの充実 クリニカルパスの充実
学習と成長の視点	レジデント（消化器専門医）の育成 内視鏡学会認定技師の育成（看護師）
財務の視点	消化管内科の収入増加

	2019年度	2020年度	2021年度	
スタッフ構成	11名	12名	10名	
入院	患者数(人)	6,724	5,424	6,291
	新入院(人)	949	726	736
	診療単価(円)	45,874	46,929	48,712
	平均在院日数(日)	7.2	7.6	8.7
外来	患者数(人)	11,988	9,700	11,164
	初診(人)	2,553	1,923	2,377
	診療単価(円)	18,461	21,780	23,688
救急車(台)	481	401	376	
紹介(件)	1,156	941	1,136	
逆紹介(件)	216	267	321	
上部内視鏡手術件数	233	219	202	
下部内視鏡手術件数	1,282	1,011	1,321	

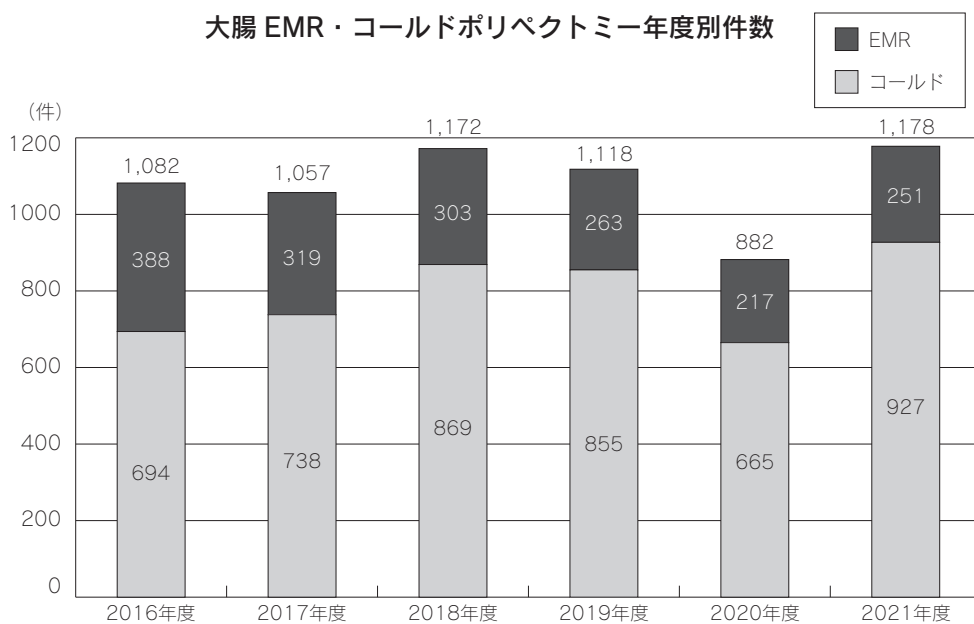
①内視鏡総数



②ESD (食道・胃・大腸)



③大腸EMR (EMR + COLD)



循環器科主任部長 市来 俊弘
 循環器科部長・心臓カテーテル室室長 山本 光孝

《2021年度活動報告》

2021年度は入院患者数が増加し、入院収入は約20%増となった。下肢動脈の血管内治療や不整脈のアブレーション治療の件数は比較的安定して推移した。一方で冠動脈造影や冠動脈インターベンション(PCI)は減少傾向であり、冠動脈疾患患者の入院数を増やす必要がある。難治性の感染症や下肢潰瘍などの患者が多く、平均在院日数がかなり長くなった。地域包括ケア病棟の利用などにより在院日数の短縮を図る必要がある。心臓リハビリテーションは2020年度より微減したが概ね安定した症例数であった。地域包括ケア病棟を利用し、慢性心不全患者の入院と心臓リハビリテーション数を増やしていきたい。



市来



山本

外来患者数は、2020年度と比べ増加したが、2019年のレベルには戻っていない。しかしながら初診患者数は増加し、診療単価も高くなり、外来収入も約20%増となった。

紹介患者の増加のために、2021年度は地域医療機関との連携を目指したWeb講演会を11件開催した。また17件のクリニック訪問を実施した。循環器科の診療案内に短いトピックスを加えたレターを作成し、院外向け広報誌「いちののさんしん」とともに当院の登録医師へ送付した。2022年度は2回送付予定である。

今後も、開業医の先生方と顔の見える関係を作り、病診連携を強化していきたい。(文責 市来)

《2022年度目標》

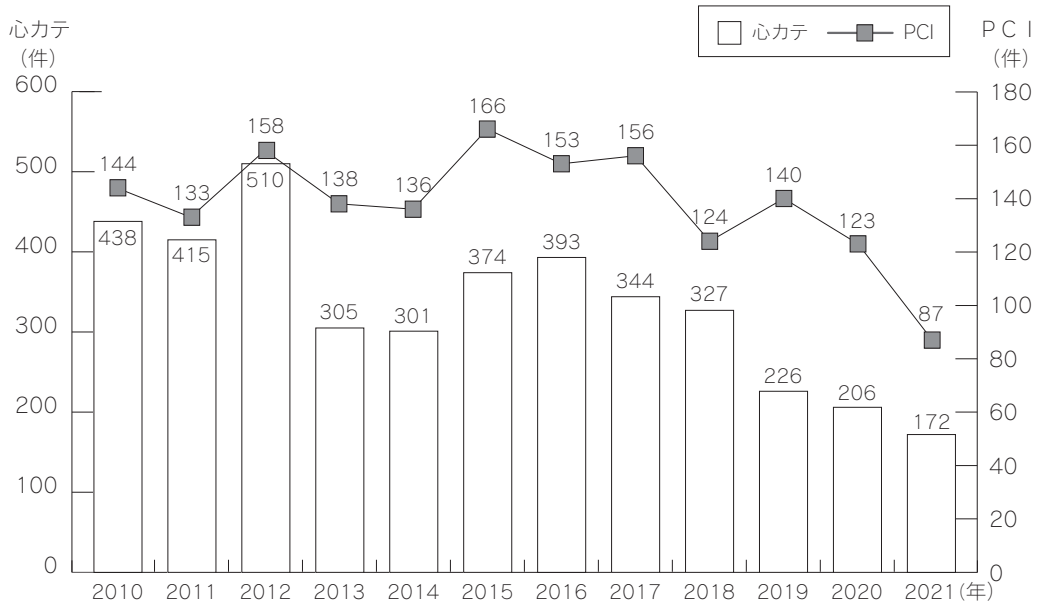
ビジョン『信頼される循環器科』

戦略テーマ『院内院外連携充実と全身循環治療』

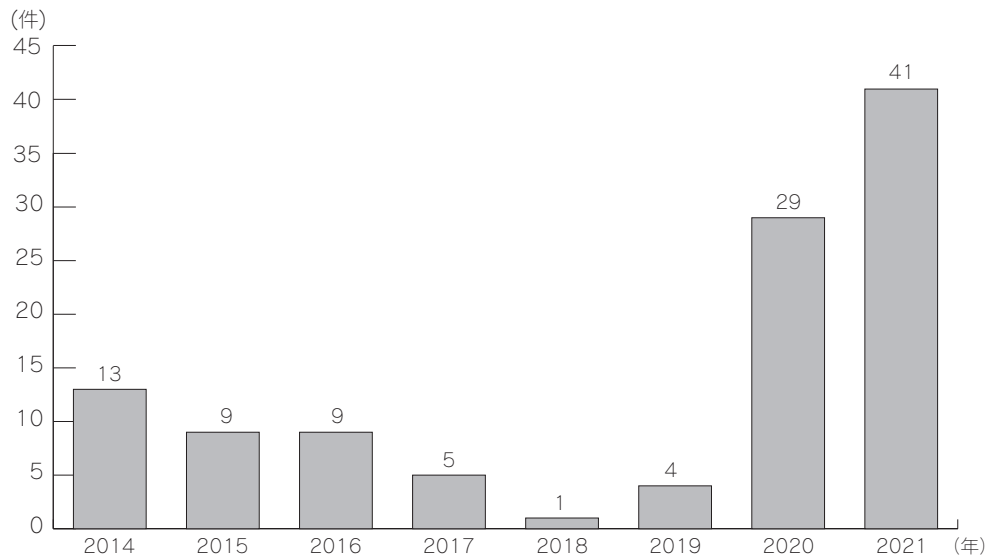
	戦略目標
顧客の視点	患者満足の上昇 院外紹介医師満足の上昇 院内協診の充実
業務の視点	カテーテルアブレーションの増加・適応範囲の拡大 地域包括ケア病棟の活用 慢性心不全患者入院の増加 心不全治療の更なる向上・再入院の抑制 心大血管リハビリの充実
学習と成長の視点	院内教育の充実 共同研究への積極的参加 資格取得、専門知識の向上 学会発表と論文発表
財務の視点	患者数増加・紹介の増加 カテーテルインターベンション治療の増加 医療材料費の見直し

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		8名	8名	8名
入院	患者数(人)	6,986	6,878	8,853
	新入院(人)	514	542	500
	診療単価(円)	66,668	69,418	65,122
	平均在院日数(日)	13.6	12.9	17.8
外来	患者数(人)	9,422	7,637	8,336
	初診(人)	1,259	932	1,355
	診療単価(円)	9,835	11,515	12,929
救急車(台)		387	348	426
紹介(件)		663	695	698
逆紹介(件)		762	660	563

(図1)
心臓カテーテル・PCI (件数)



(図2)
心臓カテーテルアブレーション



血液内科主任部長 上村 智彦

《2021年度活動報告》

2021年度は、後期レジデントを1名加えた5名体制で診療を行い、2021年度の入院・外来収入合計は前年度の101%と同様だった。2017年に取得した造血細胞移植学会の非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科の資格は、カテゴリー1認定を得ているが、2021年度も維持することができた。充実した医療チームによる包括的支援の取り組みを差別化戦略として戦略テーマを策定している。新規薬剤が相次いで国内承認された多発性骨髄腫領域の他、急性骨髄性白血病に適応拡大されたBCL-2阻害剤 Venetoclax のマネジメントにおいても、当院の取り組みを全国講演会等で情報発信することができている。『医療チームによる包括的な患者支援』という目標に添った、患者・家族も参加しての血液がんサロンは2020年以降、COVID-19パンデミックもあって開催できていないが、同種移植患者に対する移植経験者によるピアサポートについては、WEB面談を導入することで再開に漕ぎ着けている。With コロナの状況において、工夫を凝らして高度かつ良質な血液医療を目指し、医療チームの連携を更に充実させ、プライベートホスピタルの良さを活かし、地域の血液診療に貢献したい。



《2021～2022年度目標》

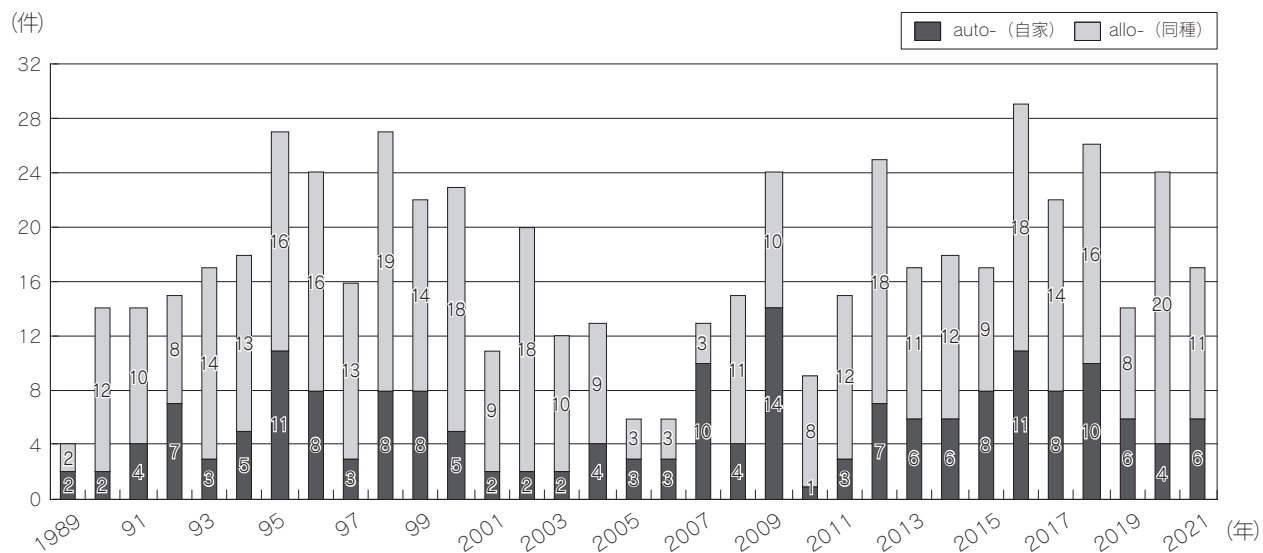
ビジョン『患者・家族とともに作る質の高い血液内科医療』

戦略テーマ『自己完結型の造血幹細胞移植施設として、血液疾患治療の地域における先進的な役割を担い、患者・家族とともに作る質の高い血液内科医療を目指す～医療チームによる包括的な患者支援～』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	医学・看護研究の推進 化学療法・移植の質向上 HCTCによる患者&ドナー支援の充実 患者・家族の満足度向上 患者・家族との連携強化
業 務 の 視 点	多発性骨髄腫治療・看護の強化 新規薬剤・新しい移植法への対応 移植認定基準のクリア・維持 末梢血幹細胞採取管理の向上 血液内科リハビリの強化
学 習 と 成 長 の 視 点	臨床試験・研究への積極参加・実施 血液疾患の学習 講演・発表活動の充実（広報として） 移植外来の充実 感染症サーベイランスの充実と利用
財 務 の 視 点	多発性骨髄腫患者の増加 紹介患者の確保 移植件数の安定 治療の医療経済的適正化

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		4名	4名	5名
入院	患者数(人)	14,465	15,008	14,750
	新入院(人)	405	326	271
	診療単価(円)	67,006	72,842	72,472
	平均在院日数(日)	35.1	45.9	52.1
外来	患者数(人)	6,068	5,064	5,703
	初診(人)	915	493	953
	診療単価(円)	50,948	69,374	67,145
救急車(台)		382	357	521
紹介(件)		316	286	311
逆紹介(件)		156	131	195

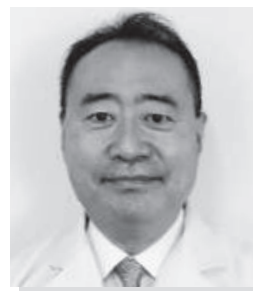
移植数の年次推移



腎臓内科部長 満生 浩司

《2021年度活動報告》

2021年度は入江が退職、満生が部長に就任し、満生、末廣、佛坂の3人体制で診療し、外来診療には引き続き稲永隆先生の応援をいただいた。外来部門では患者数、特に初診患者数が増加した。以前と同様、地域のニーズに対応する腎疾患診療の拠点として活動した。特に専門外来である慢性腎臓病（CKD）外来は医師、看護師、管理栄養士といった多職種による定期的な介入を実施し、かかりつけ医と連携してCKD進行抑制に努めた。入院部門では手術件数やPTA件数が維持～微増であり、とりわけ透析導入数が大きく増加した。引き続き地域におけるCKD、透析の中核的診療施設として責務を全うしていきたい。入院部門では、腎生検、ステロイドパルス療法、CKD保存期の精査教育、透析療法の導入期、各種アクセスの手術とPTAなどが主体であり、透析療法における様々な合併症入院に関しては、それぞれの専門科と協働している。同様に様々な診療科との連携で、血漿交換や血液吸着療法などのアフレスス療法も施行している。今後はさらにチーム体制を強化し、可能な限りより高い患者QOLが期待できる在宅医療（腹膜透析や腎移植）も積極的に推進していきたい。



《2022年度目標》

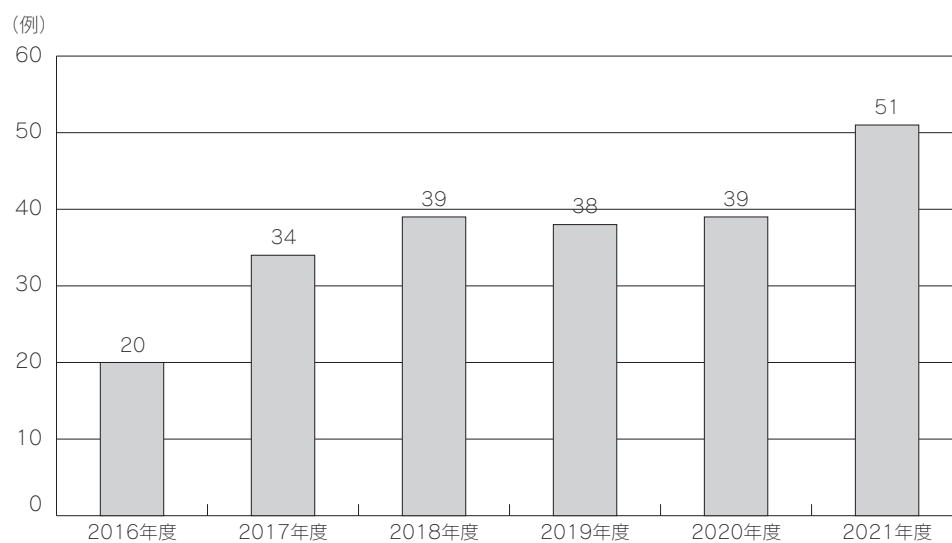
ビジョン『腎炎から末期腎不全、腎移植まで対応できる』

戦略テーマ『急性、慢性、末期腎不全、腎移植の各病態で信頼される医療を提供する』

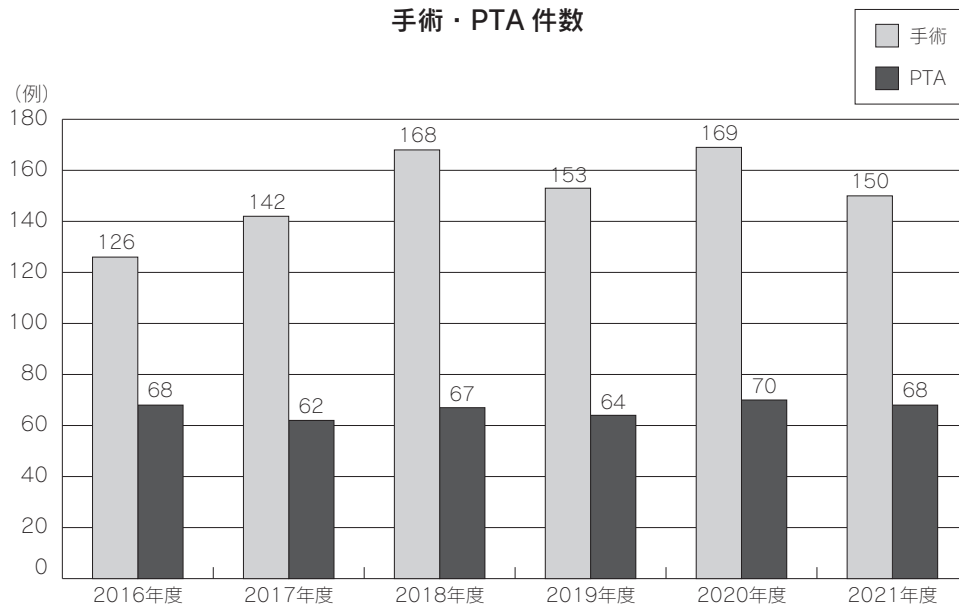
	戦略目標
顧客の視点	「腎疾患といえば原三信」といわれる腎臓内科を目指す
業務の視点	在宅医療（腹膜透析・腎移植）の推進 CKD保存期指導と腎代替療法治療選択の推進 地域包括ケア病棟の活用促進（院外からも含めて）
学習と成長の視点	腎代替療法専門指導士の資格取得 手術など各種手技向上と安全性の担保 若手医師やスタッフへの指導
財務の視点	外来患者数増加→入院数・導入数増加 PTAおよび手術件数増加

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		5名	4名	4名
入院	患者数(人)	3,528	4,143	4,006
	新入院(人)	232	189	180
	診療単価(円)	47,396	46,912	47,315
	平均在院日数(日)	15.3	20.9	22.0
外来	患者数(人)	3,720	3,539	3,796
	初診(人)	294	267	385
	診療単価(円)	18,153	22,473	21,640
救急車(台)		45	43	46
紹介(件)		457	379	335
逆紹介(件)		136	186	179
透析延べ回数		1,967	2,063	2,181

透析導入数



手術・PTA 件数



..... 院長（呼吸器科）・健康管理センター長 原 直彦
呼吸器科部長 高木 陽一

《2021年度活動報告》

2021年度は、高木、久末、穴井の3名体制で診療にあたった。引き続き九大病院より福山医師の応援があり、金曜日の外来、カンファレンス、回診、気管支鏡検査に携わっていただいている。2020年同様、肺がん治療患者の増加を目標に診療にあたった。スタッフ数の増加はなかったが、COVID-19診療の影響もあり、数字の上では前年以上の経営実績を残すことができた。また、チーム医療を中心として、過誤査定対策、パス大会の準備を行った。



高木

2021年はCOVID-19デルタ株、2022年正月明けからはオミクロン株が流行し、外来診療・入院診療とも様々な影響を受けた。特に気管支鏡検査は感染のリスクが高いため、症例を必要最小限に絞らざるを得なかった。2022年3月頃より状況は改善傾向である。

COVID-19治療に関しては、Nas2（職員共有ファイルサーバー）に「COVID 広場」を開設し、最新の診療情報の共有に努めた。（文責 高木）

※気管支鏡症例83例（非小細胞肺癌23例、小細胞肺癌3例、その他疾患57例）

《2022年度目標》

ビジョン『呼吸器科の発展を目指して』

戦略テーマ『呼吸器科の底上げ Ver.7』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	顧客満足の上昇（紹介元・紹介先医療機関、患者）
業 務 の 視 点	紹介元医療機関の信頼回復 重症度、医療・看護必要度の確保 高額腫瘍剤の使用時検証
学 習 と 成 長 の 視 点	スキル向上（医師・看護師・チーム医療メンバー）
財 務 の 視 点	入院…重症患者の確保・査定の抑制 外来…禁煙外来の定着 総収入の回復

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		4名	3名	3名
入 院	患 者 数 (人)	9,010	7,197	7,518
	新 入 院 (人)	551	355	388
	診 療 単 価 (円)	39,354	40,892	43,942
	平均在院日数 (日)	16.5	20.3	19.4
外 来	患 者 数 (人)	6,244	4,601	5,369
	初 診 (人)	1,165	689	1,090
	診 療 単 価 (円)	15,031	18,649	19,439
救 急 車 (台)		261	162	270
紹 介 (件)		827	550	574
逆 紹 介 (件)		418	328	308

糖尿病内科医長 深水 豊

《2021年度活動報告》

糖尿病患者の入院は、急性症状を有する場合以外は絶対的入院の適応になりにくい事や健診受診を控える人が増えた事によって、2020年1月以降は激減し苦しい状況となっていた。2021年度は入院患者数が例年どおりに戻ってきておりコロナが社会に受容されつつある兆しであると考えられる。コロナによって安定的な生活を脅かされた方々がいる事を考えると2022年度はむしろ患者は例年よりやや増加が見込まれる。

ただ当科としてはコロナ蔓延によって病棟閉鎖を余儀なくされた事で専任もしくは習熟したスタッフのほとんどが退職してしまい、今後の人材育成が最重要課題であると考えられる。

これから患者増が予想される状況では育成もなかなかスムーズにはいかないと想定されるが、数年後を見据え教育にも注力していく。



《2022年度目標》

ビジョン『テラーメイドな医療の提供』

戦略テーマ『合併症の重症化予防』

	戦略目標
顧客の視点	外来枠以外での協診対応の継続 受診・診療継続を促す指導（フットケア外来・腎不全外来など）
業務の視点	教育入院の充実 入院と外来の連携
学習と成長の視点	DM知識の向上 スキルの向上
財務の視点	安定的な収入の確保と無駄の削減 地域の医療機関との連携強化

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	447	461	713
	新入院(人)	32	31	27
	診療単価(円)	36,954	36,750	35,630
	平均在院日数(日)	14.0	15.4	24.6
外来	患者数(人)	2,333	1,921	2,209
	初診(人)	165	57	158
	診療単価(円)	17,496	17,549	18,060
救急車(台)		73	22	18
紹介(件)		74	92	80
逆紹介(件)		57	48	40

..... 脳神経内科部長 藤木富士夫

《2021年度活動報告》

入院および外来対応は、例年同様に常勤1名体制で行った。COVID-19の影響にて2020年度は外来および入院患者が減少したが、2021年度は少し持ち直した。脳卒中急性期対応から撤退したため、脳卒中急性期入院の減少が予想されたが、レスパイト入院や慢性疾患リハビリ対応などの地域包括ケア病棟の有効活用により入院患者数の大幅な減少は免れた。



《2022年度目標》

パーキンソン病パンデミックといわれるほど、高齢化にともなうパーキンソン病患者の増加が著しい。こうした増加に対応できるように柔軟な外来、入院対応をしていきたい。昨今は、神経疾患への新たな治療方法もめざましく、積極的にこうした治療へ取り組んでいきたい。

ビジョン『別無工夫（シンプルに）』

戦略テーマ『凡事徹底』

戦略目標	
顧客の視点	患者・家族の満足度向上 他院紹介医の満足度向上
業務の視点	効率的な運用 MSW・地域連携室との連携強化、地域包括ケア病棟利用強化
学習と成長の視点	他職種連携の充実 神経疾患の新たな治療導入
財務の視点	入院患者増加

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	2,537	2,064	2,690
	新入院(人)	123	86	111
	診療単価(円)	36,101	39,661	38,040
	平均在院日数(日)	20.8	24.3	24.7
外来	患者数(人)	3,053	2,528	2,707
	初診(人)	488	302	325
	診療単価(円)	12,180	18,479	30,915
救急車(台)		87	26	44
紹介(件)		349	294	323
逆紹介(件)		228	211	223

……………循環器科主任部長兼睡眠呼吸障害センター長 市来 俊弘

《2021年度活動報告》

2021年度の終夜睡眠ポリグラフィー検査は164件であった。2020年度と比べ16件増加したものの、2019年度には及ばなかった。入院単価は若干高くなり、入院収入は2020年度より20%増加した。持続陽圧呼吸療法（CPAP）の管理数は微増し、210件/月程度であった。約6割が遠隔モニタリングを利用して2ヶ月に一度の受診となっている。紹介患者数は2020年度は大きく落ち込んだが、2021年度は回復傾向にあった。睡眠時無呼吸症候群が心血管病のリスク因子であることから、CPAP使用患者において頸動脈エコーや心エコーなどによる心血管病のスクリーニングを積極的に進めている。その影響もあつてか、外来患者の診療単価は増加し、外来収入は2020年度の約20%増加となった。



睡眠時無呼吸症候群についての理解を深め、紹介を増やしていただくよう、循環器科と共同で地域医療機関との連携を目的としたWeb講演会を2回開催した。またクリニック訪問を引き続き行った（訪問17件）。2022年度も引き続き原三信病院で睡眠時無呼吸症候群の診療を行っていることを開業医の先生方へ周知し、より多くの患者を紹介してもらえるように努力したい。

《2022年度目標》

ビジョン『快適で良質な睡眠による健康増進』

戦略テーマ『院内外との連携強化と総合的な生活習慣病治療』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上 総合的な健康管理
業務の視点	院内外との連携強化 総合的な生活習慣病治療
学習と成長の視点	睡眠時無呼吸症候群の周知を図る
財務の視点	紹介患者の増加 PSG、CPAP件数の増加を図る CPAP外来未受診患者を減らす

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	437	295	328
	新入院(人)	219	148	162
	診療単価(円)	48,139	54,636	56,150
	平均在院日数(日)	2.0	2.0	2.0
外来	患者数(人)	2,079	1,599	1,778
	初診(人)	133	108	149
	診療単価(円)	16,005	20,648	22,088
紹介(件)		129	89	112
逆紹介(件)		67	49	50

副院長 江口 徹
 外科主任部長 当間 宏樹 胸部外科部長 廣田伊千夫
 肝胆膵外科部長 橋爪健太郎 乳腺内分泌外科部長 小川 尚洋



江口



当間



廣田



橋爪



小川

《2021年度活動報告》

2021年度は4月に野口医師が就任し、江口副院長以下9名体制を維持しました。野口医師は卒後7年目の女性外科医で、開腹手術から腹腔鏡手術まで幅広くこなし、バイタリティに溢れた仕事ぶりは、われわれ指導医も大いに刺激を受けました。昨今、医師を取り巻く職場環境は変革期にありますが、女性外科医の活躍は職場の活性化にもつながると実感しました。三浦医師は腎移植外来から一般外科まで幅広く対応してもらった多忙な一年を過ごし、2022年度からは宮崎県立宮崎病院の腎移植を担うべく出向しました。当院での経験を活かした今後の活躍に期待したいと思います。

2021年度より当院は地域がん診療連携拠点病院に認可され、がんセンターが開設されました。外科は、いわゆる五大癌（肺癌、乳癌、胃癌、肝臓癌、大腸癌）の全ての診療に関与し、各臓器別診療グループの部長を中心に、若手医師と連携して専門的な医療の提供を目指しております。近年、進行癌・癌再発患者に対する化学療法や放射線療法などの集学的治療の進歩は目覚ましく、関連各科との連携は、今後ますます重要になります。昨今、コロナ禍の影響もあり、抗癌剤の製造や供給に影響が出るなどの不安材料もありますが、今年度も進行癌・癌再発患者の生命予後の改善に少しでも貢献できる集学的治療の実践に努めてまいります。

内視鏡外科手術における3D内視鏡システムはすっかり定着し、それまでの二次元での操作からより自然感覚に近い三次元での操作が可能となり、様々なメリットが実感できるようになりました。例えば手術時間の短縮化やそれに伴うスタッフの疲労軽減、術後合併症の減少、手術器材の見直しによるコスト削減などです。世界の潮流はカーボンニュートラルであり、今後も内視鏡外科手術は進化していくと思われます。当科も2022年度は消化器外科領域でのダビンチ支援手術の導入を目指しております。ロボット技術によって、より精緻な操作が手術の完成度を高め、患者さんの予後改善をもたらすことを期待して取り組んでまいります。

コロナ禍で自粛が続いていた地域の医療施設への訪問や連携活動も、ようやく再開できそうな状況です。開業医の先生方との面会は、貴重なコミュニケーションの機会です。がん診療連携パスの運用などを通じて近隣の医療施設とのつながりを深め、今年度も地域のがん診療に貢献して参りたいと思います。
 (文責 当間)

《2022年度目標》

ビジョン『がん治療の充実』

戦略テーマ『臓器別診療体制の充実』『術後合併症の抑制』

	戦略目標
顧客の視点	「説明と同意」の充実 患者満足度の向上 治療体制の臓器別センター化 外科広報の充実
業務の視点	リスク管理の徹底化 クリニカルパスの充実 臓器別治療体制の充実 術後感染率の低下 より良い労働環境作り
学習と成長の視点	高度な治療技術の取得 安全で確実な外科医療を提供できるための職員教育 周術期ケアの充実（東館 6F 病棟・外科）
財務の視点	患者確保 無駄のない医療 腎移植後患者の治療拡充

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		9名	9名	9名
入院	患者数(人)	11,240	10,192	9,454
	新入院(人)	853	677	620
	診療単価(円)	65,367	66,063	66,388
	平均在院日数(日)	12.8	14.6	14.8
外来	患者数(人)	12,665	11,844	11,958
	初診(人)	802	644	606
	診療単価(円)	24,889	21,185	23,219
救急車(台)		39	28	37
紹介(件)		628	562	554
逆紹介(件)		229	193	209
手術件数		758	634	567

外科手術件数

		2019年度	2020年度	2021年度
内分泌 (甲状腺・副甲状腺・乳腺)	甲状腺・副甲状腺	21	14	9
	乳腺	42	48	33
	計	63	62	42
胸部 (肺・食道)	肺悪性	18	19	17
	良性	16	15	17
	計	34	34	34
腹部消化管 (人工肛門含む)	胃	40	33	30
	結腸直腸	88	107	100
	その他	28	18	11
	計	156	158	141
虫垂炎		67	60	41
肝、胆、膵、脾		42	27	20
胆石症、胆嚢ポリープ		122	95	71
ヘルニア(腹壁・鼠径)		155	100	133
痔、肛門ポリープ		9	4	7
下肢静脈瘤		0	0	0
皮下腫瘍、リンパ節腫張		35	34	24
その他 (PTCD、気切、ポート挿入等)		84	60	54
合計		767	634	567

…………… 整形外科部長 高崎 実

《2021年度活動報告》

2021年度の原三信病院整形外科は、5人の医師のうち常勤スタッフが4人と倍増したため、診療体制としては2020年度よりもパワーアップした状態となりました。しかし、この1年間もコロナウイルスに振り回される年となりました。



コロナ患者が増えて蔓延防止や緊急事態宣言などができると、外来患者数・入院患者数・手術患者は顕著に減少し、コロナ患者数が減少すればまた患者が増えるといったまま推移しました。特に10月ごろまでは、毒性の強いデルタ株や東京オリンピック後のコロナ増加等が話題になったためか、手術・入院患者数は2020年度よりも少ないという状態でした。ワクチン接種が進み、オミクロン株が主流になってからは、患者数は増加し徐々に忙しくなりました。病棟内でのクラスター発生などもありましたが、1年間で見ると全体的には、2020年度より少しは診療科としての業績は改善したようです。

2021年度も救急車・急患対応に関しては、断らない方針での診療を行っていましたが、脊椎疾患の麻痺などの緊急手術が必要な患者は、当院では対応できず受け入れできないため、これらの患者さんへの対応は苦勞したようです。2022年度に向けた目標としては、2020年度に掲げていた目標などが、新型コロナウイルスの影響で2年間の間は適切に運用できなかったこともあり、2020年度のを継続しています。

2022年度は、部長が高崎から竹内先生に交代します。今後とも、原三信病院整形外科をよろしく願っています。

《2022年度目標》

ビジョン『地域が求める整形外科』

戦略テーマ『二次救急・急性期入院医療の充実』

	戦略目標
顧客の視点	患者・スタッフの満足度の向上 早期社会復帰 情報提供と共有 診療機能の充実
業務の視点	手術の拡充 クリニカルパス更新と活用 救急対応の継続 地域包括ケア病棟との院内連携 専門的医療の強化
学習と成長の視点	スキルアップ
財務の視点	新規入院患者の確保 平均在院日数の軽減 適正な診療報酬 不要な医療費の削減

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		6名	5名	5名
入院	患者数(人)	18,309	12,321	11,514
	新入院(人)	708	505	498
	診療単価(円)	47,543	50,140	51,901
	平均在院日数(日)	25.9	24.0	23.6
外来	患者数(人)	11,206	8,609	9,145
	初診(人)	1,874	1,411	1,399
	診療単価(円)	8,385	8,965	9,102
救急車(台)		305	266	293
紹介(件)		695	593	651
逆紹介(件)		722	699	657
手術件数		657	473	478

脳神経外科部長 庄野 禎久

《2021年度活動報告》

2021年度も2020年度から引き続き常勤3名体勢（顧問、部長、副医長）で診療を行った。夏まではCOVID-19の感染状況の影響もあり、入院患者数、外来患者数、救急車台数などの指標はやや少なめで推移したが秋以降は増加に転じ、最終的にはこれらの指標が最多であった2019年度よりも多くなり、ほぼ目標数値が達成できた。2022年度は森岡顧問、後藤副医長が退職され、新たに安部啓介副医長が赴任された。前年より1名少ない常勤2名体勢（部長、副医長）となるため、2021年度と同等の患者数を確保するのは難しい可能性があるが、安部副医長とともに各指標が減少しないよう診療を行う方針である。森岡顧問は常勤ではないものの、月曜日と金曜日の午前中の外来で、てんかん患者を中心に診療を継続していただく予定である。



《2022年度目標》

ビジョン『必要かつ最善な脳外科診療を遂行する』

『長期的に持続できる診療体制の構築』

戦略テーマ『チーム医療による質の高い医療の提供及び持続可能な診療体制作り』

	戦略目標
顧客の視点	情報提供の充実（患者さん・連携医療機関） 救急及び紹介患者の受け入れ体制強化
業務の視点	外来～病棟～手術～退院（転院）の連携強化 救急患者への迅速な対応
学習と成長の視点	医療従事者の知識の向上 積極的な論文作成及び学会発表
財務の視点	救急及び紹介患者の確保 効率的医療の実践 重症度、医療・看護必要度の維持

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		3名	3名	3名
入院	患者数(人)	5,466	4,944	5,926
	新入院(人)	271	205	230
	診療単価(円)	55,882	52,634	50,293
	平均在院日数(日)	20.6	24.5	25.7
外来	患者数(人)	3,274	3,038	3,444
	初診(人)	633	567	623
	診療単価(円)	14,384	14,381	14,013
救急車(台)		319	259	331
紹介(件)		223	218	189
逆紹介(件)		158	159	172
手術件数		142	91	112

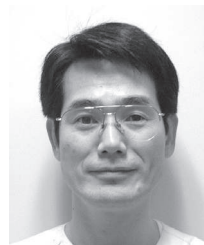
名誉院長 内藤 誠二
泌尿器科主任部長 横溝 晃
泌尿器科部長 武井実根雄・宮崎 薫



内藤



横溝



武井



宮崎

《2021年度活動報告》

2021年度の泌尿器科は原三信泌尿器クリニックを含め18人体制で診療を行った。2020年度は新型コロナウイルス禍の影響を受け、入院収入、外来収入が前年比のそれぞれ83.0%、84.2%と落ち込んだため2021年度はコロナ前の2019年の実績に戻すことを目標としていた。その結果、2021年の入院収入、外来収入は2019年と比較して、101.1%、95.6%とほぼ2019年と同等に回復させることができた（表1）。当科では、月曜から金曜日まで毎日新患日とし、一般泌尿器科診療以外に特殊外来として女性泌尿器外来、尿失禁外来、ED外来および不妊外来を設け、原則毎日7診体制での外来を行っている。コロナ禍が収まるにつれ、外来が混雑し、待ち時間が長くなってきており、さらに効率的な外来診療を行う必要性が増してきている。そのため、2021年度も病状の安定している方は積極的に逆紹介を行い、新患患者や重症患者診療に重きを置く診療体制を再び強化する方針とした。その結果、外来診療単価が上昇し、外来患者数は2019年より減少する成果となった（表1）。しかし、新患紹介患者はまだ伸び悩んでおり、紹介元医療機関との病診連携をこれまで以上に活性化することが必要と考え、5回目の当科と一般開業医との病診連携の会を2021年12月20日に開催した。また、外来担当医の中から緊急相談医として選任し、急患の相談、対応に当たる体制も継続している。

2021年の主な手術件数を表2に示す。手術日も月曜から金曜日まで毎日、経尿道的内視鏡手術を始め、腹腔鏡下手術、ロボット支援手術、尿失禁手術など毎日行っている。手術数の多いものからの順位に大きな変化はないが、全体的に手術数もコロナ前に回復している。そのため、2021年の戦略テーマは、『泌尿器専門医療チームの持続的発展』とした。これはポストコロナを見据えて、コロナ前の活発な泌尿器科専門診療の更なる発展を持続的に行うことを目指したものである。各戦略目標を表に示しているが、各目標達成のため、泌尿器科チーム一丸となって取り組んでいきたい。

円滑で質の高い安心、安全な医療を提供するため、週2回の症例カンファレンス、週1回の回診、手術カンファレンス、抄読会、女性泌尿器科カンファレンス、そして、月1回のキャンサーボードと神経泌尿器科カンファレンス、医師と泌尿器科診療に関わるスタッフ全員を交えてのチーム医療検討会を開催している。そして平成26年に放射線科と病理診断科の協力のもと開始した前立腺癌キャンサーボードはすべて予定通り開催され、そのことが功を奏して、2021年4月に、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けることができた。当科ではすでに前立腺がん地域連携パス（手術後と放射線治療後）を使用しているが、「がん治療連携計画策定料」の請求が可能となったため、本年度も前立腺がん地域連携パスの運用を活発に行った。また働き方改革に対応するため、1) 木曜日の午後はカンファレンスの時間とする 2) 当直翌日の午後は休み 3) タイムカードによる就業時間の管理と必要な有給休暇の取得の徹底を行っている。

コロナ禍の影響で学会・学術活動の多くはWeb開催となったが、忙しい日常業務にもかかわらず学会・学術活動を積極的に行っている。2021年度は学会発表数19件、論文・著書は7件（内Peer review雑誌への原著英文論文2件）、講演と司会、座長は計70件であった。（文責 横溝）

《2022年度目標》

診療実績をコロナ前の2019年度から更に発展させ、効率的かつ安全な泌尿器科専門医療を実践する。

戦略テーマ『泌尿器専門医療チームの持続的発展』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間の短縮、テンプレート入力、AI問診票の導入 ・逆紹介を増やし、かかりつけ医と連携・情報の共有を行い効率的な診療を行う ・待ち時間短縮→新患予約の推進 ・ホームページの更新、活用 ・正確で迅速な検査結果の提供 ・高い専門性を活かした診療
業 務 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況に応じた迅速、柔軟な対応 ・仕事に誇りがもてる充実した職場づくり ・働き方改革を取り入れた業務改善、業務を見直し重複や過剰業務を改善する ・チーム医療メンバーとの良好なコミュニケーションと勉強会、研修会の開催、参加 ・専門領域を活かした診療体制の樹立、各専門外来の周知を図る ・泌尿器科外来薬剤師の配置、専門看護師の育成、資格取得、泌尿器科担当手術看護師の育成 ・他医療職種との連携をはかり、定期的に勉強会、Web講演会の聴講などで理解を深める
学 習 と 成 長 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの専門知識の向上 ・各部門のスタッフの講演会、学会への参加と発表の推進 ・専門資格の習得 ・チーム医療の参加推進
財 務 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・査定減少の努力を継続する（チーム医療を通じてフィードバックと周知を実践する） ・残業削減 ・高額薬剤・試薬やディスプレイ製品の慎重な使用 ・パスの改訂の継続→効率化を推進する。 ・一時購入薬品の在庫管理、後発品への切り替え

《2021年度統計》

表 1

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		18名	18名	18名
入 院	患 者 数 (人)	23,054	17,056	22,471
	新 入 院 (人)	2,595	2,290	2,518
	診 療 単 価 (円)	61,961	69,494	64,263
	平均在院日数 (日)	8.9	7.5	8.9
外 来	患 者 数 (人)	41,853	35,279	37,566
	初 診 (人)	5,489	4,753	4,937
	診 療 単 価 (円)	24,501	24,475	26,087
救 急 車 (台)		229	219	250
紹 介 (件)		3,829	3,389	3,532
逆 紹 介 (件)		1,457	1,546	1,705
手 術 件 数		2,257	2,029	2,181

表2 2021年度の主な手術件数

手術コード	手術名称	件数
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	341
K8036イ	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	268
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	237
K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術（ホルミウムレーザー等使用）	88
K802-22	膀胱脱手術（その他）	86
K843-4	ロボット支援根治的前立腺摘除術	80
K8512	会陰形成手術（筋層に及ぶ）	76
K7981	膀胱結石（異物）摘出術（経尿道的手術）	57
K800-2	経尿道的電気凝固術	49
K800-3	膀胱水圧拡張術	38
K773-2	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	35
K773-5	ロボット支援腎部分切除術	30
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	30

..... 婦人科部長 片岡 恵子

《2021年度活動報告》

2021年度の診療体制は常勤医師4名で良性の婦人科疾患に特化した診療を継続しています。COVID-19の影響で2020年は減収を余儀なくされましたが、感染対策の徹底が浸透し、本年度は「コロナ前」よりも手術数が増え、増収につながっています。

当科は骨盤臓器脱に対しては女性泌尿器科グループと連携し術式の検討や必要な検査、術後のフォローなどを展開しており、最適な治療を提供できる点が他に例を見ない大きな特徴です。良性疾患を対象に内視鏡手術にも継続して力を入れており、2014年から現時点で2,000例を超える内視鏡手術を実施し、まもなく2,200例に到達すると思われませんが、大きな合併症や後遺症なく経過できていることを誇らしく思っております。



依然として不妊治療専門のクリニックより生殖医療前後の子宮鏡手術や腹腔鏡手術を依頼されることが多く、治療を急がれる患者さんには日程や手術のタイミングも COVID-19の感染状況をにらみつつ、柔軟に対応するように心がけています。2022年4月より不妊治療の保険適応も始まり、ますます不妊治療に関わる患者さんの数が増えるものと思われしますので、迅速に不妊治療へ移行できるよう、対応をさらに整えていきたいと考えております。

今後も小回りの利く対応で良性疾患全般、特に不妊・内分泌領域および女性のヘルスケア（骨盤臓器脱や更年期障害など）に適した内視鏡手術、治療を行っていくとともに、地域の皆様と強く連携し、頼りにされる診療をさらに進めていきたいと思っております。

なお、オンラインでの診療予約も試行を開始後、ご好評を得ております。現在は再来予約のみ受け付けておりますが、将来的には初診にも間口を広げていく予定です。今後とも地域のよきパートナーとして尽力していきたい所存です。どうぞよろしくご厚意申し上げます。

《2022年度目標》

ビジョン『安心して治療が受けられ笑顔で帰っていただける診療』

戦略テーマ『安心と信頼と身近な医療の提供』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上（親切、丁寧、優しい婦人科）
業務の視点	健診～外来～病棟～手術室の連携強化 業務の効率化
学習と成長の視点	知識及び技術の充実 情報の共有
財務の視点	収入増

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		4名	4名	4名
入院	患者数(人)	2,358	2,252	2,907
	新入院(人)	428	406	454
	診療単価(円)	95,711	96,881	94,039
	平均在院日数(日)	5.5	5.5	6.4
外来	患者数(人)	7,069	6,567	7,144
	初診(人)	1,204	929	906
	診療単価(円)	10,552	10,307	10,936
救急車(台)		22	14	16
紹介(件)		799	679	869
逆紹介(件)		414	428	464
手術件数		405	379	501

婦人科手術症例件数 (2021年4月～2022年3月)

腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術	54	子宮全摘術	12
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	22	子宮内膜搔爬術	23
腹腔鏡下腔式子宮全摘術	84	バルトリン腺嚢胞摘出術・造袋術	2
腹腔鏡下子宮外妊娠手術	11	子宮脱手術 4. 腔壁形成手術及び子宮全摘術	28
腹腔鏡下子宮付属器癒着剥離術	47	流産手術(妊娠11週まで)(手動真空吸引法)	3
腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術	2	女子外性器腫瘍摘出術	3
腹腔鏡下仙骨腔固定術	10	腹式子宮筋腫核出術	19
腹腔鏡下子宮内膜症巣除去術	37	開腹下子宮付属器腫瘍摘出術	7
腹腔鏡下卵管摘出術	2	腔壁形成手術	3
腹腔鏡下子宮腔上部切断術	1	子宮頸管ポリープ切除術	4
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1	会陰形成術 2. 筋層に及ぶもの	1
子宮鏡下子宮内膜ポリープ切除術	100	腔壁裂創縫合術 3. 腔円蓋に及ぶ裂創	1
子宮鏡下子宮筋腫核出術	17	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(その他)	1
子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術(癒着剥離術を含む)	3	癒合陰唇形成手術 1. 筋層に及ばないもの	2
		腔中隔切除術 2. 全中隔のもの	1
合 計			501

放射線科部長 田中 厚生

《2021年度活動報告》

昨年度の改正医療法が施行開始により診療用放射線の安全管理の推進が以前より増して求められるようになった。患者への対応としてわかりやすい説明および情報共有の努力は続けている。一方医療従事者に対しては医療放射線の安全利用のための研修も続けている。安全面で問題のあった部分や機器設定の点検見直し最適化の改善解消をチームとして取り上げ取り組んでいる。

放射線治療はコロナ禍の影響でここにきて件数が減少しているものの、スタッフの努力の積み重ねによりクラスター感染発生も無く診療が継続できている。

今年度も院外から多数の画像検査依頼をいただいているが、今後とも役に立つ情報を提供できるように努めたい。



《2022年度目標》

ビジョン『良質な放射線医療をめざす』

戦略テーマ『ニーズに対応し、質の向上と危険回避の徹底』

	戦略目標
顧客の視点	安全性の確保 放射線治療件数の回復 検査トラブルの減少 被曝低減
業務の視点	時間外検査増加への対応 放射線治療の充実 読影の質の保証 放射線の安全利用
学習と成長の視点	勉強会の実施 安全教育の徹底 読影技術の向上 最新知見の理解
財務の視点	紹介患者数の増加 ハイパーサーミアの件数増加 保有機器のメンテナンス見直し 過誤査定の検討 医事マスタメンテナンス

	2019年度	2020年度	2021年度	
スタッフ構成	4名	4名	4名	
外来	患者数(人)	5,468	5,225	4,619
	初診(人)	415	541	485
	診療単価(円)	32,402	32,634	31,277
紹介(件)	523	619	564	
逆紹介(件)	424	546	491	

..... 歯科部長 小野田慈美

《2021年度活動報告》

2020年度は COVID-19の影響を受けていたが、2021年度はコロナ禍以前よりも入院患者数・手術件数・紹介件数ともに増加し、全体として増収につながっている。

2021年度も引き続き田籠・小野田の常勤2名に加え、九州大学病院口腔外科から週に1回非常勤歯科医師の体制で診療を行った。これまで「地域に貢献し、地域に頼られる病院歯科」を目標に、近隣の病院・歯科医院への広報活動を実施してきたが、その効果から周囲病院・歯科医院での認知度も高まり、口腔外科専門外来・睡眠時無呼吸症候群専門外来への紹介件数が更に増加した。反対に一般開業歯科医院で可能な治療は可及的にかかりつけ歯科・紹介医へ逆紹介を行うように努め、専門性を高めた。その結果、外来患者数はわずかに減少しているが患者単価は上昇し、全体としては前年度と同様の外来収入を維持できている。2022年度は口腔外科の郷原が常勤として加わり、更に専門外来・手術件数を充実させる予定である。



病院内での他科との連携においても、がん患者の周術期口腔管理や病棟における口腔ケア活動、摂食嚥下機能評価・訓練などを引き続き積極的に行っている。香椎原病院においても、入院時の無料歯科検診と歯科治療に引き続き取り組んでいきたい。

《2022年度目標》

ビジョン『院内・院外で連携のとれる歯科
常に患者の立場で、より早く、質の高い、誠実な歯科医療を』

戦略テーマ『地域に頼られる病院歯科として存在感を増す』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上 診療環境の改善（特に院外からの紹介患者を考慮）
業務の視点	歯科入院患者に対しての診療の円滑化
学習と成長の視点	接遇向上のための研修会 専門性を高める 他分野との連携強化
財務の視点	他医療機関からの紹介、逆紹介患者を増やす 周術期口腔機能管理の推進

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		2名	2.2名	2.2名
入院	患者数(人)	462	447	888
	新入院(人)	49	55	84
	診療単価(円)	98,369	102,931	95,527
	平均在院日数(日)	9.5	8.2	10.3
外来	患者数(人)	10,679	10,233	9,867
	初診(人)	1,964	1,950	1,913
	診療単価(円)	7,010	7,467	7,930
救急車(台)		0	1	0
紹介(件)		679	767	925
逆紹介(件)		610	586	701
手術件数		49	52	87

..... 病理診断科部長 河野 真司

《2021年度活動報告》

病理診断数は年間4,398件で前年度9%増でした。細胞診は10,165件で3%増でした。確定診断のため免疫・特殊染色までした症例は508件ありました。この他術中迅速が31件、他院標本のレビューが80件ありました。病理学会の外郭団体が主催する免疫染色の外部精度管理（全国で約300施設が参加）は子宮頸癌 HPV マーカーの p16 で適正の評価でした。臨床との合同カンファレンスとしては、泌尿器、消化器、肺、乳腺の cancer board を行っています。新年度4月からは今まで同一日に行っていた肺と乳腺を別々にして、月4回、十分なディスカッションができる体制にしました。



《2022年度目標》

ビジョン『信頼される病理診断』

戦略テーマ『正確・迅速・満足のいく診断の提供』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	病理医2人体制による、より質の高い報告書の提供 納得のいく病理説明 病理診断の患者説明もれ防止の整備
業 務 の 視 点	検査の質の維持 作業環境の改善 がんゲノム検査の整備 検体検査の精度の確保に係る整備
学 習 と 成 長 の 視 点	問題症例の検討 スペシャリストの育成 先進医療への積極的協力
財 務 の 視 点	コスト削減

	2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成	1名	1名	1名

..... 麻酔科部長 下澤 浩基
手術部部長 香取 清

《2021年度活動報告》

2019年に始まり2021年度もCOVID-19により、引き続き大変な年度となりました。そんな状況とは関係なく、手術を受けられる患者さまの年齢は日本人の高齢化とともに上昇する一方であります。

当院ではロボット支援手術を含む、高度な技術を必要とする手術や長時間かかる手術件数は年々増加してきました。2020年度は減少しましたが、2021年度は再び増加に転じました。

麻酔科は昨年通り、渡邊、香取、安部、平井、下澤の常勤医5名体制でした。この体制では、年々増加する麻酔科依頼症例に十分には対応できず、外部からの応援麻酔科医師とも協力し、麻酔科依頼手術症例に対応してまいりました。

心臓などの病気で抗凝固剤を内服しておられる患者さまへの対応として、また、手術をされる先生方の要求に対応するために、エコー装置を用いての神経ブロックにも積極的に取り組んできました。

可能なら手術当日朝まで水分・栄養補給をしていただき、手術前もより安楽に過ごせるようにしました。

手術を受けられる患者さまに、手術前後になるべく痛みが少なく、安全で心配の少ない入院生活を過ごせるように、今後も努めていきたいと考えております。(文責 下澤)



下澤



香取

《2022年度目標》

ビジョン『患者さまのためならいつでも全力投球!!』

戦略テーマ『患者さまの安全と安心を第一に考え、実践する手術室』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	患者安心感提供 患者満足度向上 執刀医満足度向上
業 務 の 視 点	効率的な手術室稼働 安全確保 スタッフ充実リスク回避
学 習 と 成 長 の 視 点	麻酔科・手術室スタッフ満足度向上 麻酔科医師専門性向上 職員満足度向上
財 務 の 視 点	収益増加 医療費削減

	2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成	5名	5名	5名
手術室症例	4,875	4,256	4,382
麻酔科管理症例	3,569	2,984	3,163

呉服町腎クリニック院長 石田伊都子

《2021年度活動報告》

新型コロナウイルス対策を徹底した。5分間の窓開放による換気を30分毎に行った。極寒の時期も換気を徹底した。患者様には防寒具を準備していただき、冬用の布団が間に合った。

高齢化に伴う通院困難のために、送迎サービスのある維持透析施設に変更される方が数名おられる。

2016年11月1日より1巡のみの、完全予約制の巡回バスサービスを行っているが、利用者は少ない。

今年度は転入患者12名であった。新規導入は10名で原三信病院5名、九州大学病院2名、福岡市民病院2名、福岡大学病院1名であった。重松クリニックからの1名は約3ヶ月後に送迎サービスのある施設に転院、やなせ内科医院からの1名は約2ヶ月半後にご自宅近くの施設に転院された。

COVID-19流行を考慮し、旅行透析はお断りした。ゲスト透析は毎週定期的に福岡に出張されている方の水曜日の透析と大島眼科での手術のために大島眼科に入院中の患者のみで、臨時透析回数は年間のべ71回であった。

転出は11名。うち死亡4名（1名は入院中、1名は施設での突然死、1名はご自宅での突然死、1名は悪性腫瘍末期のためご自宅での看取りとなられた）。転院7名は、北九州への転居1名、送迎サービスのある施設へ3名、自宅近くの維持施設へ2名、個人的理由による転院1名であった。

合併症診療は原三信病院に大きく依存している。原三信病院との緊密な連携に感謝している。また、九大病院をはじめとして福岡市民病院、福岡赤十字病院、浜の町病院、九州医療センター、福岡大学病院との連携にも大変お世話になっている。

2022年度は血流測定機能を有するエコー装置が導入となるので、シャント管理のレベルを上げていきたいと考えている。



《2022年度目標》

ビジョン『生存率が高く合併症の少ない透析治療』

戦略テーマ『安全で確実な透析技術』『安全な透析看護』
『コミュニケーションを重視した診療』

		戦 略 目 標	
顧 客 の 視 点		生命予後の改善	
業 務 の 視 点		スタッフの安全性確保 スタッフの満足度向上 安全な機器管理 安全で確実な透析医療の提供	
学 習 と 成 長 の 視 点		質の高い透析の追求	
財 務 の 視 点		患者数維持	

		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
外 来	患 者 数(人)	16,682	15,977	16,430
	診 療 単 価(円)	29,701	29,406	29,658

..... 院長・健康管理センター長 原 直彦
副センター長 菅 理恵

《2021年度活動報告》

2021年度も COVID-19は変異を繰り返しながら猛威を振るい、新規感染者の増減を繰り返し、終息に至ることなく1年を終えました。

しかし、当センターの業務は、昨年の経験を活かし、感染対策を取りながら、安心・安全な健診事業を遂行することが出来ました。最も大きな取組みは、昨年に引き続き、センター内での受診者の方々の密な状況を少しでも回避するため、受付時間、在院時間を分散することでした。この事を徹底することにより、一人の感染者を出すこともなく1年を終えることが出来ただけでなく、待ち時間の短縮にも繋がりました。

年間受診者数も外来は、2019年度の約14,200名から2020年度は、4、5月の減少による影響が大きく13,500名に減少しましたが、今年度は約400名増加。2019年度にはわずかに及ばないものの2018年度とほぼ同数まで回復することが出来ました。一方、入院ドックにおいては、この感染症に関わらず、年々減少傾向であり、今後、その必要性、あり方などについての検討が必要かと思われまます。

この一年、まだまだ従来とは異なる様々な状況の中で、大過なく健診業務を遂行出来たことは皆様のご理解とご協力の賜と心より感謝申し上げます。(文責 原)



原



菅

《2022年度目標》

ビジョン『受診者に満足していただける健診』

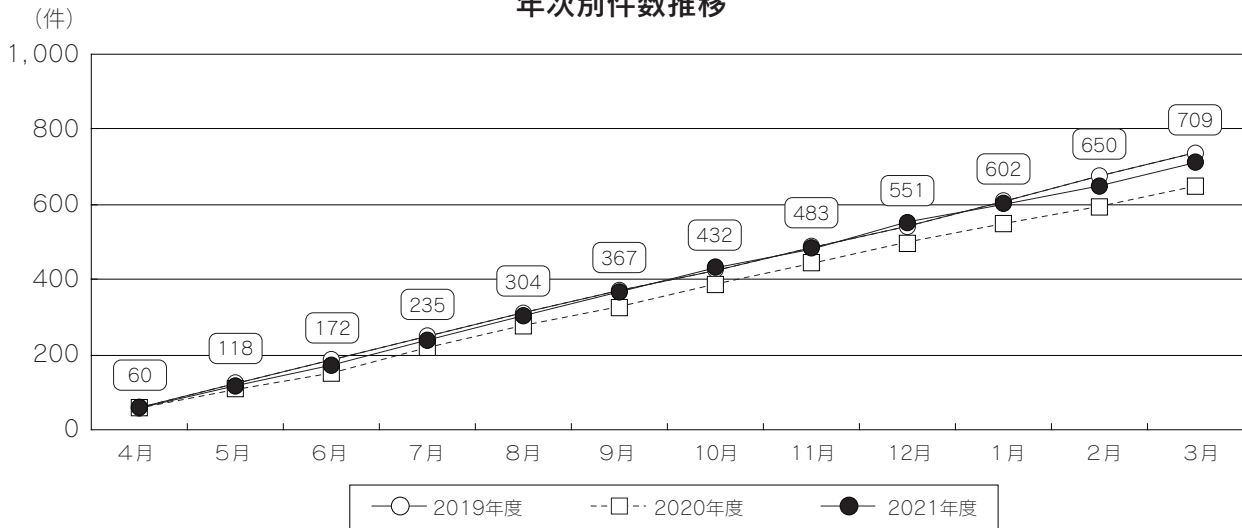
戦略テーマ『健診受診者の確保、良質な健診の提供、人材育成』

	戦略目標
顧客の視点	受診者満足度の向上 信頼と安心の提供
業務の視点	業務の効率化、正確化 健診システムの充実
学習と成長の視点	人材育成 情報の収集、交換、共有
財務の視点	収入増

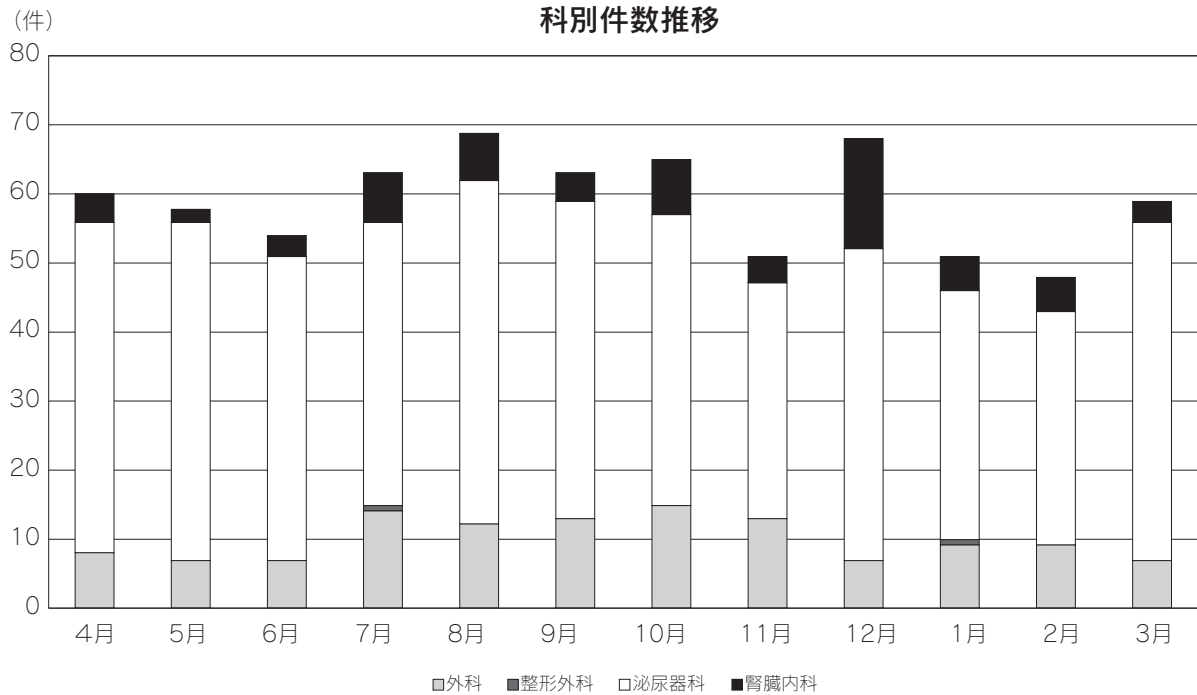
		2019年度	2020年度	2021年度
スタッフ構成		3名	3名	3名
入院ドック (1泊2日)	受診数(人)	85	70	66
	ドック単価(円)	95,311	89,632	93,584
外 来	受診数(人)	14,221	13,545	13,880
	診療単価(円)	22,254	22,419	23,270

..... 日帰り手術センター長 江口 徹

年次別件数推移



科別件数推移



2. 看護部

看護部長 柳迫 昌美

《2021年度活動報告》

2021年度も COVID-19は変異株の変遷に伴い、4月の第4波、7月の第5波、2022年1月の第6波と立て続けて日本全国が感染の脅威にさらされることとなりました。そのような状況の中、看護部も必死で感染防止に努めてまいりましたが、その対応に難渋する一年でした。



COVID-19への対応は、医療機関で勤務する看護師にとって使命だと感じる一方で、陽性者に対応する看護職員にとっては、自身が感染源となり易感染状態の患者の皆様に感染させてしまうのではないかとという恐怖、家庭内にまで持ち込んでしまうのではないかとという不安などのストレスが膨らみ、最終的には退職していく看護職員が増えていったのも事実です。

このような状況が繰り返されれば急性期病院の機能が停止してしまうという危機的状況につながるものが危惧されます。

看護部の活動としましては、働き方改革の一環として、看護師の業務負担軽減と看護補助者の有効活用を目的に、看護補助者の夜間配置を検討しました。

看護補助者を担当している看護部副部長を中心に夜勤導入部署を検討し、残業の多い脳外科・脳神経内科・整形外科病棟と外科・婦人科・消化管内科病棟で看護補助者の夜勤を始めることにしました。看護助手として勤務する看護補助者に対し、「夜勤勤務を導入した場合の夜勤の希望の有無」について意識調査を行い、14名の看護助手が希望を表明してくれました。

人事異動で夜勤を希望している14名の中から人選し、2つの病棟へ異動してもらいました。脳外科・脳神経内科・整形外科病棟には7名の看護助手を配置し毎日1名の夜勤、外科・婦人科・消化管内科病棟には5名の看護助手を配置し週2回の夜勤を導入することができました。トイレ誘導やナースコール対応など夜間も活躍してもらっており、看護師の負担軽減に大いにつながっています。

2022年度は、「働きやすい環境づくり」をテーマに看護部一丸となって更なる改善を図っていききたいと思っております。

看護師の動き

	2019年度	2020年度	2021年度
看護部定数(名)	344	344	344
新入職員(名)	32	32	39
平均年齢(歳)	34	34	34
中途採用者数(名)	30	31	22
産休・育休者数(名)	31	35	41
育休明け復帰者数(名)	9	10	11
退職者数(名)	60	64	65

《2021 年度活動報告》

2021 年度目標

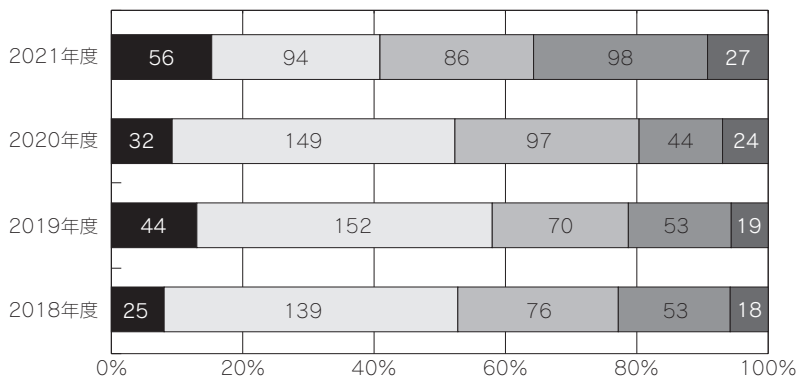
- ①ラダーレベル取得の推進（ラダーレベルの適正化）
- ②日本看護協会ラダーと一致したラダーの運用開始
- ③eラーニングを活用した教育システムの運営
- ④アンケートの効率化（WEB アンケート使用）



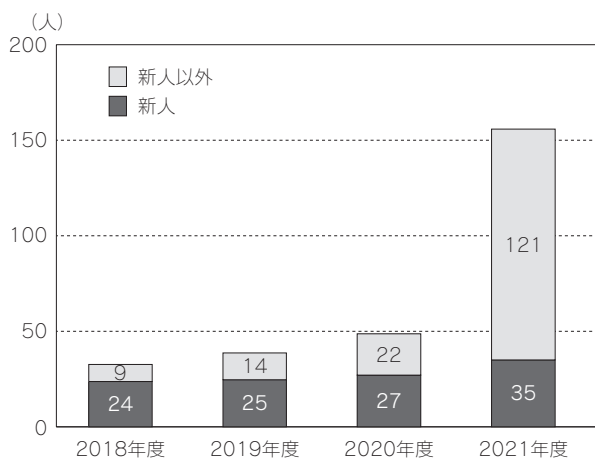
2021 年度より、原三信病院看護部キャリア開発ラダーが改訂され、レベルV 段階となった。それに伴い、レベルV を取得するための研修が新たに開催され、6 名が受講し全員がレベルV を取得出来た。また、スタッフの習熟レベルとラダーレベルに相違があり、必要な研修が受講出来ていない現状があった。その適正化を目的に、必要研修をeラーニングで行い飛び級制を実施した。スタッフの習熟段階に応じた適性レベルとなるとともに、多くのスタッフがeラーニングで学習する機会となった。WEB アンケートは、すべての研修で採用し定着出来ている。

常に COVID-19 の感染拡大に注視し、状況に応じ研修開催を行わなければならない、中止となった研修もあった。次年度は、今年度培った感染対策を十分に考慮し、安定した安全な研修を開催し、スタッフの学ぶ環境を整えたい。

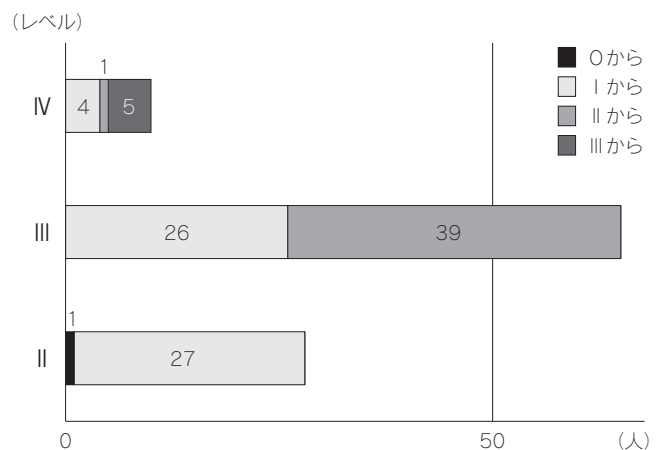
キャリア開発ラダー レベルの推移



新規ラダー取得の内訳



飛び級内訳



2021年度 キャリア開発ラダー研修

レベルⅠを取得するための研修

日 時	テ ー マ	成 果 目 標
4月6日	社会人として 原三信病院職員として	社会人・組織人として自覚を持ち責任を理解することができる
	ストレスと上手に付き合う方法Ⅰ	社会人としてストレスとの向き合い方を知る
	看護倫理について	看護倫理について理解することができる
	R3年度組、キックオフ！	新人時代1年間を仲間と協力しながら乗り越えていく意識をもち、自分の役割を自覚できる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
4月7日	看護部の教育方針と看護体制	キャリア開発ラダーを理解し、自己啓発の必要性を理解することができる
	情報管理	個人情報保護法を理解し、モラルを持って情報管理をする必要性を理解できる
	接遇力を高める第一歩	原三信病院で規定されている身だしなみを知り、社会人としての行動に繋げる
	医療安全の基礎知識	医療安全の基礎知識を学び、起こしやすいエラーについて理解できる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
4月8日	薬剤の基礎知識と医療安全	薬剤取り扱い時の危険性と法的規制を正しく知ることができる
	感染Ⅰ 標準予防策について	感染予防の基本を理解することができる
	感染Ⅱ 針刺し・血液体液暴露防止	針刺し、および血液体液暴露のリスクを理解することができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
4月9日	褥瘡予防Ⅰリスクアセスメント	褥瘡の発生機序とリスクを理解できる
	安心・安全な移乗と 拘縮予防のポジショニング	ベッド上臥床患者の拘縮予防の必要性和、安心・安全な移乗の方法を知ることができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
4月21日	注射スキル (OJT)	筋肉・皮下・皮内注射の注意点を理解し、実施できる
4月28日	血糖測定・インスリン (OJT)	血糖測定の注意点を理解し、実施できる インスリン製剤の特徴と注意点を理解できる
5月12日	滅菌ガウン・滅菌物取扱い (中央)	清潔・不潔を理解し、清潔操作をすることができる
5月19日	重症度、医療・看護必要度 (OJT)	必要度と診療報酬の関係を理解し、正しく必要度をつけることができる
5月21日 →緊急事態 宣言にて9/8 9/9で対象を 2部に分けて 実施 第1会議室	みんなで語ろう	同期と語ることで、情報の共有・気分転換ができる
	褥瘡予防Ⅱ スキンケア	正常な皮膚と脆弱な皮膚の特徴を理解し、皮膚障害を予防するために必要な予防的 スキンケアの基礎知識を習得することができる
	褥瘡・創傷処置の実際 排泄ケア	創傷治癒過程と褥瘡の評価方法：DESIGN-Rを知る おむつの特徴を理解し、患者に合ったおむつを選択、適切な装着・交換を理解できる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
6月9日	吸引スキル (中央)	口腔内・鼻腔内吸引、気管内吸引の正しい方法を知り、安全に実践できる

* OJT 指定のものは、各部署で日時変更可能

6月16日	みんなで語ろう	同期と語り合い、情報の共有・気分転換ができる
	ストレスと上手に付き合う方法Ⅱ	ストレスを溜め込まずに勤務を続ける方法を知ることができる
	リフレクション	看護実践場面を深く振り返る手法を学ぶことができる
	よく使うME機器の基礎知識	ME機器の種類と正しい使用方法を理解する
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
7月14日	導尿スキル (中央)	導尿・膀胱カテーテル留置の注意点を知り、正しく安全に実施する
7月21日	みんなで語ろう	同期と語り合い、情報の共有・気分転換ができる。入社3ヶ月の振り返り
	感染Ⅲ 経路別予防策の実際 医療廃棄物・カテーテル感染	標準予防策に加え、接触・空気・飛沫の感染経路を遮断するための方法を理解でき る。感染性廃棄物とリネン類の取り扱い、環境対策の必要性を理解する
	フィジカルアセスメント	身体のアセスメントをするために必要な基礎的観察の知識と技術を学ぶ
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
8月11日	みんなで語ろう	仲間意識を持ち、ストレス回避方法を考えることができる
	退院支援	退院支援が必要とされる背景と、当院における退院支援のプロセスについて理解で きる
	認知症看護の基礎知識	認知症の理解をし、適切な関わりを知る
	せん妄の基礎知識	せん妄の理解をし、適切な関わりを知る
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
9月15日	BLSスキル (中央)	一次救命処置を学ぶことができる
11月10日	みんなで語ろう	同期と語り合い、入社6ヶ月の振り返りと、次の目標に向け前向きになることが できる
	ストレスと上手に付き合う方法Ⅲ	今自分が抱えているストレスを自覚し、ストレス対処行動をとることができる
	看護倫理Ⅱ	看護倫理を意識することができる
	ACPについて 動画講義	ACPとは何か、何を実践していく必要があるのか知ることができる
	多重課題	優先順位の考え方を理解し、行動に繋げることができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる

日 時	テ ー マ	成 果 目 標
1月12日	みんなで語ろう	ストレスを乗り越え1年間の目標達成にむけ意欲を持つことができる
	ナラティブ	ナラティブレポートを書く準備ができる
	看護過程を再確認	看護過程の振り返りを行い、理解を深めることができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる
3月9日	1年間の振り返りと看護観	1年間のチーム活動を振り返り、成果を確認できる。看護観を深めることができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践に繋げる

レベルⅡを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
2021年 3月25日	ケースレポートの取り組み方	ケースレポートの目的がわかり、自主的に取り組むことができる
8月5日	1G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの方向性を決定できる
8月6日	2G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの方向性を決定できる
10月21日	1G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの取り組みをすすめることができる
10月22日	2G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの取り組みをすすめることができる
12月16日	1G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
12月17日	2G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
2022年 2月19日中止	ケースレポート発表	ケースレポートにより自己の看護の見直し、評価をすることができる
6月30日	看護部長からのメッセージ	やる気をもって仕事に取り組む気持ちを持てる
	看護倫理	看護倫理の場面を想定し、倫理観をもち業務に取り組むことができる
	ACPについて 動画講義 ディスカッションあり	ACPとは何か、何を実践していく必要があるのか知ることができる
	医療安全 KYT	危機を察知できる能力を養う
8月18日	看護を語ろう	看護実践で感じたことを通じて、自身の看護観を認識することができる
	周手術期看護	周手術期の看護を学び、患者が安全に手術室へ向かうための看護に活かせる
	褥瘡・創傷管理・スキンケア2	創傷ケア・スキンケアの基礎知識を知り、看護に活かす事ができる
	「洗浄・消毒・滅菌」 「感染経路別予防策のための リスクアセスメント」	医療器材やケア用品の適切な処理方法を理解し実践できる 感染経路別予防策を実施するために、自部署に合わせた患者配置と対策が実践できる
10月20日	迅速なフィジカルアセスメントで 行う急変予測と対応	解剖学的知識にもとづいた視診、触診の技術を学ぶことができる
		急変までの生体変化や、症状のアセスメント、急変時の対応を理解できる 事例を通じたフィジカルアセスメントの実施により、患者の状態を的確に把握することができる
12月22日	看護研究Ⅰ基礎編	看護研究の必要性を理解できる
	呼吸ケア	人工呼吸器装着中に必要な看護を学び実践に活かすことができる
2月16日→ 中止	アサーショントレーニングⅠ	日頃の自己表現や対人関係を振り返り、効果的なアサーションを学ぶ
	コーチング基礎編	コーチングを学び良好な人間関係を構築するスキルを習得する

レベルⅢを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
7月7日	看護を語ろう	看護実践で感じたことを通じて、看護観の変化や自身の成長に触れることができる
	ストレスマネジメント	メンタルケア能力とコミュニケーション能力の向上を図る 自分自身のメンタルケアができ、他者の変化に気を配ることができる
	ACPについて	ACPとは何か、何を実践していく必要があるのか知ることができる
	看護研究Ⅱ	看護研究を行う上での具体的な方法を学ぶことができる
11月17日	感染管理のリーダーを目指す	自部署の感染防止対策の現状を参加者全員で共有し、リーダーとして取り組むべき課題を具体化できる
	アサーショントレーニング	自己理解を深め、自分の行動・表現パターンを改善・向上することができる
	臨床推論 動画講義 動画内事例検討あり	臨床推論とはどのような思考方法なのかを理解でき、看護師が実施することで得られる利点について考えることができる 具体的方法が理解でき、重要な鑑別診断の方法を考えることができる
10月1日	看護実践に活かす リスクマネジメント	医療事故と安全対策の動向と課題、リスクマネジメントの基本、リスク分析、KYT(危険予知トレーニング)を習得し、リーダーとしての医療安全意識を向上させる

レベルⅣを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
5月19日	看護を語ろう	自分の看護を振り返り、自身の看護観の確認や、他者の看護実践を通した看護観を知り、多様な視点を持つことができる
	ACPについて 動画講義 ディスカッションあり	ACPとは何か、何を実践していく必要があるのか知ることができる
	RIA 事例分析方法を学ぶ	問題解決手法を学び、部署の改善活動ができる
2月9日	RIA 事例対策取り組み報告会	部署での活動内容・成果の最終報告ができる

レベルⅤを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
5月27日	看護を語ろう	自己の看護観を認識するとともに、他者の看護観を知ることで価値観の多様性を理解することができる
	ACPについて 動画講義 ディスカッションあり	ACPとは何か、何を実践していく必要があるのか知ることができる
	PDCAサイクルをまわして 課題に取り組もう	リーダーとして、部署目標の達成に向けたPDCAを回す手段を学ぶ
1月19日	ファシリテーション 動画講義 実践あり	リーダーとしてよりよい会議・話し合いの進め方を学ぶことができる
	地域包括ケア時代の看看連携 動画講義 ディスカッションあり	看看連携の背景と現状を知る 看護ケア体制と診療プロセスにおける看看連携の知識を習得する 看護職の役割と連携の在り方を理解する 医療施設と地域における看看連携を理解する
	看護部長からのメッセージ	キャリアを重ねた自分たちに求められるものを理解できる
	PDCA サイクル実践報告	部署目標の達成に向けた PDCA の成果を発表できる 課題に取り組むプロセスを経験し、結果の共有をすることができる
9月から 12月の間	訪問看護同行研修	在宅医療・看護の実態を知り、退院・在宅支援を推進、または自部署での看護の質の向上に繋げることができる
	病棟看護研修（おおはま用）	病棟看護の実態を知り、自部署の看護の質向上、業務改善に継げる

3. 診療技術部

..... 診療技術部長 中小川 隆

《2021年度活動報告》

技術部の人員は、男性44名、女性67名の111名になりました。

人事では、10月に臨床検査科では和佐野科長の健康管理センターへ異動に伴い山田科長が就任、超音波検査科では宇都宮主任の昇格がありました。

2021年度は4月より病院の土曜診療が休診になり、放射線科、臨床検査科において平日のみではありますが、2交代制を始めました。薬剤科においては2022年1月より当直業務から撤退し、平日は22時までの業務となりました。

また電子カルテが4月より新版になりましたが、現場では大きなトラブルなく移行できたと思います。

7月からは超音波検査と生理検査、3月には放射線検査で既読管理システムを開始しました。

臨床検査科では、4月より院内で行うコロナPCR検査を開始、6月にはコロナNEAR法の院内検査を開始しました。また9月にはコロナPCR検査装置を増設し、現在4検体同時に判定できるようになりました。

更に、新型コロナウイルス対応のワクチン接種も始まり薬剤科は2種類のワクチン管理業務に追われました。

引続き新型コロナウイルスの感染の影響で行動制限もあり、昨年が続いて技術部総会を始め、全体で集まって行う教育研修会など行うことはできませんでした。

新型コロナ感染者や発熱外来の患者は昨年より多い状況でしたが、通常診療の患者も戻ってきた感があり業務が多忙な年でもありました。



《2021年度技術部の主な研修》

技術部総会 : 昨年に続き回覧形式で承認の署名をいただいた。

教育研修会 : “健診でよく見るエコー画像紹介”を院内電子メールで配布し、各自読んでもらう形式で行った。

《技術部だよりの発行》

6月発行 : 新人紹介

11月発行 : コロナ検査、治療薬

3月発行 : 尿路結石画像診断、リハビリ治療器具

《主な行事》

技術部連絡会 : 毎月第3水曜日開催 (人数を制限して開催)

《2022年度診療技術部の目標》

- 1) 精度の高い安全な医療技術の提供
- 2) 人材育成と垣根を超えた体制づくり (部門間交流)
- 3) 感染予防と健康観察

4. 事務部

事務部長 弥永 伸治

《2021年度活動報告》

新型コロナウイルスが国内で猛威を振るい始め2年目に突入した2021年度は、第4波に入り感染の主体は、変異ウイルス（アルファ株）へ置き換わり、政府は4月25日から3回目となる緊急事態宣言を東京、大阪、兵庫、京都の4都府県に発出しました。7月～9月にかけては、第5波に入り、アルファ株以上に感染力が強いとされるインド由来のデルタ株の影響で感染が拡大した。この時期（7月23日～8月8日）は、コロナの影響で1年延期されていた東京五輪が、緊急事態宣言のさなか異例の開催となった。そして、2022年1月からは第6波に入り「オミクロン株」の急拡大となり、1月21日からは、まん延防止等重点措置を東京、愛知など13都府県を対象に追加。さらに1月27日からは大阪や北海道、福岡など18道府県が追加され、感染者数は2月に入っても過去最多を更新し続け、2月3日には全国で10万4472人と初めて10万人を突破し、新型コロナウイルス感染者数が拡大し続けた年となった。



このように新型コロナウイルス感染症拡大の中、対策として当院は積極的にワクチン接種を行う施策を実施し、事務部においては、通常業務とは別にこの重要なワクチン接種業務に、職員全体で協力し対応した一年となった。5月～6月は、近隣医療従事者のワクチン接種（ファイザー）の対応業務、7月からは、福岡市民へのワクチン接種（ファイザー）開始による対応、9月～10月は、職域接種（モデルナ）の対応業務。2022年1月からは、市民への3回目のワクチン接種の対応業務を行った。また、コロナウイルス感染に関する事では、様々な補助金の活用により、請求業務も確実に行った。

通常業務においては、年度初めの4月より、働き方改革への対応のため2交代勤務を事務部として開始した。それから、医師事務作業補助体制の強化による医師の業務支援のため25対1加算の類上げを実施。外来患者さんの流れを明確にし、外来受付の効率化を図るため、外来受付一本化による要員の効率的な配置の実施、病院機能評価受審のための準備、倉庫の賃料（固定費）の見直しによる経費削減等様々な事を実施した。

事務部としては、今後も『患者さんや職員に信頼される事務部』を理念とし、専門知識（技術）の質の向上、バランス（経営）感覚を持った業務への取り組み、組織のコーディネーターとして努力し、患者さんに選ばれる病院になるために、医療従事者としての誇りを持ち、事務部全体で協力し職務にあたっていかなければならない。

《2021年度 事務部研修会活動計画と実施報告》

事務部研修会

開催日	内容	講師
4月28日	TQM報告会(発表部署:臨床研究事務局・外来医事・総務課・健康管理センター)	
5月19日	平理事長講和、アドバンスケアプランニングについて	平理事長、看護部栗秋科長
6月16日	事務部業務計画説明会	各課責任者
7月21日	感染対策研修	ICT委員会 八波
8月18日	救急外来業務・計算について	医事課 北御門科長
9月15日	医療安全研修	看護部 田原科長
10月27日	労働安全研修	総務課 西課長
11月17日	防犯教室 →中止	博多警察署
12月15日	事務部忘年会 →中止	—
1月19日	外部講師による接遇研修 →中止	NCBリサーチ&コンサルティング
2月16日	外部講師による接遇研修 →中止	NCBリサーチ&コンサルティング
—	診療報酬改定について(各自資料、ビデオ視聴)	リンクアップラボ

* TQM 活動報告

- ・ レンタルサービスを使用した省エネルギーへの取り組み 施設課
- ・ 発熱外来患者へのコロナ PCR 検査結果報告と診療録への代行入力 診療支援課
- ・ 「退院サマリー作成に関するガイドンス」公表に伴う
退院サマリー質向上に向けての取り組み 診療情報管理課

医療連携課 **医療連携課課長 加藤 宗一郎**

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する地域での役割として、発熱外来への紹介患者受入れ、他院で急性期入院治療を終えた方の当院地域包括ケア病棟への転院、地域の医療従事者への新型コロナウイルスワクチン接種実施などを積極的に行った。

指定を受けた「地域がん診療連携拠点病院」の業務として、当院で手術治療等を終えた方の、フォローアップをかかりつけ医で実施する「がん地域連携クリティカルパス」がある。前立腺がんのパスは順調に運用件数が増えたが、五大がんのパス運用実績がなかったので、次年度の課題となった。

また、医療従事者へのセミナー実施については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されている期間も長く、感染防止の観点から、ZOOMによるWebセミナーを開催した。地域住民への健康講話を実施することができなかったので、来年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながらなんとか実施して地域住民へ貢献していきたい。



【医療従事者向け研修会】

第10回 がんセミナー (ZOOM 開催)

日 時：2021年10月7日 (木) 18:30～19:30

内 容：①当院における胃がん治療の現状報告 ～手術と化学療法を中心に～

外科主任部長 当 間 宏 樹

②前立腺がん連携パスの現状と今後 ～連携医療機関拡大に向けて～

医療連携課 兼 診療支援課 課長 加 藤 宗一郎

第20回 地域医療連携情報交換会 (ZOOM 開催)

日 時：2021年11月15日 (月) 18:30～19:30

内 容：①地域がん診療連携拠点病院指定について

副院長 がんセンター長 江 口 徹

②手術支援ロボット「ダビンチ」導入から現在までの軌跡

泌尿器科 主任部長 横 溝 晃

③当院における放射線治療の現状

放射線科 顧問 寺 嶋 廣 美

企画情報室室長 藤原 勝

《2021年度活動報告》

2021年度は新型コロナウイルス感染症の継続的な蔓延から様々な対応を迫られた1年だった。福岡市の感染症のフェーズに合わせた病床整備、新型コロナワクチン接種（一般・職域）への対応、発熱外来の設置・運用などにかかわった。今年度こそアフターコロナに向けた取り組みを患者さんや地域の医療機関の視点で活動が行えるよう準備を進めたい。企画情報室ではコンサルタントを入れた院内改善への取り組みがスタートし、各部門とのヒアリングを実施している。これらの改善や取り組みが、今季、実を結ぶよう微力ながら頑張りたい。



また2022年2月24日ロシアによるウクライナ侵攻は、世界的に大きな出来事となり少なからず医療への影響も見られ、今季へ不安が残るが、患者さんにとって安心して当院を受診していただけるよう各方面のサポートをしていきたい。

I. 診療体制

- 1. 断らない医療
 - 2. がん診療への対応
 - 3. AoC (Advanced therapy of Common disease) の拡充
 - 4. 高度急性期医療への取り組み
 - 5. 臓器別診療の推進
- ・時間外診療体制の改革
 - ・原三信病院がんセンターの設立
 - ・地域がん診療連携拠点病院の実績強化
 - ・ハイケアユニット (HCU) 設置の検討
 - ・臓器別センター化

II. 病院体制

- 1. 患者支援と診療支援の強化
 - 2. 感染症対策
- ・地域包括ケア病棟の活用
 - ・連携パスの拡大
 - ・安全な感染体制の実施／新型コロナ病棟継続
 - ・新型コロナワクチン基本型接種施設

III. 教育・人材

- 1. 配置要員の効率化
 - 2. 病院組織力の向上
 - 3. 職員サポートの充実
- ・外来事務要員の効率化
 - ・看護師配置の再検討／医師定数見直し
 - ・院内コンプライアンスの遵守
 - ・医療・健康サポート体制の拡充（健康経営）

IV. 建築設備

- 1. 事業継続計画対策
 - 2. 病院設備の更新
- ・BCP 対策委員会の活動
 - ・建物ライフラインの保全継続

V. 収入・財務

- 1. 増収対策
 - 2. 経費の削減
- ・加算の取得（類上げ）／新入院患者の確保
 - ・コスト意識改革

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	委員会名	委員長名	委員数	開催頻度	活動内容
倫理管理	医療倫理委員会	原 直彦 (院長)	9	必要時	・医療行為を実施するにあたり、医の倫理ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的な医療を図る。個人情報保護法に施行に対する患者及び職員の情報管理
	治験審査委員会	林 真 (副院長)	13	1回/月	・薬機法、GCP 省令等関係法規に準じた治験の実施および治験の継続に関する審議を行う
	臨床研究倫理審査委員会	林 真 (副院長)	13	1回/月	・臨床研究法、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等に準じた臨床研究の実施および継続に関する審議を行う
安全管理	労働安全衛生委員会	林 真 (副院長)	9	1回/月	・職員の労働災害などの防止並びに労働衛生の向上に関する事項を審議決定 ・医療ガスの安全管理、知識の普及及び啓発 ・職員の禁煙活動を推進し、健康増進を図る
	医療安全管理対策委員会 院内感染防止対策委員会	原 直彦 (院長)	19	1回/月	・医療の方向性や医療レベルを維持・管理するため、医療事故を防止するための対策検討 ・病院内感染の予防と対策
教育管理	教育研修委員会	林 真 (副院長)	16	1回/月	・病院職員教育研修に関する検討と実施 ・海外/国内研修などに関する検討と実施 ・病院図書の管理及び図書室の円滑な運営に関する検討 ・医学総会開催準備
品質管理	保険診療記録委員会	林 真 (副院長)	22	1回/月	・保険診療に関する事項の検討 ・診療録記載、退院要約、各種文書に関する事項の検討 ・過誤、査定対策 ・院内がん登録報告 ・電子カルテ/オーダーリングシステム/画像システムの運用改善及び機能の検討 ・サーバーシステムの管理 ・クリニカルパス検討会の定期開催、クリニカルパスの推進
業務管理	病院管理委員会	江口 徹 (副院長)	46	1回/月	・患者さんの満足と安心の向上を図ることを目的とした活動 ・外来運営に関わる検討(外来支援システム、新患予約、救急外来) ・病棟運営に関わる検討(効率的なベッドコントロール、医療連携の充実、在院日数短縮など円滑な病床運営を目的とする) ・病院機能評価受審・取得にむけた検討
広報連携	広報・連携委員会	武井 実根雄 (泌尿器科部長)	15	1回/月	・院外広報誌・年報・各パンフレットの編集・発行、ホームページ作成など、病院広報に関する全般 ・地域医療機関、地域住民への貢献についての検討
専門部門	NST委員会	藤木 富士夫 (脳神経内科部長)	33	1回/月	・栄養管理の実践と指導・教育や新しい知識・技術の習得 ・食事計画、調査、改善等食事に関する必要な事項を検討し、患者に対して適切な食事を提供する
	WOC委員会	武井 実根雄 (泌尿器科部長)	25	1回/月	・委員会内での専門分野における勉強会を開催 ・褥瘡発生表を元に先月新たに発生した患者の報告、発生率、保有率、褥瘡ハイリスク患者加算の統計発表 ・褥瘡対策の研修会の開催(1回/年) ・症例報告・新規情報の提供・褥瘡予防に必要な物品の管理
	手術室運営委員会	香取 清 (手術部部長)	22	1回/2ヶ月	・手術室の運営についての検討 ・各科手術症例数報告 ・全身麻酔実績報告 ・手術室RIA検討 ・手術室稼働報告
	検査運営委員会	市來 俊弘 (循環器科主任部長)	16	1回/月	・検査運営の効率化の検討 ・画像の適用運用を検討し、業務改善につながる問題点などを収集及び分析する
	放射線障害予防委員会	寺嶋 廣美 (放射線科顧問)	10	2回/年	・放射性同位元素、放射線発生装置及びエックス線装置の使用並びに管理に関する事項への取り組み
	薬事運営委員会	高木 陽一 (呼吸器科部長)	18	1回/月	・ジェネリック医薬品採否の検討 ・医薬品適正使用、医薬品情報提供について(副作用報告収集を含む) ・医薬品採否の検討 ・がん化学療法に関する検討
	輸血療法委員会	上村 智彦 (血液内科主任部長)	13	1回/2ヶ月	・輸血製剤の適正使用の推進、管理体制の構築と見直し、文書関連の再編等を具体的に検討する
	リハビリテーション委員会	庄野 禎久 (脳神経外科部長)	13	3回/年	・リハビリテーション科実績報告 ・リハビリテーション科合同運営進捗状況報告 ・新規リハビリテーション業務の立ち上げ ・診療報酬改定に伴うシステムの変更
	ME機器・医材管理委員会	廣田 伊千夫 (胸部外科部長)	11	1回/月	・ME機器・医材に関して新商品紹介・サンプリング・評価・採否の決定 ・ME機器修理報告 ・ME機器・医材管理委員会での決定事項の報告
	DPC委員会	江口 徹 (副院長)	10	1回/月	・適切かつ効率的なDPCコーディングの検討 ・診断及び治療方針の適正化、標準化の検討および院内周知 ・DPCコーディングカンファレンスの開催および報告 ・DPC関連調査に係る各様式・ファイルの検討 ・その他、DPC業務に係る課題に関すること
	緩和ケア委員会	野口 賢一 (肝胆膵内科部長)	19	1回/月	・入院：緩和ケアチームとしての実践(診療加算算定) ・外来：緩和ケア外来の運営 ・症例検討 ・緩和ケア研修会運営
	原三信病院がんセンター	江口 徹 (副院長)	11	必要時	・がんセンターボードについて ・がん手術件数について ・薬物療法について ・放射線治療について ・地域がん診療連携拠点病院について

● 医療倫理委員会

- 開催頻度 必要時

- 構成メンバー

委員長	原 直彦(院長)
委員	江口 徹(診)、林 真(診)、河野 真司(診)、柳迫 昌美(看)、西 弘樹(事) 光安 正哉(佐藤・林法律事務所)、オブザーバー 平 祐二(診)
事務局	弥永 伸治(事)
書記	弥永 伸治(事)

- 主な議題

- ・腹壁癒痕ヘルニアに対する術前気腹法の適応について (外科)
- ・倫理研修会：2021年9月1日～2021年10月31日 (eラーニング)
「病院で働く職員に向けた臨床倫理 ～第2回インフォームド・コンセントと診療辞退～」

● 治験審査委員会

- 開催頻度 1回/月

- 構成メンバー

委員長	林 真(副院長)
委員	高木 陽一(診)、当間 宏樹(診)、野口 賢一(診)、宮崎さとみ(看)、藤 美佐代(看)、栗崎 順子(技) 松井勇二郎(技)、西 弘樹(事)、宮本 亮(事)、川上 優(事)、武井 信介(福岡市医師会) 光安 正哉(佐藤・林法律事務所)
事務局	柴田 房美(事)
書記	柴田 房美(事)

- 主な議題

- ・新規依頼治験審議 (2021年度)
 - ・泌尿器科 : 4件
 - ・消化管内科 : 1件
 - ・血液内科 : 1件
- ・治験、製造販売後臨床試験の審議内容
 - ・新規治験の実施可否の審議
 - ・安全性情報の報告および治験継続の審議
 - ・治験実施計画書等の変更の報告および治験継続の審議
 - ・治験実施状況の報告および治験継続の審議
 - ・治験終了の報告

● 臨床研究倫理審査委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(副院長)
委員	高木 陽一(診)、当間 宏樹(診)、野口 賢一(診)、宮崎さとみ(看)、藤 美佐代(看)、栗崎 順子(技) 松井勇二郎(技)、西 弘樹(事)、宮本 亮(事)、川上 優(事)、武井 信介(福岡市医師会) 光安 正哉(佐藤・林法律事務所)
事務局	柴田 房美(事)
書記	柴田 房美(事)

●主な議題

- ・臨床研究を実施・継続することの倫理的、科学的見地からの妥当性に関する審議
 - ・新規審議案件 [2021年度]
 - ・泌尿器科：8件
 - ・血液内科：4件
 - ・看護部：5件
 - ・肝胆膵内科：1件
 - ・呼吸器科：1件
 - ・脳神経内科：1件
 - ・脳神経外科：1件
 - ・外科：1件
- ・研究実施中案件の研究継続に関する審議
 - ・泌尿器科：17件
 - ・血液内科：7件
 - ・看護部：5件
 - ・呼吸器科：2件
 - ・消化管内科：1件
 - ・循環器科：1件
 - ・脳神経外科：1件

● 労働安全衛生委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(副院長)
委員	江口 徹(診)、下澤 浩基(診)、谷村 明美(看)、永井 智子(看)、大野 聡子(看)、永松 幸(看) 久保田景子(技)、高尾 秀明(技)、橋本 俊介(事)、神木 秀人(事)
事務局	西 弘樹(事)
書記	野田 一美(看)
下部組織	医療ガス安全管理/院内禁煙推進委員会

●主な議題

- ・時間外労働について
- ・年次有給休暇の確実な取得
- ・長時間労働における労働者の健康障害の防止について
- ・病气療養者への対応について
- ・心の健康問題により休業した労働者の復帰支援について
- ・2021年職員健康診断について
- ・労災発生状況について
- ・ハラスメントについて
- ・医師の働き方改革への対応

医療安全管理対策・院内感染防止対策委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	原 直彦(院長)
委員	平 祐二(診)、内藤 誠二(診)、江口 徹(診)、林 真(診)、武井実根雄(診)、当間 宏樹(診) 谷合 啓明(診)、柳迫 昌美(看)、田原 恒(安)、中小川 隆(技)、河野 祐子(技)、嶽本 洋(技) 弥永 伸治(事)、泉 敏郎(事)、矢野 浩一(香)
事務局	藤原 勝(企)
書記	田代 信司(企)、平原 俊吾(企)
下部組織	リスクマネジメント委員会(RMT)
委員長	当間 宏樹(外科主任部長)
委員	原 直彦(診)、山本 光孝(診)、田竈 祥子(診)、田原 恒(安)、藤川 暢子(看)、金子 浩子(看) 永井 智子(看)、津村 礼(看)、八波 隼(感)、河野 裕子(技)、嶽本 洋(技)、石崎 律子(技) 石橋 誠史(技)、高尾 秀明(技)、廣門 将一(技)、泉 敏郎(事)、和佐野智美(事)、加藤宗一郎(事) 平原 俊吾(企)、白石 義則(事)、相川麻衣子(事)
書記	飯盛 修一(事)
下部組織	感染制御チーム(ICT)
委員長	谷合 啓明(総合診療科部長)
委員	藤井 圭(診)、浦 和也(診)、八波 隼(感)、村岡 弘恵(看)、藤川 暢子(看)、井上 麻紀(看) 久保田景子(技)、川波 詩絵(技)、山田 一博(技)、長野 文子(技)、永島 浩(技)、神崎 達也(事)
書記	宇野 尚和(事)

●主な議題

医療安全管理対策委員会 (RMT)

- ・インシデント/アクシデント報告件数 (RIA 件数報告)
- ・2021年度年間報告
- ・救急外来でのハリーコール対応について
- ・ポータブルレントゲンについて
- ・留置針被覆保護剤(テガダーム)の使用について
- ・輸液セットの逆止弁と側管の位置について
- ・病棟の服薬管理(冷所保存も含め)について
- ・予期せぬ死亡事例について
- ・DCとAEDの設置場所の再検討について
- ・MRIの入室ルール検討について
- ・医療安全ラウンド報告
- ・ハリーコール訓練報告
- ・医療安全ラウンド(相互チェック)報告
- ・2021年度全職員対象医療安全研修について
第1回目テーマ:「安全を優先させる」
第2回目テーマ:「医療安全の3本軸」
- ・医療安全主催研修会報告

・医療事故発生報告(事例報告)

- ①コンビニでの転倒の事例
- ②トロッカー挿入後、装置に引っ掛け抜去の事例
- ③スパイラルチューブがクランプされていなかった事例
- ④せん妄によるチューブ類の自己抜去の事例
- ⑤医療機器転落による受傷の事例
- ⑥手術中に異物混入の事例
- ⑦心カテ室搬入のバッティングの事例
- ⑧穿刺による神経損傷の事例
- ⑨嘔みつきの事例
- ⑩薬剤(高張性脱水症)の事例
- ⑪麻酔導入時の誤嚥の事例
- ⑫ハリーコールの発報なしの事例
- ⑬手術体位による神経損傷の事例
- ⑭手術器具による熱傷の事例

院内感染防止対策委員会 (ICT)

- ・感染関連状況報告
- ・長期使用患者報告
- ・抗菌剤使用状況報告
- ・新型コロナウイルス感染症関連について
 - ①新型コロナウイルス検査と結果
 - ②本館5階病棟 稼働状況報告
 - ③隔離解除と転棟判断基準
 - ④面会について
- ・2021年度 インフルエンザワクチン接種
- ・2021年度第1回全職員対象院内研修について
第1回目テーマ:「感染管理」Ver.1
第2回目テーマ:「感染管理」Ver.2
- ・感染防止対策加算 地域連携報告
- ・新型コロナウイルス陽性者発生状況報告
本館4階病棟
東館7階病棟

● 教育研修委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(副院長)
委員	平 祐二(診)、上村 智彦(診)、古藤 和浩(診)、田原 恒(看)、山田恵理子(看)、八波 隼(看) 中小川 隆(技)、廣門 将一(技)、弥永 伸治(事)、秦 里美(事)、田代 信司(企)、山田 一博(技) 宮本 亮(事)、大久保加奈子(事)、小柳侑里加(事)
事務局	藤川 暢子(看)
書記	渡邊真理子(事)
下部組織	医学総会準備委員会
委員長	市來 俊弘(循環器科主任部長)
委員	片岡 恵子(診)、永井 智子(看)、山田恵利子(看)、松島 毅(技)、吉武 靖展(技)、原 成孝(事) 宇野 尚和(事)、福吉 祥(香椎)、初田 憲昭(香椎)
事務局	藤原 勝(企)、田代 信司(企)、齋藤 栄介(企)、上野 綾華(企)、諸石 奈々(企)

●主な議題

- ・全体研修(倫理・安全・感染・接遇・褥創)に関すること
- ・接遇に関すること(e-ラーニングについて)
- ・昇格者研修に関すること
- ・新人研修に関すること
- ・中途採用者研修に関すること
- ・ACLS・ICLS研修会に関すること
- ・国内研修に関すること
- ・第27回医学総会に関すること
- ・図書に関すること

●2021年度 主な研修実績

昇格者研修	7月7日 科長3名 主任8名出席
新人研修	4月
中途者研修	4月22日23日(第1回) 12月9日10日(第2回)
接遇研修	6月～7月動画講義(e-ラーニング)
医学総会	10月21～23日

● 保険診療記録管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(副院長)
委員	藤本富士夫(診)、武井実根雄(診)、当間 宏樹(診)、高崎 実(診)、上徳 豊和(診)、下釜 里美(看) 山田恵理子(看)、津村 礼(看)、石崎 律子(技)、廣門 将一(技)、石橋 誠史(技)、岩本 博義(技) 河北 俊和(技)、橋本麻里奈(技)、加藤宗一郎(事)、北御門智之(事)、隅田 幸恵(事)、神崎 達也(事) 齋藤 栄介(企)、長峰麻衣子(企)
事務局	平原 俊吾(企)
書記	溝部 かな(企)

●主な議題

- ・電子カルテ運用上の問題解決
- ・新版カルテ稼働後の調整
- ・医師カルテ質的監査報告
- ・クリニカルパス検討会準備
- ・定例報告(査定、退院サマリー、入院診療計画書、カルテ記載)
- ・メンテナンス、障害報告

● 病院管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	江口 徹(副院長)
委員	林 真(診)、武井実根雄(診)、庄野 禎久(診)、真崎 拓朗(診)、宮崎 薫(診)、高崎 実(診) 野口 賢一(診)、柳迫 昌美(看)、村岡 弘恵(看)、宮崎さとみ(看)、谷村 明美(看)、金子 浩子(看) 下釜 里美(看)、野田佳代子(看)、川崎美智子(看)、寺脇 深香(看)、山田恵理子(看)、永井 智子(看) 松永 享子(看)、大無田一平(看)、矢嶋 光江(看)、大田 敏枝(看)、藤 美佐代(看)、矢羽田こずえ(看) 山田香須美(看)、森 美穂(看)、中小川 隆(技)、石崎 律子(技)、廣門 将一(技)、石橋 誠史(技) 岩本 博義(技)、河野 祐子(技)、久保田景子(技)、山田 一博(技)、弥永 伸治(事)、泉 敏郎(事) 藤原 勝(企)、田代 信司(企)、加藤宗一郎(事)、平山 憲史(事)、北御門智之(事)、宮本 亮(事) 飯盛 修一(事)、小野 敬太(事)
事務局	原 成孝(事)
書記	福永 善夫(事)
下部組織	病床運営委員会
委員長	柳迫 昌美(看護部部長)
委員	村岡 弘恵(看)、谷村 明美(看)、金子 浩子(看)、下釜 里美(看)、村上 あい(事)
下部組織	病院機能評価委員会
委員長	当間 宏樹(外科主任部長)
委員	平 祐二(診)、江口 徹(診)、林 真(診)、原口 和大(診) 看護部(科長以上全員)、技術部(科長以上全員)、事務部(主任以上全員)、企画情報室(主任以上全員)
書記	小野 敬太(事)

●主な議題

〔病床運営委員会〕

- ・病床利用率について
- ・個室免除現状報告について
- ・週末の病床管理について

〔病棟運営委員会〕

- ・退院通知時間について
- ・病棟運営にかかわるもの全般

〔病院機能評価プロジェクト〕

- ・受審内容検討および受審準備

〔外来運営委員会〕

- ・外来患者の動線について
- ・来院者駐車場について

〔時間外運営(救急)委員会〕

- ・時間外診療運用について
- ・救急車搬送件数について
- ・救急車搬送お断り事例について

● 広報・連携委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	武井実根雄(泌尿器科部長)
委員	山本 光孝(診)、原口 和大(診)、宮崎さとみ(看)、田原 恒(看)、金子 浩子(看)、那須百合美(看) 花野 絵美(技)、吉田 幸代(技)、宇野 尚和(事)、齋藤 栄介(企)、衛藤千亜紀(事)
事務局	加藤宗一郎(事)
書記	川上 勝(事)

●主な議題

- ・紹介、逆紹介、救急車件数報告
- ・ホームページ診療科別アクセス件数報告
- ・院外広報誌、ホームページに関する検討
- ・その他、検討事項

● NST委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	藤木富士夫(脳神経内科部長)
委員	深水 豊(診)、藤井 圭(診)、田籠 祥子(診)、小野田慈美(診)、永井 智子(看)、黒田 豊子(看) 藤永 円香(看)、嶋本 瑞穂(看)、倉光美智子(看)、丹部 春音(看)、古賀 諒子(看)、上田麻由香(看) 栗崎 淳子(技)、四ヶ所里穂(技)、長岡 実咲(技)、高橋 大(技)、高楊 ゆき(技)、原 繰留美(技) 木原 唯(技)、古賀 玲央(技)、伊藤 香子(技)、村上 あい(事)
事務局	石崎 律子(技)
書記	花野 絵美(技)
臨時メンバー	寺脇 深香(看)、川崎美智子(看)、松田 弘子(看)、西 弘樹(事)、岩瀬きらら(事) 日清医療食品(福森加奈恵、廣田 豪、重松 孝則)

●主な議題

- ・回診報告
- ・情報提供
- ・勉強会実施
- ・給食委員会報告

● WOC（褥瘡）委員会

●開催頻度 1回/月（第2水曜日）

●構成メンバー

委員長	武井実根雄（泌尿器科部長）
委員	橋爪健太郎（診）、庄野 禎久（診）、山本 光孝（診）、藤本富士夫（診）、志賀健一郎（診）、谷村 明美（看） 宮川みどり（看）、古川 寛子（看）、恒松 玲奈（看）、野口 瑞月（看）、平野あいみ（看）、岡松ゆう貴（看） 盛永 典子（看）、峯 千佳子（看）、吉川 清美（看）、山崎 瑠華（看）、稲富 実帰（看）、岩本 詩織（看） 富安 美紀（看）、矢野 成美（技）、瀬川 洗太（技）、木原 唯（技）
事務局	黒田 豊子（看）
書記	立分 恵梨（事）

●主な議題

- ・委員会内での専門分野における勉強会を開催
- ・褥瘡発生表を元に先月新たに発生した患者の報告、発生率、褥瘡ハイリスク患者ケア加算の統計発表
- ・症例報告
- ・新規情報の提供
- ・褥瘡対策研修会の運営
- ・褥瘡予防に必要な物品の管理

● 手術室運営委員会

●開催頻度 1回/2ヶ月

●構成メンバー

委員長	香取 清（手術部部長）
委員	下澤 浩基（診）、渡邊 隆郁（診）、安部伸太郎（診）、当間 宏樹（診）、高崎 実（診）、片岡 恵子（診） 真崎 拓郎（診）、庄野 貞久（診）、満生 浩司（診）、山本 光孝（診）、小野田慈美（診）、稲富 実帰（看） 穴井 祐介（看）、木下 鈴子（看）、田島 浩介（看）、松永 享子（看）、村岡 弘恵（看）、東田加奈子（看） 松浦 修平（技）、丸岡 佳奈（技）、矢田 梨花（技）、加藤 致（技）、西 弘樹（事）
事務局	藤川 暢子（看）
書記	宮園 江美（事）

●主な議題

- ・手術件数、麻酔科依頼手術件数報告
- ・インシデント、アクシデント報告
- ・手術室稼働状況報告
- ・手術室運営基準・マニュアル改訂報告
- ・手術室運営委員会メンバー再考（手術室使用診療科全科出席のための委員再考）
- ・手術室年末訓練実施の報告（婦人科協力あり）
- ・コロナ禍手術室体制
- ・その他

● 検査運営委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	市来 俊弘(循環器科主任部長)
委員	河野 真司(診)、林 真(診)、小松 潔(診)、田中 厚生(診)、阿部 立郎(診)、中小川 隆(技) 加藤 致(技)、吉武 靖展(技)、竹谷 剛(技)、川崎美智子(看)、下釜 里美(看)、北御門智之(事) 村上 浩代(事)
事務局	山田 一博(技)
書記	江島 浩明(技)

●主な議題

- ・外注コロナ PCR 結果入力変更について
- ・静脈血液ガス測定項目設定
- ・誘発筋電図検査、部位名称変更
- ・RI 検査オーダー新設
- ・尿素呼気試験、注意事項の変更
- ・臨床検査外部精度管理調査結果報告
- ・造影 CT 検査説明書の表示について
- ・MRI 検査問診票の追加、変更

● 放射線障害予防委員会

●開催頻度 2回/年

●構成メンバー

委員長	寺嶋 廣美(放射線科顧問)
委員	田中 厚生(診)、田原 恒(看)、中小川 隆(技)、松島 毅(技)、岩本 博義(技) 大津 宏仁(技)、橋本 俊介(事)
事務局	生田 康明(技)
書記	西 弘樹(事)

●主な議題

第1回

I) 議事録確認

II) 報告事項 (2021年度上半期)

1. 業務従事者及び診療従事者の登録について
2. 教育訓練実施報告について
3. 2021年度健康診断受診状況について
4. 業務従事者の個人被ばく線量測定結果と評価について
5. 施設点検及び漏洩線量測定について
6. 放射線医療機器等の新設・更新・移転及び管理区域廃止について (2021年度上半期)
7. その他

III) 議題

1. 業務改善 (PDCA サイクル) について
2. 教育訓練について (2021年度下半期)
3. その他

第2回

I) 議事録確認

II) 報告事項 (2021年度下半期)

1. 業務従事者及び診療従事者の登録について
2. 教育訓練実施報告について
3. 2021年度健康診断受診状況について
4. 業務従事者の個人被ばく線量測定結果と評価について
5. 施設点検及び漏洩線量測定について
6. 放射線医療機器等の新設・更新・移転及び管理区域廃止について (2021年度下半期)
7. その他

III) 議題

1. 業務改善 (PDCA サイクル) について
2. 教育訓練について (2022年度上半期)
3. 書記業務交替について
4. その他

● 薬事運営委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	高木 陽一(呼吸器科部長)
委員	江口 徹(診)、林 真(診)、廣田伊千夫(診)、永野 賢(診)、上村 智彦(診)、宮崎 薫(診) 柳迫 昌美(看)、田原 恒(看)、横田 宜子(看)、中小川 隆(技)、栗崎 淳子(技)、田邊 順子(技) 藤原 勝(企)、大久保加奈子(事)、岡本真由香(事)
事務局	河野 祐子(技)
書記	久保田景子(技)
下部組織	医薬品安全管理委員会
委員長	高木 陽一(呼吸器科部長)
委員	江口 徹(診)、林 真(診)、廣田伊千夫(診)、永野 賢(診)、上村 智彦(診)、宮崎 薫(診) 柳迫 昌美(看)、田原 恒(看)、横田 宜子(看)、中小川 隆(技)、栗崎 淳子(技)、久保田景子(技) 藤原 勝(企)、大久保加奈子(事)、岡本真由香(事)
書記	田邊 順子(技)
下部組織	がん化学療法委員会
委員長	上村 智彦(血液内科部長)
委員	江口 徹(診)、横溝 晃(診)、原口 和大(診)、青木 孝友(診)、奥村 幹夫(診)、高木 陽一(診) 川崎美智子(看)、横田 宜子(看)、豊永万紀子(看)、為田 実瑠(看)、外園 春香(看)、福井 康子(看) 住村 結花(看)、永田 仁美(看)、福田 梨乃(看)、田邊 順子(技)、市丸沙和子(技)、隅田 幸恵(事)
書記	久保田景子(技)

●主な議題

- ・医薬品の採否検討
- ・ジェネリック医薬品の採否検討
- ・仮採用薬剤の検討
- ・医薬品情報の報告
- ・院内採用薬 期限切迫品・廃棄報告
- ・院内副作用報告
- ・医薬品・医療機器安全性情報報告
- ・抗癌剤情報
- ・抗癌剤プロトコールシステムについて
- ・新規プロトコールについて
- ・化学療法に関する副作用報告
- ・外来化学療法室運用状況
- ・癌化学療法認定看護師活動報告

● 輸血療法委員会

●開催頻度 1回/2ヶ月

●構成メンバー

委員長	上村 智彦(血液内科主任部長)
委員	青木 孝友(診)、廣田伊千夫(診)、野口 賢一(診)、横田 宜子(看)、村岡 弘恵(看)、稲富 実婦(看) 矢羽田こずえ(看)、伊津野 瞳(看)、藤本 舞(技)、四ヶ所里穂(技)、隅田 幸恵(事)
事務局	松井勇二郎(技)
書記	城成 加奈(技)

●主な議題

- ・院内輸血マニュアル改訂について
- ・2020年血液センターにおける血液製剤副作用報告
- ・血液製剤使用状況・破棄報告
- ・院内における輸血副作用報告
- ・血液製剤のWEB発注について
- ・依頼製剤表記名・表示順変更について

● リハビリテーション委員会

●開催頻度 2回/年

●構成メンバー

委員長	庄野 禎久(脳神経外科部長)
委員	野間 秀哉(診)、永野 賢(診)、高木 陽一(診)、藤井 圭(診)、高根澤 睦(診)、永井 智子(看) 野田佳代子(看)、山田恵理子(看)、大無田一平(看)、田代 信司(企)
事務局	石橋 誠史(技)
書記	斉藤 吉男(技)

●主な議題

- ・リハビリテーション科実績報告
- ・がんリハビリテーション実績報告
- ・心大血管リハビリテーション実績報告
- ・リハビリテーション科合同運営進捗状況報告
- ・地域包括ケア病棟実績報告 など

● ME 機器・医材管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	廣田伊千夫(胸部外科部長)
委員	金子 浩子(看)、新藤亜佑実(看)、八波 隼(看)、窪山 洋平(看)、宇都宮里美(技)、鈴木 健太(事) 北御門智之(事)、川上 優(事)
事務局	嶽本 洋(技)
書記	永露 雄志(技)

●主な議題

■新規採用

ミルキーフィットグローブ、コンカルチューブ、ベルトプラテ831、どこでもすいマット、ハッピーキャス16G、手指消毒剤サニサーラ、ブラケット、ウルトラプロII、アクアセル Ag アドバンテージ

■サンプリング

プラスチックグローブさくら、呼吸回路 TSA キット、心電図用電極バーメットカーボンクリア、テタガダム IV コンフォートフィルムドレッシング、透析用処置セット、検査用ゼリー、ミゼアセーフ X、メディカルキャップ

■切り替え

NS アルファシート、滅菌ガーゼステラーゼ、JMS 輸液セット、プラスチックグローブセンシケア

● DPC委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	江口 徹 (副院長)
委員	林 真 (診)、野田佳代子 (看)、久保田景子 (技)、北御門智之 (事)、隅田 幸恵 (事)、村上 あい (事) 平原 俊吾 (企)
事務局	長峰麻衣子 (企)
書記	興梠 瑞季 (企)

●主な議題

- ・ 部位不明・詳細不明コード、未コード化傷病名使用率報告
- ・ コーディング検討
- ・ DPC コーディングカンファレンスの開催・報告
- ・ 医療機関係数の報告
- ・ DPC 影響調査に係わる報告

● 緩和ケア委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	野口 賢一 (肝胆膵内科部長・緩和ケア担当医専任)
委員	江口 徹 (診)、西浦 研志 (診)、藤井 圭 (診)、志賀健一郎 (診)、丸岡 諒平 (診)、穴井 諭 (診) 百合野彩乃 (診)、染矢麻衣子 (看)、横田 亜水 (看)、真崎加奈子 (看)、三谷 洋子 (看)、花野 絵美 (技) 田邊 順子 (技)、河北 俊和 (技)、迫田 知子 (技)、井上 慧 (事)、里山 仁美 (事)
事務局	栗秋佐智恵 (看)
書記	小野 敬太 (事)

●主な議題

- ・ 症例検討
- ・ 福岡県がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会での取り組み報告
- ・ 緩和ケア研修会の運営
- ・ ピアレビューの実施 (朝倉医師会病院、福大筑紫病院)
- ・ 緩和ケア診療加算、個別栄養食事管理料加算、新規介入件数報告
- ・ 麻薬使用量報告
- ・ アドバンスケアプランニングの進行状況、件数報告

● 原三信病院 がんセンター

● 開催頻度 必要時

● 構成メンバー

センター長	江口 徹 (副院長)
顧問	内藤 誠二 (名誉院長)
副センター長	柳迫 昌美 (看護部長)
内科部門	上村 智彦 (診; 血)、高木 陽一 (診; 呼)
外科部門	横溝 晃 (診; 泌)、当間 宏樹 (診; 外)
放射線治療	古藤 和浩 (診)
病理診断	河野 真司 (診)
緩和医療	野口 賢一 (診)
看護部門	谷村 明美 (看)、栗秋佐智恵 (緩)、藤川 暢子 (手)、横田 宜子 (病)、谷口真佐子 (放)、豊永万紀子 (化) 三谷 洋子 (相)、真崎加奈子 (相)
薬剤部門	河野 祐子 (技)、田邊 順子 (技)
事務部門	加藤宗一郎 (連)、平原 俊吾 (登)、小野 敬太 (総)
事務局	田代 信司 (企)

● 主な議題

- ・ キャンサーボードについて
- ・ 手術件数について
- ・ 薬物療法について
- ・ 放射線治療について
- ・ 病理診断について
- ・ 緩和ケアについて
- ・ がん連携パスについて
- ・ がんセミナーについて
- ・ 院内がん登録について
- ・ 福岡県がん診療連携協議会報告 など
- ・ 地域がん診療連携拠点病院について
 - 研修・教育部門会
 - 緩和ケア部門会
 - 地域連携・情報部門会
 - がん登録部門会

2021年度 院外研修生受入状況

10

部門	部署	研修生所属	期間	人数	目的
看護部		日本赤十字九州国際看護大学	2021/6/16 ~ 6/29	4	看護学臨地実習
		福岡大学	2021/8/2 ~ 8/5	4	早期看護体験実習（おおはま）
		博多高等学校	2021/9/13 ~ 10/1	8	成人看護学Ⅱ
		福岡国際医療福祉大学	2021/10/4 ~ 10/22	10	成人看護実習Ⅱ（慢性期・終末期）
			2021/11/16 ~ 12/1	10	成人看護実習Ⅱ（慢性期・終末期）
		国際医療福祉大学	2022/1/11 ~ 2/9	2	臨地実習
		九州大学	2022/3/8 ~ 3/18	2	在宅看護論実習
技術部	臨床検査科	純真学園大学	2021/11/29 ~ 12/24	2	臨地実習
			2022/1/4 ~ 1/28	1	臨地実習
	超音波検査科	植木医院	2021/11/10 ~ 12/29	1	エコー検査習得の為
	リハビリテーション科	国際医療福祉大学	2021/4/5 ~ 6/4	1	臨床実習Ⅱ
		麻生リハビリテーション大学校	2021/7/5 ~ 7/31	1	臨床実習Ⅱ
	薬剤科	第一薬科大学	2021/8/23 ~ 11/7	1	薬学実務実習
		同志社女子大学	2021/11/22 ~ 2022/2/13	1	薬学実務実習
		福岡大学	2021/11/22 ~ 2022/2/13	1	薬学実務実習
	放射線科	純真学園大学	2021/11/8 ~ 2022/1/21	1	臨床実習
			2021/12/20 ~ 2022/1/21	2	臨地実習
			2022/1/24 ~ 1/28	2	臨床実習
	臨床工学科	博多メディカル専門学校	2021/9/27 ~ 10/8	2	臨床実習
		純真学園大学	2021/11/15 ~ 12/3	1	臨地実習
			2021/12/6 ~ 12/24	1	臨地実習
		栄養科	中村学園大学	2022/2/7 ~ 2/19	3
	2022/2/21 ~ 3/12			5	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）
	2022/3/14 ~ 4/2			4	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）
西南女学院大学	2021/6/14 ~ 6/25		4	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）	
	2022/3/14 ~ 3/25		4	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）	
事務部	各課	福岡医療秘書福祉専門学校	2022/1/17 ~ 1/21	1	医療機関実習Ⅰ
		お茶の水医療福祉専門学校	2022/2/7 ~ 2/25	1	医師事務作業補実習
企画情報室	診療情報管理課	麻生医療福祉専門学校	2021/6/7 ~ 6/25	1	診療情報管理実習
		フチガミ医療福祉専門学校	2021/8/30 ~ 9/17	1	診療情報管理実習
			2022/2/28 ~ 3/11	1	診療情報管理実習
		福岡医療秘書福祉専門学校	2021/11/15 ~ 11/19	1	診療情報管理実習
		お茶の水医療福祉専門学校	2022/2/28 ~ 3/11	1	診療情報管理実習

新型コロナウイルス感染症に対して徹底した対策を継続した結果、2021年度は院内感染を起こすことなく無事経過しました。しかしながらご家族には入院患者ご本人との面会制限が余儀なくされております。慎重に面会制限を解除してゆく方針ですので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、地域包括ケアシステムが国を挙げて推進されています。「日頃は在宅、時々入院」という謳い文句のもと、介護予防という観点で日頃の体調管理をおこないながら、体調変化を早期に見つけて体調改善を図り、体調回復しづらいときには早めの入院治療で重症化を防ぐシステムです。そのために当院では体力向上支援センターや通所リハビリにて皆様の健康維持と増進を図るとともに、訪問看護・訪問リハビリにて在宅療養なさっておられる方々への健康管理と機能維持をおこなっております。その際、体調不良を早期に見つけ、担当医への適切な受診を勧めております。疾患のために在宅生活維持が一時的に困難になりそうなら、地域包括ケア病棟への早期入院治療と集団リハビリなどによる身体および認知機能の低下防止を同時におこなっております。

一方、骨折や脳梗塞、心筋梗塞などは突然生じるものですが、急性期病院での治療を終了なさった後に安全な在宅生活を送っていただくために、当院では回復期リハビリ治療も積極的におこなっております。

「手の暖かさの伝わる病院」を病院理念として、患者様の人権と尊厳を大切に考え、地域の医療・保健・福祉施設と連携しながら皆様の健康増進と福祉活動に努力しております。皆様が安心して暮らせますようにお手伝いをさせていただきます。



患者動態指標

	2020年度	2021年度
入院患者数（人/日）	211.7	218.1
医療療養病棟	117.4	114.5
回復期リハ病棟	26.7	31.7
地域包括ケア病床	13.8	17.5
介護医療院	53.8	54.4
平均在院日数（日）	205.4	196.8
医療療養病棟	426.1	535.9
回復期リハ病棟	78.3	88.1
地域包括ケア病床	45.5	46.2
介護医療院	484.5	348.0
通所リハ 延べ利用者数(人)	8,502 (38.0/日)	9,357 (38.7/日)
体力向上支援センター 延べ利用者数(人)	6,443 (32/日)	7,928 (33/日)



編集後記

2021年度も、新型コロナウイルスは、アルファ株 → デルタ株 → オミクロン株と次々と変異して世界中で猛威を振るい、新型コロナウイルス封じ込めの優等生といわれていたオーストラリア・ニュージーランド・シンガポール・ベトナム・台湾でも感染が急拡大しました。

日本でも、全国各地に緊急事態宣言・まん延防止重点措置が長期間に渡り発出され、多くの国民が行動制限を余儀なくされました。

医療機関においては、感染者の急増により、病床逼迫・医療従事者不足・通常診療の機能不全など多大なる影響を及ぼし、第5波のデルタ株は、重症化リスクも高く感染患者が診療を受けられない事例が全国で相次ぎました。

このパンデミックを乗り越えるために、全国で一般向けの新型コロナウイルスワクチン接種が5月からスタートしました。当初はG7の中では極めて低い接種率でしたが、菅首相の「1日100万回」の号令により接種率は徐々に上昇しました。当院でも平日に加え、土・日・祝日も接種体制を構築して対応しました。そのワクチン接種の効果もあり、秋頃には全国の感染者もかなり減少しましたが、年が明けてからはオミクロン株が猛威を振るい、全国で一日の感染者が10万人を超える日が続きました。

世界中が新型コロナウイルスと戦っている中、2月24日ロシアのプーチン大統領が「特別な軍事作戦」を宣言し、隣国であるウクライナへロシア軍が侵攻しました。国連の安全保障理事国であるロシアが核使用をちらつかせた、力による現状変更は絶対に許されない暴挙です。世界で唯一の被爆国である日本はこの戦争が一刻も早く終わるように役割を果たすと共に、我が国を取り巻く安全保障環境と課題に取り組む必要があると考えます。

当院においては、新型コロナウイルス感染症に関する地域での役割として、発熱外来への紹介患者受入れ、他院で急性入院治療を終えた方の当院地域包括ケア病床への転院、地域の医療従事者と一般の方への新型コロナウイルスワクチン接種実施などを積極的に行いました。

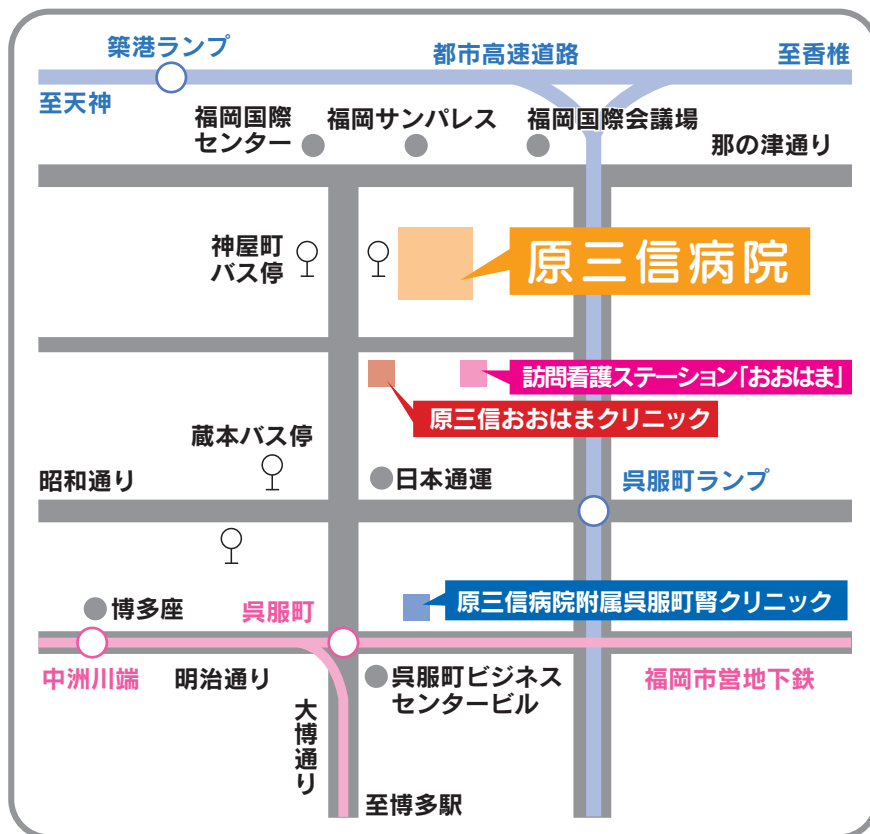
このパンデミックの中、通常業務に加えて多くの負担が全職員にかかったと思いますが、一人一人が責務をきっちり果たしていただいたことに感謝申し上げます。

暗い話題が多い昨今ですが、どのような状況であっても、基本理念である「病人のための病院」を念頭に、地域住民および地域の医療機関や社会福祉施設の方々から信頼される病院づくりを目指していきたくと考えております。

最後に、2021年度の年報発刊にあたり、ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます

編集後記 医療連携課 加藤宗一郎

広報・連携委員会委員長 武井実根雄
事務局 企画情報室



【交通案内】

- 西鉄バス「神屋町」バス停前
- 西鉄バス「蔵本」バス停より徒歩3分
- 地下鉄「呉服町」駅より徒歩5分
- JR博多駅よりタクシーで5分
- 福岡空港よりタクシーで15分
- 博多埠頭 (ベイサイドプレイス) より徒歩10分

原三信病院年報 第32号

2022年8月発行
 編集発行：原三信病院
 〒812-0033 福岡市博多区大博町1番8号
 TEL (092) 291-3434
 FAX (092) 291-3424

